



606C/608C
コーンヘッド
(シリアル番号 117200 -)

オペレータマニュアル
606C/608C コーンヘッド
OMLCA111792 号 J1 版 (JAPANESE)

Kemper
欧州版
Printed in U.S.A.



導入

序文

このマニュアルをよく読んで、機械を正しく運転、整備する方法を習得してください。そうでないと、けがや機器の損傷を招く恐れがあります。このマニュアルと機械上の安全標示ラベルは、他の言語でも入手可能です (John Deere 取扱店にお問い合わせください)。

このマニュアルは常に本機の一部と見なし、本機を売却する場合は一緒に引き渡してください。

このマニュアルでは、メートル法、および対応するヤード・ポンド法の両方で寸法が記載されています。正しい交換部品とボルト、ナット類のみを使用してください。メートル表記またはインチ表記の留め具には、特定のメートル表記またはインチ表記のレンチが必要になる場合があります。

右側か左側かは、装置の前進方向に向かった状態で決まります。

「輸送」という用語は、コーンヘッドをコンバインに取り付けてコンバインで A 地点から B 地点に輸送することを指しています。

「運搬」とは、平床式キャリアに積載した収穫装置を、平床式キャリアで A 地点から B 地点に運搬することを指します。

製品識別番号 (P.I.N.) を「仕様」セクションまたは識別番号のセクションに記入してください。すべての数字を正確に記

入しておく、盗難時に機械を追跡するために役立ちます。この番号は取扱店で部品を注文する際にも必要になります。識別番号は機械とは別に安全な場所に保管してください。

このコーンヘッドは、通常の農業または同様の作業で使用することのみを目的としています (「使用目的」)。他の方法に使用すると、使用目的に反していると見なされます。メーカーは、このような誤使用の結果として生じた損傷やけがについて一切責任を負いません。これらの危険はすべてユーザーが負う必要があります。また、メーカーの指定する操作、整備、修理の条件を順守し、厳密に従うことも使用目的の必須要素です。

このコーンヘッドは、その個々の特性すべてに習熟し、関連する安全規則 (事故防止) に精通している人が操作、整備、および修理する必要があります。事故防止規則、一般的に認められている安全衛生上の規則、交通法規を常に順守する必要があります。このコーンヘッドを勝手に改造した場合、その結果として生じる損傷やけがに対してメーカーはすべての責任を免除されます。

この機械の元々の所有者でないお客様は、このユニットのシリアル番号を John Deere 社の販売店に伝えてください。これにより、John Deere は製品の問題や改良についてお客様に迅速に通知できます。

目次

	ページ		ページ
識別図		オペレータマニュアル	15-1
識別図	00-1	修理とメンテナンス	15-1
		チョッパー	15-2
コーンヘッドの安全機能		コーンヘッド	15-2
コーンヘッドの安全機能	05-1	コーンヘッドオーガ	15-3
		外側ギャザラーエクステンション	15-3
安全		折りたたみ部分	15-4
安全情報の確認	10-1	コーンヘッド折りたたみ式フレーム	15-4
シグナルワードの確認	10-1	コーンヘッド	15-5
道路交通規制の順守	10-1	油圧システム	15-5
保護服の着用	10-2		
安全上の注意事項の順守	10-2	運搬	
緊急事態に対する準備	10-2	コーンヘッドの運搬の準備	20-1
アタッチメントの安全な保管	10-3		
安全な接地接触のためのバラスト	10-3	コーンヘッドの準備	
コンバインを駐車して離れる際の注意	10-3	開梱	25-1
可動部品との接触の回避	10-4	輸送パレットの取り外し	25-1
安全灯と安全装置の使用	10-4		
Road Transport Disconnect (道路輸送切断)		輸送	
スイッチ (黒)	10-4	公道での運転	30-1
コーンヘッドを取り付けたコンバインの輸送	10-5	外側ギャザラーエクステンションを下ろす	30-1
ヘッダーへの接近禁止	10-5	コーンヘッドの折りたたみ／展開	
巻き込みの防止	10-5	(MY 2011 までのコンバイン)	30-1
回転しているドライブラインへの接近禁止	10-6	コーンヘッドの折りたたみ／展開	
安全メンテナンスの慣行	10-6	(MY 2012 以降のコンバイン)	30-2
機械の安全な整備	10-7	事故防止	30-2
ガードとシールド	10-7		
機械の適切な支持	10-7	取り付けおよび取り外し	
高圧流体の回避	10-8	フィーダーハウスへのコーンヘッドの取り付け	35-1
溶接または加熱前の塗料の除去	10-8	フィーダーハウスからのコーンヘッドの取り外し	35-4
加圧流体ライン近くでの加熱の回避	10-8	シングルポイントラッチ：調整	35-5
廃棄物の適切な処分	10-9	平地用フィーダーハウス下端ケーブル：調整	35-7
安全標示ラベルの交換	10-9	フィーダーハウ斯拉ッチピン (清掃)	35-7
		フィーダーハウスの手動ラッチ解除	35-7
安全ステッカー		ラッチケーブルせん断ねじの位置	35-8
絵入りの安全標示ラベル	15-1		

次のページへ

本文書は翻訳版です。記載されているあらゆる情報、
画像、仕様は、原本発行時の最新情報に基づきます。
予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。

COPYRIGHT © 2011
DEERE & COMPANY
European Office Mannheim
All rights reserved.
A John Deere ILLUSTRATION ® Manual

	ページ		ページ
コーンヘッドの操作		潤滑	
一般情報	40-1	コーンヘッドグリース	55-1
圃場での開始	40-1	グリース	55-1
コーンヘッドの正しい調整	40-1	潤滑剤の保管	55-1
慎重な運転と操作	40-1	代替潤滑剤と合成潤滑剤	55-1
StalkMaster™ チョッパー	40-2	潤滑剤の混合	55-2
ひじかけのコントロール	40-3		
コーンヘッドドライブの接続／接続解除	40-4	潤滑とメンテナンス	
コーンヘッドドライブの回転数	40-4	潤滑記号	60-1
固定速度フィーダーハウス付きコンバイン	40-4	50 運転時間ごと	60-1
弱った茎や傷んだ茎のトウモロコシの収穫	40-5	チェーンの点検と調整：200 運転時間ごと	60-2
ポップコーンの収穫	40-5	200 運転時間ごと	60-3
ギャザラー	40-5	1000 運転時間ごと	60-7
内側ギャザラーポイントとシールドの上昇			
および取り外し	40-6	トラブルシューティング	
外側ギャザラーポイントとシールドの上昇		コーンヘッド	65-1
および傾斜	40-8	アクティブヘッダー制御 (AHC)	65-3
穂回収装置	40-8		
条ユニット	40-9	整備	
ストークロール	40-9	フィーダーハウス安全ストップ	70-1
油圧調整式デッキプレート	40-10	ストークロールの取り外しと取り付け	70-1
オーガ	40-11	反対側を摩耗させるためにギャザラーチェーンと	
外側ギャザラーエクステンション	40-11	スプロケットを反転させる	70-5
StalkMaster™ 細断ナイフの接続と接続解除	40-12	ギャザラーチェーンの取り外しと取り付け	70-6
		オイルパンの取り外しと取り付け	70-7
		摩耗ストリップの取り外しと取り付け	70-8
		StalkMaster™ 細断ナイフブレードの	
		取り外しと取り付け	70-9
		コーンヘッドの清掃	70-9
装置とオプション			
ストークロール	45-1	保管	
アクティブヘッダー制御グラウンドセンサー		シーズンの終わりの整備	75-1
(オプション)	45-1	シーズンの初めの整備	75-1
StalkMaster™ 細断ギアケース (オプション)	45-2		
AutoTrac RowSense	45-2	仕様	
調整		仕様	80-1
ギャザラーポイントの調整と水平調整	50-1	所有権証明の保管	80-2
トラッシュナイフの調整	50-2	機械の安全な保管	80-2
ギャザラーチェーン張力の調整	50-3	ユニファイボルトとネジの締め付けトルク値	80-3
ギャザラーチェーンフライトの調整	50-3	メートルボルトとネジの締め付けトルク値	80-4
デッキプレートの調整	50-4	EC 適合宣言	80-5
条間隔の調整	50-5		
条ユニットドライブチェーンの調整	50-6	シリアル番号	
条ユニットドライブソケットの調整		コーンヘッド型式プレート	85-1
(固定速度フィーダーハウス付きコンバイン)	50-7	シリアル番号	85-1
オーガ高さの調整	50-8		
チェーンの連結	50-9		
オーガドライブチェーンの調整	50-10		

識別図

識別図

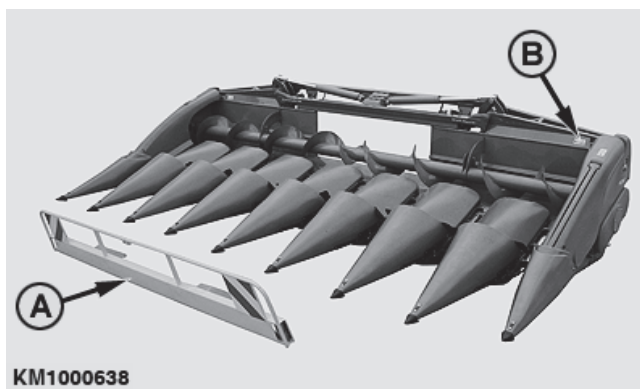


608C コーンヘッド

KM00321,0000026 -40-24SEP08-1/1

コーンヘッドの安全機能

コーンヘッドの安全機能



A : 事故防止装置

B : 安全ステッカー

ここに示す安全機能に加え、コーンヘッドの安全標示ラベル、オペレータマニュアルに記載されている安全上の注意事項と

指示事項は、有能なオペレータが注意して考慮することでこのコーンヘッドの安全な操作に大きく役立ちます。

KM00321,0000027 -40-29AUG08-1/1

安全

安全情報の確認

これは安全警告マークです。機械上、またはマニュアル内にこのマークのある場所では、けがをしないように注意してください。

推奨されている注意事項と安全操作の慣行に従ってください。



DX,ALERT -40-27NOV12-1/1

シグナルワードの確認

シグナルワード「危険」、「警告」、「注意」は安全警告マークと共に使用されます。「危険」は最も重大な危険要素を示します。

「危険」または「警告」安全標示ラベルは、特定の危険要素の近くにあります。一般注意事項は「注意」安全標示ラベルに記載されています。「注意」はこのマニュアルに記載されている安全上の注意事項への注意も促しています。



DX,SIGNAL -40-27NOV12-1/1

道路交通規制の順守

公道を使用するときは必ず現地の道路交通規制に従ってください。



FX,ROAD -40-01MAY91-1/1

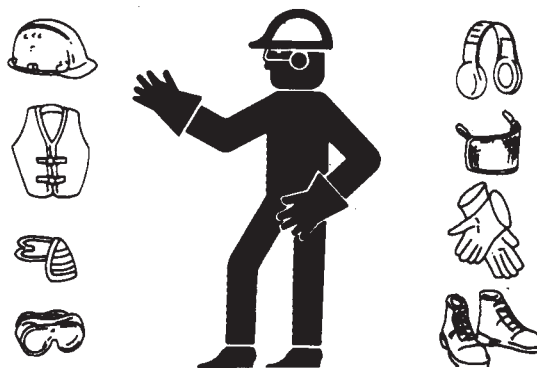
保護服の着用

ぴったりした衣類と作業に適した安全具を着用してください。

騒音に長期間さらされると、聴覚の障害や損失を引き起こすことがあります。

不快な騒音から保護するため、耳あてや耳栓などの適切な聴覚保護具を着用してください。

機械の安全な操作のために、オペレーターは細心の注意を払う必要があります。機械の操作中にラジオや音楽用ヘッドフォンを着用しないでください。



DX,WEAR -40-27NOV12-1/1

安全上の注意事項の順守

機械上の安全標示ラベルと当マニュアルに記載されているすべての安全上の注意事項を注意深く読んでください。安全標示ラベルを良好な状態に保ってください。安全標示ラベルが足りない場合は補充し、状態の悪いラベルは交換してください。新しい装置部品や修理部品に、最新の安全標示ラベルが付けられているか確認してください。交換用の安全標示ラベルは担当の John Deere 取扱店から入手できます。

販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転記されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

適切な機械の操作方法とコントロールの使用法を習得してください。説明なしで他の人に操作させないでください。

機械を適切な作動状態に保ってください。許可なく機械を改造すると、機能や安全性を損なう可能性があり、機械寿命に影響を及ぼすことがあります。



このマニュアルに不明な点があり、サポートが必要な場合は、John Deere 取扱店までご連絡ください。

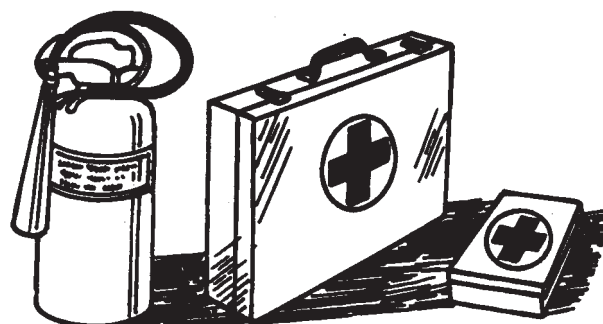
DX,READ -40-27NOV12-1/1

緊急事態に対する準備

火災に備えてください。

救急箱と消火器を手近に置いてください。

医師、救急車サービス、病院、消防署の緊急番号を電話の近くに備えてください。



DX,FIRE2 -40-27NOV12-1/1

アタッチメントの安全な保管

保管しているダブルタイヤホイール、かご車輪、ローダーなどのアタッチメントは倒れたり、死傷事故の原因となる危険性があります。

アタッチメントおよびインプルメントが倒れないようにしっかり固定して保管してください。子供や人を保管場所に近づけないでください。



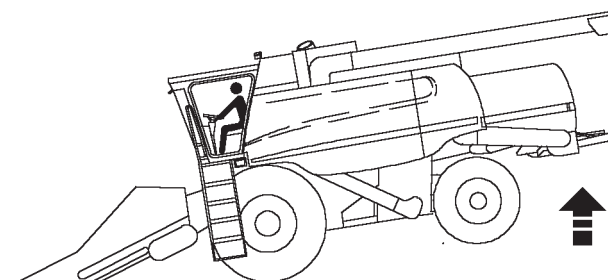
DX,STORE -40-27NOV12-1/1

安全な接地接触のためのバラスト

重量のあるフロントエンド装置によってコンバインの重心が変わり、コンバインの操作、ステアリング、ブレーキ性能がかなり影響を受ける可能性があります。

必要な接地接触を維持するには、必要に応じてコンバインの後端にバラストを取り付ける必要があります。

最大許容軸荷重および総重量を順守してください。



KM00321,0000024 -40-27AUG08-1/1

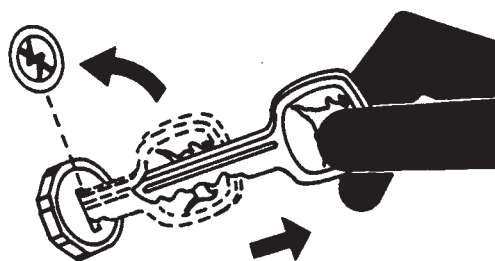
コンバインを駐車して離れる際の注意

ヘッダーを地面に下ろします。

コンバインから離れる前に、ヘッダーとセパレーターを接続を解除します。エンジンを停止し、ギアシフトレバーをニュートラルに入れます。パーキングブレーキをかけて、キーを抜き、オペレータキャabinをロックします。

エンジンを運転している場合は、絶対にコンバインから離れないでください。

運転中は、絶対にオペレータキャabinから離れないでください。



JK22594,00000E2 -40-15AUG06-1/1

可動部品との接触の回避

動力で駆動される部品から手足や衣類を遠ざけてください。機械が動いている間は、絶対に清掃、潤滑、調整を行わないでください。

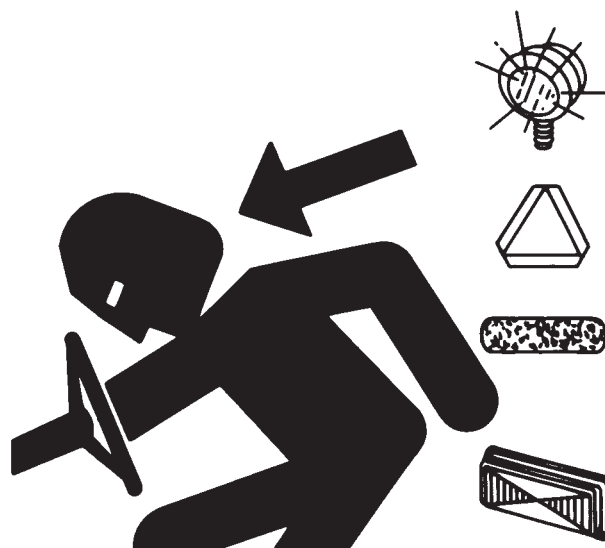


JK22594,00000E3 -40-15AUG06-1/1

安全灯と安全装置の使用

公道では、他の道路利用者、アタッチメントや牽引装置を取り付けて低速走行しているトラクター、および自走式作業機との衝突を予防してください。特に右折や左折時など、後方からの交通をこまめに確認し、方向指示器を使用してください。

ヘッドライト、点滅警告ライト、および方向指示器を昼夜とも使用してください。装置の照明やマーキングについての地域の規則に従ってください。照明やマーキングは見やすくきれいにし、良好な作動状態を維持してください。損傷したり、なくなったりしている照明やマーキングは、交換または修理してください。インプレメントの安全照明キットは、John Deere 取扱店から入手できます。



DX,FLASH -40-27NOV12-1/1

Road Transport Disconnect (道路輸送切断) スイッチ (黒)

機械を道路で輸送する際は、道路輸送切断スイッチ (A) が道路位置である必要があります。

道路輸送切断スイッチを押すと、スイッチが道路位置であることを示す表示灯 (B) が点灯します。道路輸送切断スイッチは以下の機能を禁止します。

- ヘッダー高さ再開
- ヘッダー高さ検出
- CONTOUR MASTER
- リールの昇降とリールの前後傾斜
- アンローディングオーガ
- オーガ旋回
- 動力折りたたみ式オーガ (装備されている場合)
- セパレータの接続
- ヘッダーの接続
- ヘッダーの昇降



A : Road Transport Disconnect
(道路輸送切断) スイッチ

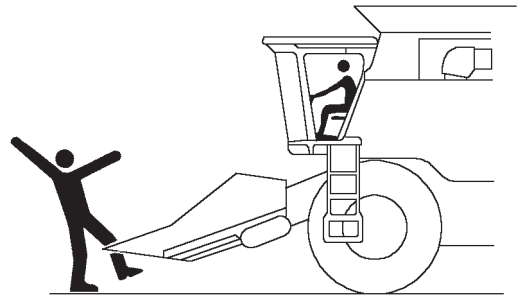
B : 表示灯

圃場での運転用に機能を再び有効にするには、道路輸送切断スイッチをもう一度押します。これにより、表示灯が消灯して必要な機能スイッチを再び操作できるようになります。

JK22594,00002B1 -40-31AUG07-1/1

コーンヘッドを取り付けたコンバインの輸送

コンバインを公道で運転する前に、コーンヘッドを上昇させ、上昇位置に固定する必要があります。ただし、オペレータの道路に対する視界を妨げてはなりません。



KM1000636

KM00321,0000025 -40-01SEP08-1/1

ヘッダーの接近禁止

コーンヘッドのストークロールなどは、機能の関係で構造的手段によって完全に遮蔽することはできません。操作中はこれらの可動部に近づかないでください。ヘッダーの整備または詰まりの除去を行う前に、ヘッダードライブを解除し、エンジンを停止してキーを抜いてください。



H42442

CRNHD,90SA,B -40-14AUG97-1/1

巻き込みの防止

巻き込みを防止するため、機械に作物材料を手で供給しないでください。また、機械の運転中に機械の詰まりを手動で除去しないでください。ストークロールは手でつかんだ作物材料を放すよりも速く作物材料を供給できます。



H45810

CRNHD,90SA,C -40-14AUG97-1/1

回転しているドライブラインへの接近禁止

バックシャフトの回転しているドライブラインに巻き込まれると、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

すべてのドライブラインシールドを常に所定の位置に維持してください。

ぴったりした衣類を着用してください。ヘッダーまたはその駆動部品の調整、接続、清掃の前に、エンジンを停止し、ドライブラインが停止したことを確認してください。



OUO6035,000146A -40-30JUL01-1/1

安全メンテナンスの慣行

作業を開始する前に、整備の手順を確認してください。作業域を清潔で乾いた状態に保ってください。

機械が動いている間は、絶対に潤滑、整備、調整を行わないでください。手足や衣類が、動力で駆動される部品に接触しないようにしてください。すべての電源および操作スイッチをオフにして圧力を下げます。装置を地面に降ろし、エンジンを停止します。キーを取り外し、機械が冷めるまで待ちます。

整備作業で持ち上げる必要のある機械部品をしっかりと固定してください。

すべての部品を良好な状態、および正しく取り付けられた状態に保ってください。破損は速やかに修理してください。摩耗、または破損している部品は交換してください。堆積したグリース、オイル、ごみなどは取り除いてください。

自走式装置では、電気システムの調整や機械の溶接作業を開始する前に、バッテリーアースケーブル (-) をバッテリーから取り外してしてください。

被牽引インプルメントでは、電気システム部品の整備や機械の溶接を開始する前に、トラクターからワイヤハーネスを取り外します。

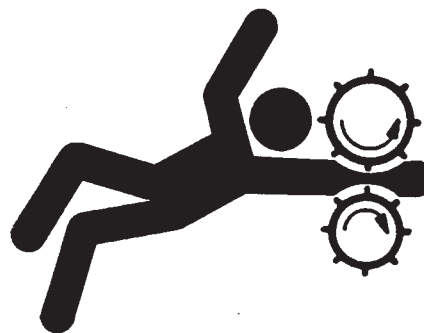


DX,SERV -40-27NOV12-1/1

機械の安全な整備

長い髪の毛は頭の後ろで束ねてください。機械工具や可動部の近くで作業するときは、ネクタイ、スカーフ、ゆったりした衣類、ネックレスを着用しないでください。これらのものが引っかかると、大けがをする危険性があります。

電氣的短絡を起こしたり、可動部に絡んだりしないように、指輪などの装身具類を外してください。



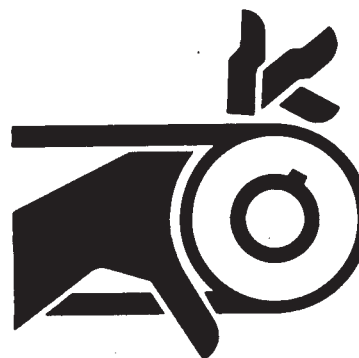
DX, LOOSE -40-27NOV12-1/1

ガードとシールド

すべてのガードとシールドを常に所定の位置に維持してください。また、これらが整備可能で正しく取り付けられていることを確認してください。

ガードやシールドを取り外す前に、必ずメインクラッチを切り、エンジンを停止し、キー抜き取ってください。

可動部から手、足、衣服を遠ざけてください。



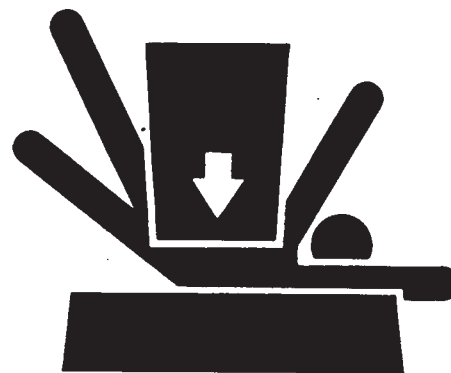
JK22594,00000E5 -40-15AUG06-1/1

機械の適切な支持

機械に作業をする前には必ずアタッチメントやインプルメントを地面まで下降させてください。作業で機械やアタッチメントを持ち上げておく必要がある場合は、これらをしっかりと支持してください。油圧で支持された機器を上昇位置に保っておくと、少しずつ下がったり、漏れにより下降することがあります。

軽量コンクリートブロック、中空のタイル、支柱などで機械を支えないでください。これらは連続負荷によりくずれる可能性があります。ジャッキのみで支持されている機械の下では作業をしないでください。このマニュアルに記載の推奨手順に従ってください。

機械でインプルメントやアタッチメントを使用する際は、インプルメントやアタッチメントのオペレータマニュアルに記載されている安全上の注意事項に常に従ってください。



DX, LOWER -40-27NOV12-1/1

高圧流体の回避

少なくとも1年に1回、定期的に油圧ホースを点検し、漏れ、よじれ、切れ、亀裂、摩耗、ふくれ、腐食、ワイヤブレードの露出、または他の摩耗または損傷の兆候がないか確認してください。

摩耗または損傷しているホースアセンブリは、John Deere 認定交換部品と即座に交換してください。

圧力のかかった流体が噴き出すと、皮膚に侵入して大けがをする危険性があります。

油圧パイプや他のパイプを外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかりと締めてください。

ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。



事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。このような情報は、Deere & Company Medical Department から英語で入手可能です (Moline, Illinois, U.S.A. 電話番号 1-800-822-8262 または +1 309-748-5636)。

DX, FLUID -40-27NOV12-1/1

溶接または加熱作業前の塗料の除去

有毒ガスや粉塵が出ないようにしてください。

溶接、はんだ付け、またはトーチの使用によって塗料が加熱されると、有害なガスが発生する可能性があります。

加熱前に次のように塗料を除去してください。

- 加熱の影響を受ける領域から最低 100 mm (4 in)、塗料を除去してください。塗料を除去できない場合は、適切なマスクを着用してから加熱や溶接を行ってください。
- 塗料を研磨する場合は、粉塵を吸い込まないようにしてください。適切なマスクを着用してください。
- 溶剤や塗料除去剤を使用した場合は、溶接の前にせっけん水で除去剤を洗い流してください。溶剤または塗料除去剤の容器や、その他の引火性材料は作業域から遠ざけてください。溶接または加熱前に最低 15 分間有毒ガスを消散させてください。



溶接を行う作業域で塩素系溶剤を使用しないでください。

有毒なガスや粉塵を消散させるために、すべての作業は十分に換気された場所で行ってください。

塗料や溶剤は適切に処分してください。

DX, PAINT -40-27NOV12-1/1

加圧流体ライン近くでの加熱の回避

加圧流体ラインの近くで加熱を行なうと、引火性の噴霧が生成され、自身や近くの人に火傷をさせる可能性があります。加圧流体ラインやその他の引火性材料の近くで溶接、はんだ付け、またはトーチ使用による加熱を行わないでください。作業域を越えて熱が伝わると、加圧ラインが誤って破裂する恐れがあります。



DX, TORCH -40-27NOV12-1/1

廃棄物の適切な処分

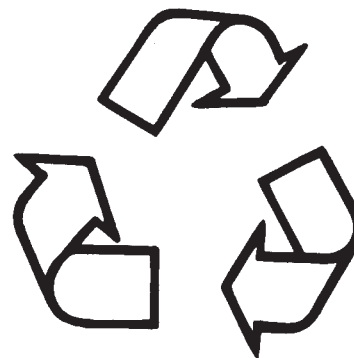
廃棄物は正しく処分しないと環境や生態系を脅かします。John Deere 装置で使用される潜在的に有害な廃棄物には、オイル、燃料、クーラント、ブレーキ液、フィルタ、バッテリーなどがあります。

液体を抜き取る時は漏れない容器を使用してください。他の人が誤って使用する恐れのある食品容器や飲料容器を使用しないでください。

排水を地面、排水溝、またどのような水源にも注がないでください。

空気に流出するエアコンの冷媒は地球環境を汚染する可能性があります。政府規制により、認定されたエアコンサービスセンターがエアコンの冷媒を回収し、再利用することが義務付けられている可能性があります。

廃棄物の適切なリサイクルや処分方法については、地域の環境センターやリサイクルセンター、または担当の John Deere 取扱店にお問い合わせください。



DX,DRAIN -40-27NOV12-1/1

安全標示ラベルの交換

安全標示ラベルが足りない場合は補充し、状態の悪いラベルは交換してください。安全標示ラベルの適切な位置については、機械のオペレータマニュアルを参照してください。



DX,SIGNS1 -40-27NOV12-1/1

安全ステッカー

絵入りの安全標示ラベル

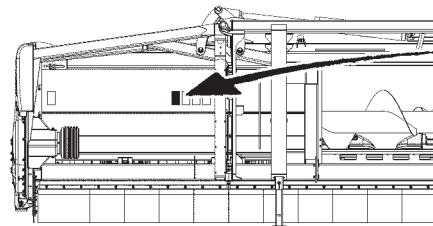
この機械のいくつかの重要な場所には、潜在的な危険を知らせるために安全標示ラベルが貼られています。危険要素は、警告用三角ラベルの絵で示されます。隣接する絵はけがを防ぐための情報を提供します。これらの安全標示ラベル、機械上のラベルの位置、および簡単な説明を以下に示します。



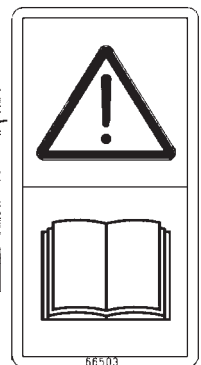
OU06075,0004057 -40-10AUG05-1/1

オペレータマニュアル

このオペレータマニュアルには機械を安全に運転する上で必要な情報がすべて記載されています。安全に関するすべての規則を守って事故を防いでください。



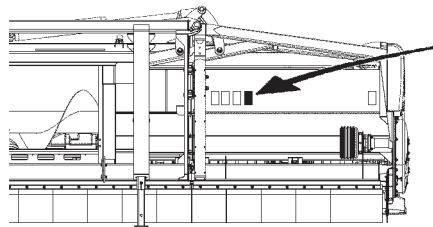
KM1000639



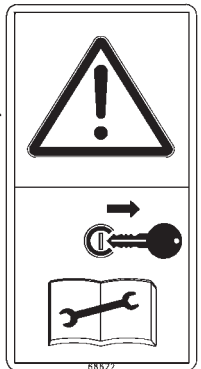
KM00321,0000028 -40-28AUG08-1/1

修理とメンテナンス

修理やメンテナンスを行う前に、エンジンを停止し、キーを抜いてください。



KM1000640

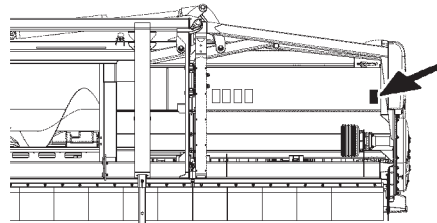


KM00321,0000029 -40-28AUG08-1/1

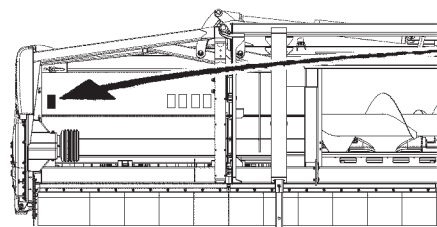
チョッパー

動いている機械部品に触れないでください。すべての可動部品が停止するまで待機してください。

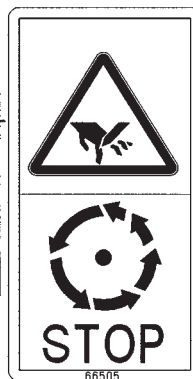
回転しているブレードは機械をシャットダウンしても即座に停止しません。



KM1000641



KM1000642



KM00321,000002A -40-28AUG08-1/1

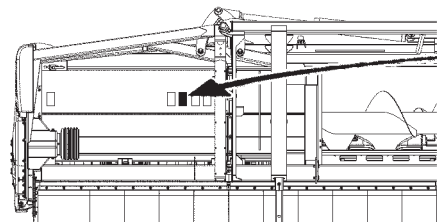
コーンヘッド

けがを防ぐため、回転中の部品に近づかないでください。

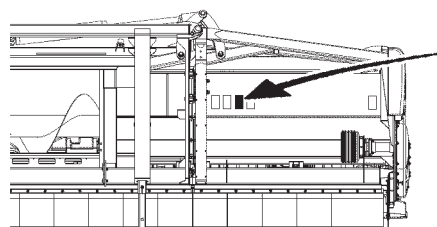
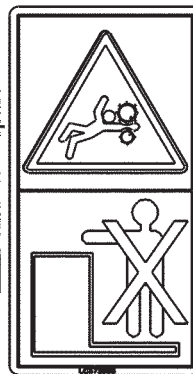
操作時に、腕、脚、またはゆったりした衣類が回転中の部品に巻き込まれる可能性があります。

回転中の部品からの必要な安全距離を必ず確保してください。

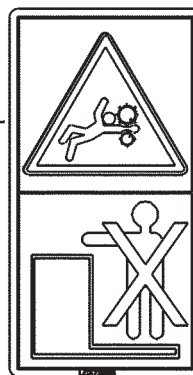
すべての可動部が停止するまで待ちます。



KM1000644



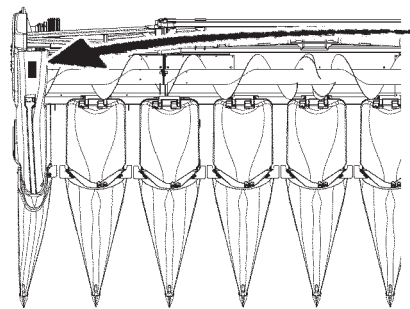
KM1000645



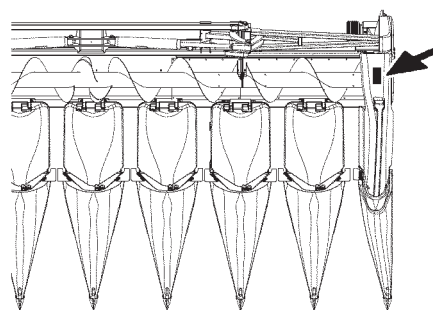
KM00321,000002B -40-28AUG08-1/1

コーンヘッドオーガ

危険：コーンヘッドから離れてください。ヘッダーの整備または詰まりの除去を行う前に、コーンヘッドドライブを解除し、エンジンを停止してキーを抜いてください。



KM1000652



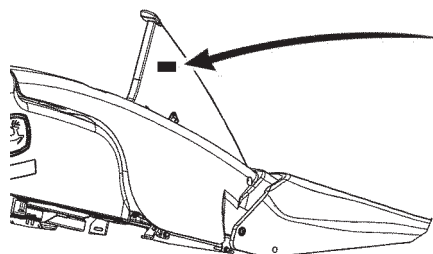
KM1000653



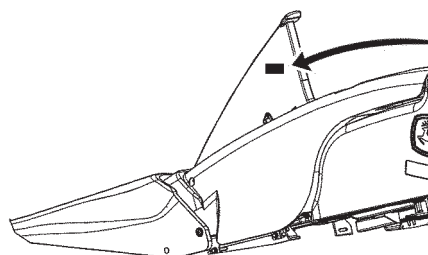
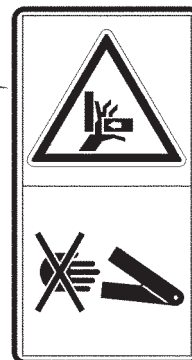
KM00321,000002C -40-28AUG08-1/1

外側ギャザラーエクステンション

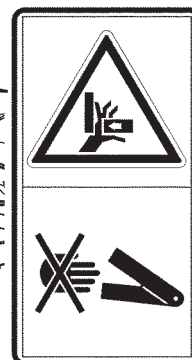
外側ギャザラーエクステンションの昇降時は、押し潰される危険がある部分に手を入れないでください。



KM1001222



KM1001228



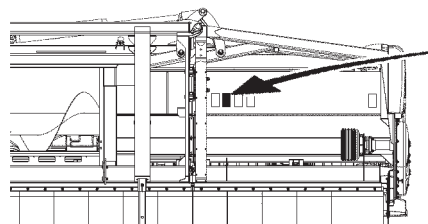
KM00321,0000337 -40-09JUL10-1/1

折りたたみ部分

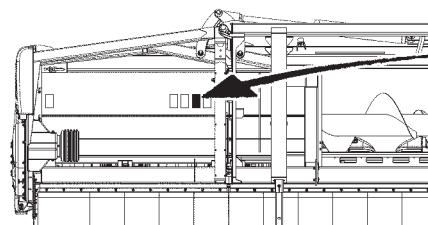
コーンヘッドの折りたたみ部分に近づかないでください。

コーンヘッドの折りたたみまたは展開時は、折りたたみ部分内に人が立っていないことを確認してください。

折りたたみと展開を行う前に、すべての人がコーンヘッドからの安全離隔距離を守っていることを確認してください。



KM1000646



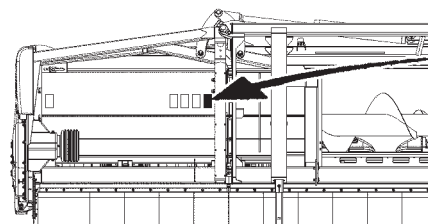
KM1000647



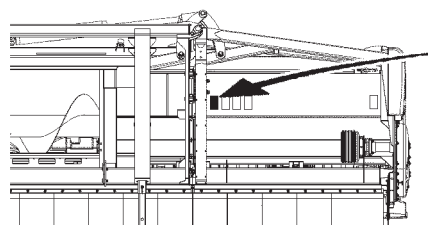
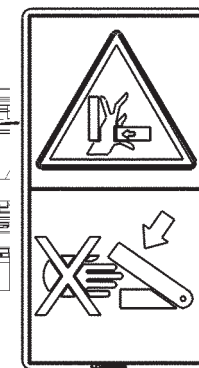
KM00321,000002D -40-28AUG08-1/1

コーンヘッド折りたたみ式フレーム

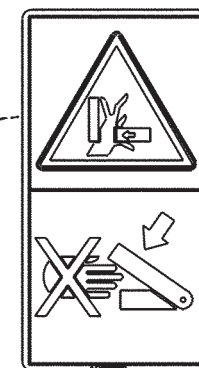
外側端部が動く可能性がある時は、絶対に押し潰される危険がある部分に手を入れないでください。



KM1000648



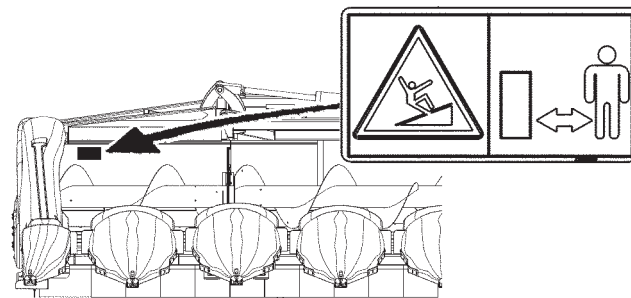
KM1000649



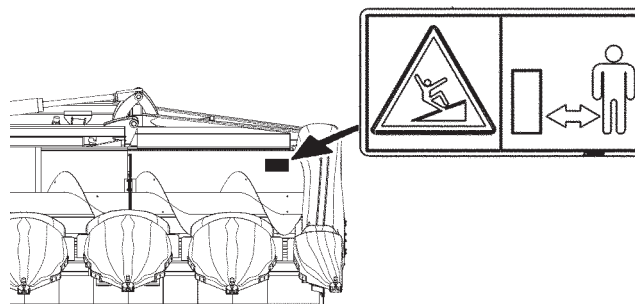
KM00321,000002E -40-03SEP08-1/1

コーンヘッド

危険：ヘッダーから離れてください。ヘッダーの整備または詰まりの除去を行う前に、ヘッダードライブを解除し、エンジンを停止してキーを抜いてください。



KM1000650

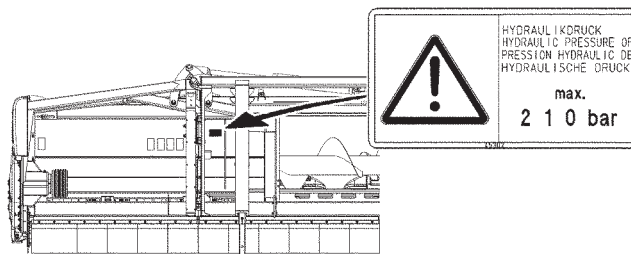


KM1000651

KM00321,0000122 -40-09MAR09-1/1

油圧システム

油圧は 21,000 kPa (210 bar、3,046 psi) を超過しないようにしてください。



KM1000654

KM00321,0000030 -40-28AUG08-1/1

運搬

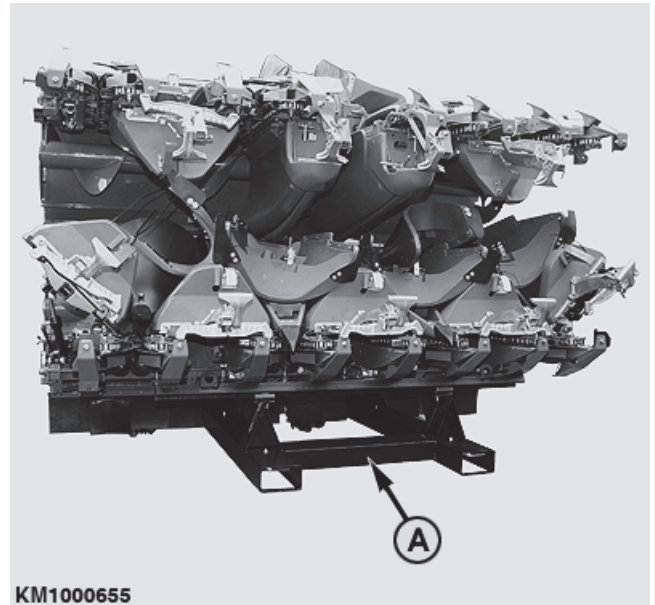
コーンヘッドの運搬の準備

コーンヘッドを平床式キャリアに載せて単独で運搬する場合は、必ず付属の輸送パレット (A) を取り付けてください。

輸送パレット (A) を取り付けると、コーンヘッドはフォークリフトを使用して積載できます。

⚠ 警戒：この際、フォークリフトがコーンヘッドの重量要件を満たしていることを確認してください（「仕様」セクションを参照してください）。

A：輸送パレット



KM00321,0000031 -40-29AUG08-1/1

コーンヘッドの準備

開梱

梱包材を取り除いた後すぐに、輸送中に発生した装置の損傷がないか点検してください。

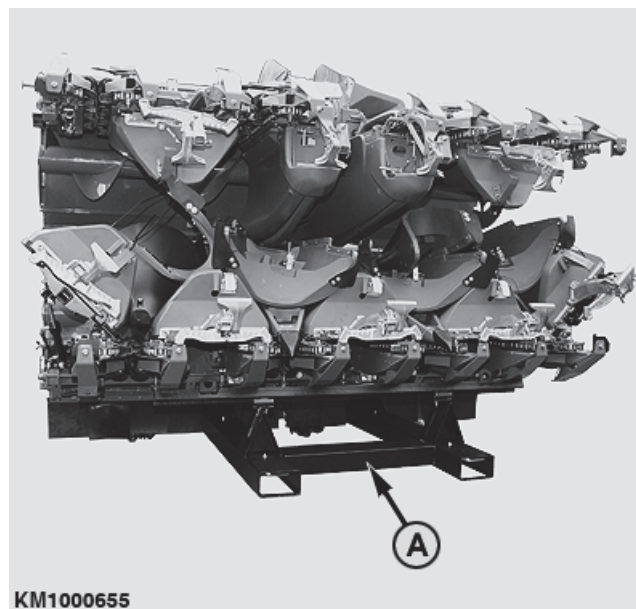
KM00321,0000038 -40-01SEP08-1/1

輸送パレットの取り外し

輸送パレット (A) を取り外します。

注記：輸送パレット (A) を保管し、顧客に渡します。これは、コーンヘッドを単独で輸送する場合に機械への損傷を防ぐために必ず必要です。

A：輸送パレット



KM1000655

KM00321,0000032 -40-29AUG08-1/1

輸送

公道での運転

⚠ 警戒：夜間または日中に公道や高速道路を運転する際は、国の警告装置、ライト、安全に関する交通法規を順守してください。「安全」セクションも参照してください。

重要：公道でコンバインを運転する際は、該当するコンバインのオペレータマニュアルを参照して国の法規に従ってください。

コーンヘッドを輸送する場合は、まず折りたたんでください。

KM00321,0000035 -40-01SEP08-1/1

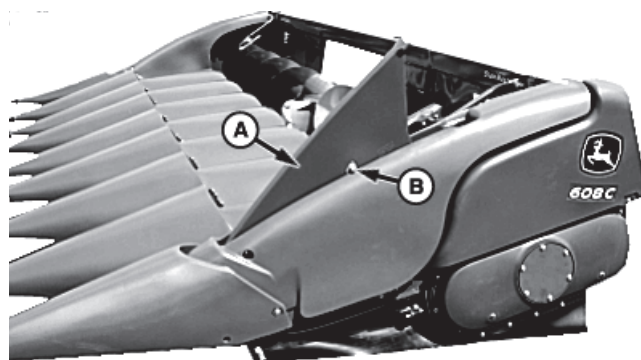
外側ギャザラーエクステンションを下ろす

⚠ 警戒：エクステンション (A) にはスプリングの荷重がかかっています。エクステンションを上昇または下降させるときは、押し潰されないように十分注意してください。

コーンヘッドを折りたたむときは、外側ギャザラーエクステンション (A) を下げる必要があります。

エクステンションを下げるには、ピン (B) を押し込んでエクステンションを下げます。

A: エクステンション
B: ピン



KM00321,0000123 -40-09MAR09-1/1

コーンヘッドの折りたたみ／展開 (MY 2011 までのコンバイン)

⚠ 警戒：大けがをしないようにしてください。コーンヘッドの折りたたみまたは展開を行う前に、コーンヘッドの近くに誰もいないことを確認してください。

重要：コーンヘッドを折りたたむ前に、ドライブシャフトを取り外して保管位置に取り付ける必要があります。

スイッチ (A) の右側を押し続けてコーンヘッドを折りたたみ、スイッチ (A) の左側を押し続けてコーンヘッドを展開します。

A: 「Reel (リール)」スイッチ



KM1000665

KM00321,0000506 -40-26SEP11-1/1

コーンヘッドの折りたたみ／展開 (MY 2012 以降のコンバイン)

1. 「Folding Function (折りたたみ機能)」ショートカットスイッチ (A) を押します。

注記：「Folding Function (折りたたみ機能)」ショートカットスイッチ (A) を使用すると、「Open/Close Grain Tank Cover (グレインタンクカバーの開／閉)」または「Fold/Unfold Corn Head (コーンヘッドの折りたたみ／展開)」機能の画面に直接アクセスできます。

A：「Folding Function (折りたたみ機能)」ショートカットスイッチ



KM00321,0000507 -40-06OCT11-1/2

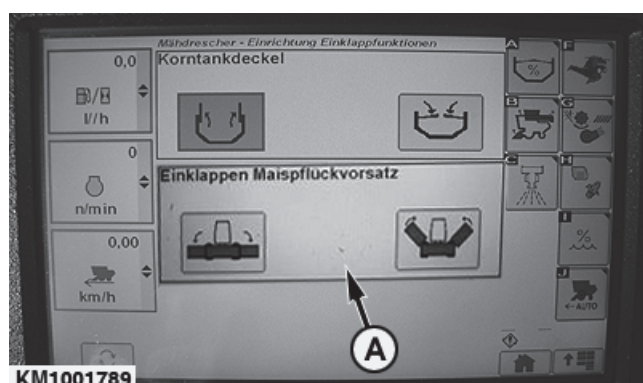
2. 折りたたみ機能の設定

- 「Grain Tank Covers (グレインタンクカバー)」
 - 「Open (開く)」アイコン
 - 「Close (閉じる)」アイコン
- 「Foldable Corn Head (折りたたみ式コーンヘッド)」
 - 「Unfold (展開)」アイコン
 - 「Fold (折りたたみ)」アイコン

注記：「Foldable Corn Head (折りたたみ式コーンヘッド)」アイコン (A) は折りたたみ式コーンヘッドを取り付けている場合のみ表示されます。

アイコン (A) を強調表示したら、折りたたみ／展開プロセスが完了するまで「Confirm (確定)」スイッチを押し続けます。

A：「Foldable Corn Head (折りたたみ式コーンヘッド)」アイコン



KM1001789 KM00321,0000507 -40-06OCT11-2/2

事故防止

公道を走行中は、ギャザラーポイントの周囲全体を事故防止装置 (A) で覆う必要があります。

事故防止装置 (A) の組み立て順序：

1. すべての可動部が完全に静止したら、外端セクションを折りたたみます。
2. 付属のボルト 2 本を使用して、事故防止装置 (A) をギャザラーポイントに取り付けます。

側灯および表示灯：

コンバインの側灯と表示灯は、上昇位置の外端セクションにより通常覆われます。事故防止装置は 2 つの重複する位置灯／表示灯 (B) を特徴としています。12 V 電源の場合は、コンバインの右側にある 7 極プラグを使用してください。



A：事故防止装置

B：位置灯／表示灯

地上高：

公道で運転する際は、前部の事故防止装置 (A) が地上から約 300 mm (1 ft) になるようにコーンヘッドを上げる必要があります。

KM00321,0000037 -40-03SEP08-1/1

取り付けおよび取り外し

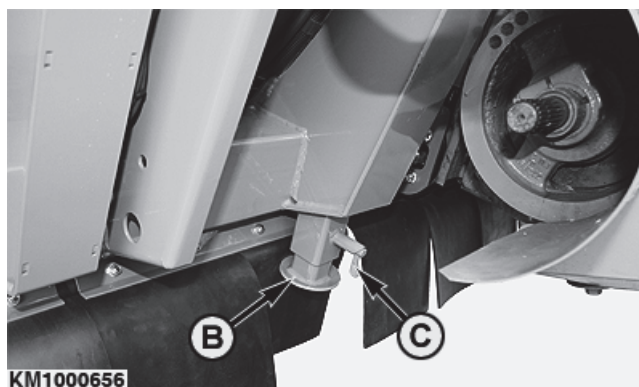
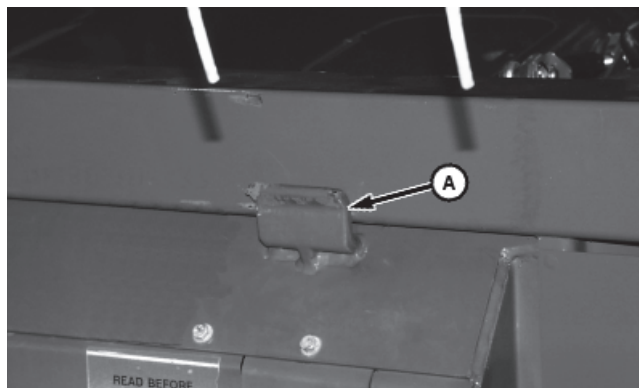
フィーダーハウスへのコーンヘッドの取り付け

重要：ヘッダーの操作時に必要な特定のタイヤについては、コンバインのオペレータマニュアルを参照してください。

ヘッダーが地面にあるときにラッチピンを作動させないでください。ヘッダーが地面にあるときにマルチカブラーを作動させる必要がある場合は、ハンドルからケーブルを外してください。

1. ホーンを鳴らし、エンジンを始動してフィーダーハウスを下げます。
2. フィーダーハウスが装置フレーム開口部の中心に配置されるまでコンバインを前方にゆっくりと運転します。
3. コーンヘッドのメインフレームビームの前側がフィーダーハウスのフック 2 個 (A) で支えられていることを確認しながらコーンヘッドを完全に上げます。
4. パーキングブレーキをかけてエンジンを停止し、キーを抜いて安全ストップを下げます。
5. 左右のジャッキスタンド (B) を最も高い位置に固定します。これを行うには、スプリングピン (C) を引き出して、ジャッキスタンドが最終の位置にあるときに挿入します。

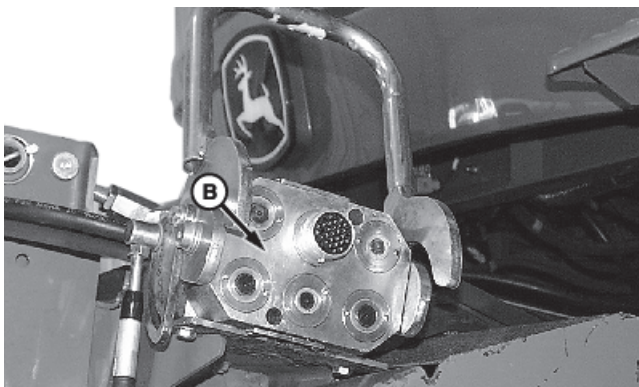
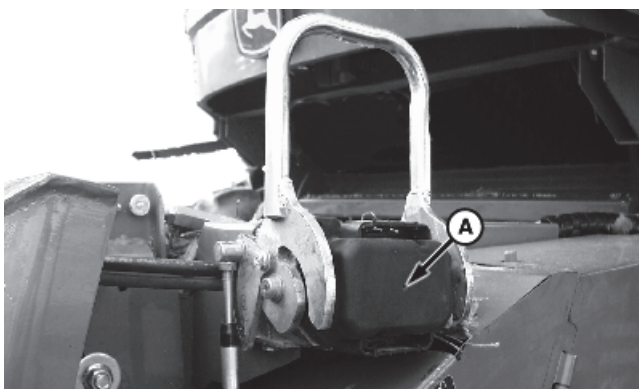
A: フック (フィーダーハウスに 2 個)
B: ジャッキスタンド
C: スプリングピン



KM00321,0000336 -40-22JUN10-1/7

6. カバー (A) を取り外して、マルチカブラー面 (B) を清掃します。

A: カバー
B: マルチカブラー面

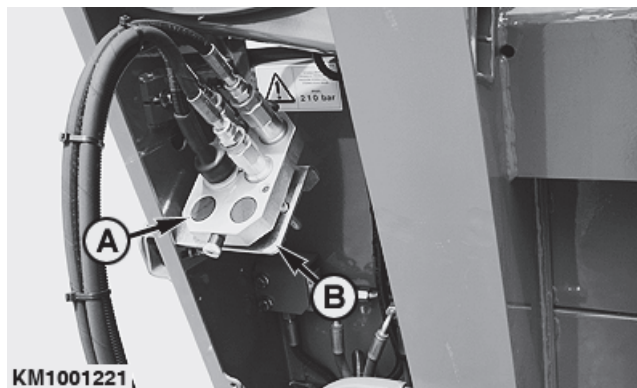


次のページへ

KM00321,0000336 -40-22JUN10-2/7

7. 保管ブラケット (B) からマルチカプラー (A) を取り外します。

- A: マルチカプラー
B: 保管ブラケット



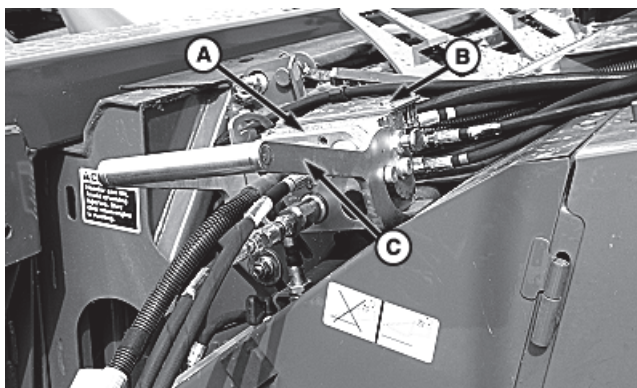
KM00321,0000336 -40-22JUN10-3/7

注記：ラッチケーブルの損傷を防止するために、ハンドルにせん断ねじが取り付けられています。ヘッダーが地面にあるときにラッチピンを作動させると、ねじのせん断が発生します。(このセクションで後述の「予備のせん断ねじの位置」を参照してください)。

ヘッダーを取り付けた状態で、ラッチピンはラッチプレート穴を自由に移動する必要があります。ラッチピンがラッチプレートを通して伸長しない場合、ヘッダーのラッチプレートが正しく調整されていることを確認してください。

8. マルチカプラー (A) を油圧取出し口 (B) に接続してハンドル (C) を閉めます。

- A: マルチカプラー
B: ソケット
C: ハンドル



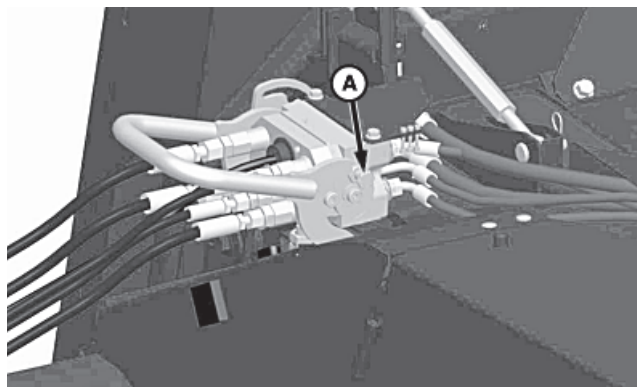
KM00321,0000336 -40-22JUN10-4/7

ボタンロック付きマルチカプラー

重要： ボタンロックがかみ合うようにマルチカプラーが完全に閉じていない場合、収穫または輸送中にヘッダーが落下する可能性があります。

1. マルチカプラーのハンドルを完全に閉じると、ボタンロック (A) が自動的にカプラーをロックします。

- A: ボタンロック



ボタンロック付きラッチ

次のページへ

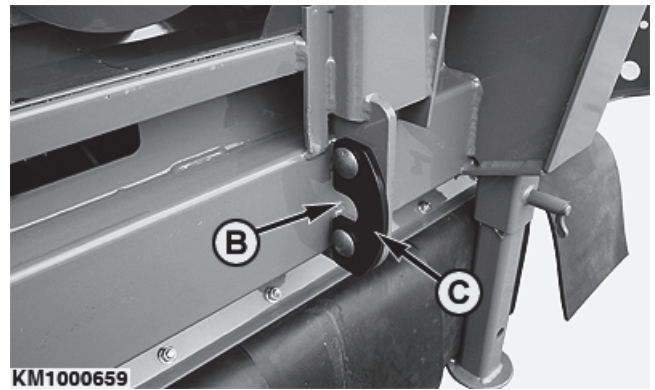
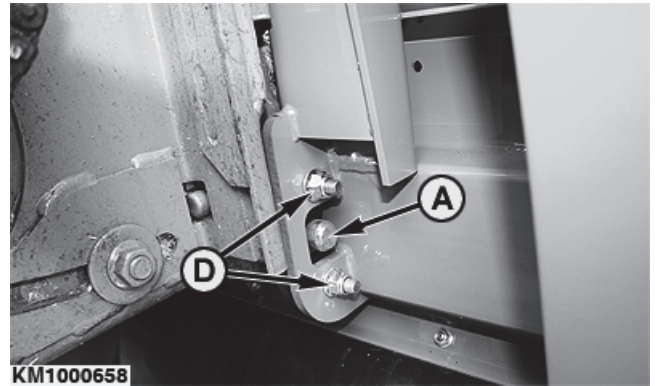
KM00321,0000336 -40-22JUN10-5/7

2. マルチカプラーを取り付けたときに、ラッチピン (A) はヘッダーのラッチプレート穴 (B) を自由に移動する必要があります。このためにラッチプレート (C) を調整する必要があります。
3. **調整が必要な場合**：ナット (D) を緩めてラッチプレート (C) を整列させます。
4. ナット (D) を M12 の規定のトルクで締め付けます。

仕様

M12 ボルト
トルク 130 N・m
(96 lb-ft)

A: ラッチピン
B: ラッチプレート穴
C: ラッチプレート
D: ナット



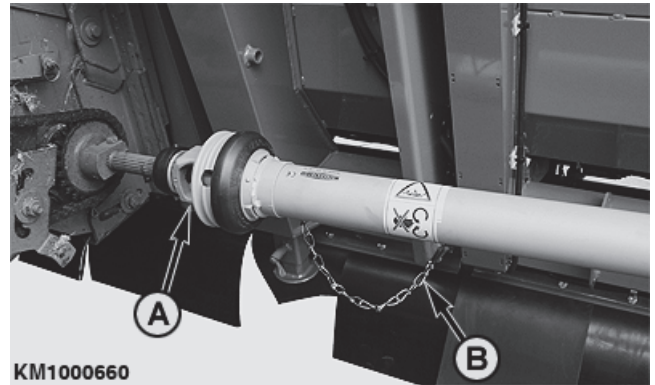
KM00321.0000336 -40-22JUN10-6/7

5. 左右の保管位置からドライブシャフト (A) を取り外してフィーダーハウスパックシャフトに取り付けます。クイックアタッチカラーが完全にロックしていることを確認してください。

6. ドライブシャフト (A) のシールドを安全チェーン (B) で回転しないように固定します。

重要：左右のドライブシャフトは異なります。必ずドライブシャフトを対応する側に取り付けていることを確認してください。

A: ドライブシャフト
B: 安全チェーン



KM00321.0000336 -40-22JUN10-7/7

フィーダーハウスからのコーンヘッドの取り外し

⚠ 警戒：ドライブシャフトをコンバインに残したままにしないでください。フィーダーハウスが誤って接続された場合、けがや機械の損傷が発生する可能性があります。

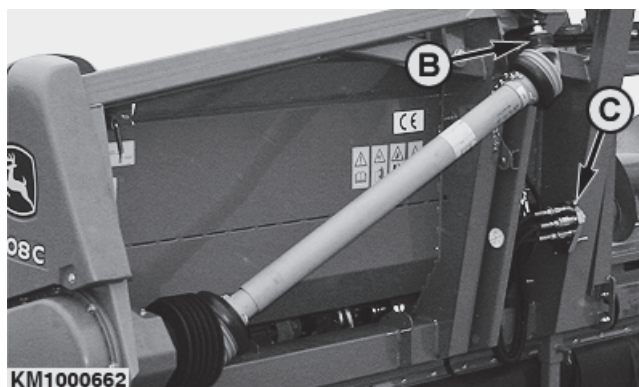
1. フィーダーハウスの左右のクイックディスコネクトカプラー (A) 位置でフィーダーハウスからドライブシャフトを外します。
2. ドライブシャフトを保管位置 (B) に配置します。

重要：ヘッダーが地面にあるときにラッチピンを作動させないでください。ヘッダーが地面にあるときにマルチカプラーを作動させる必要がある場合は、ハンドルからケーブルを外してください。

注記：ハンドルを停止位置まで上げたときにラッチピンは完全に格納される必要があります。ラッチピンが完全に格納されない場合は、ケーブルの取り付けを調整してください（「シングルポイントラッチ：調整」を参照してください）。

3. ハンドルを上げてマルチカプラーを外します。
4. マルチカプラーをコンバインから外して保管位置 (C) に配置します。

A: クイックディスコネクトカプラー
B: 保管位置
C: マルチカプラーの保管位置

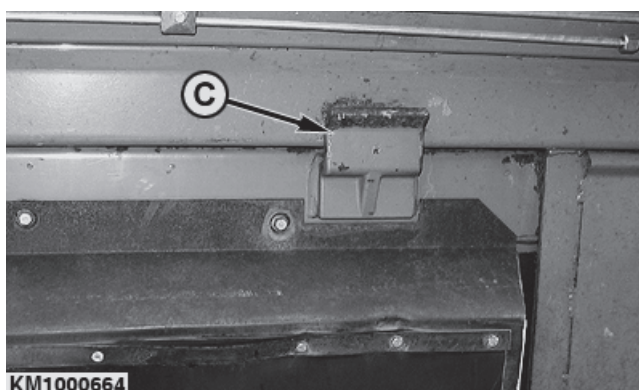
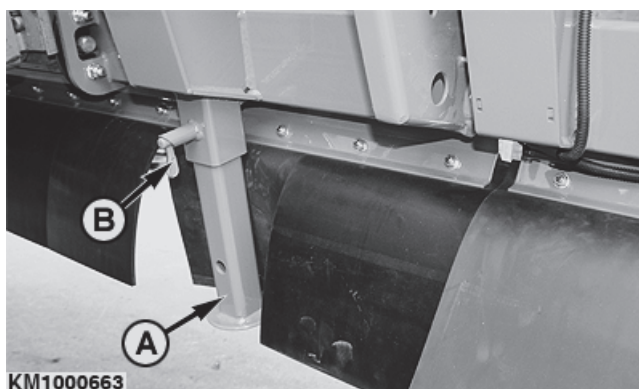


5. コーンヘッドを地面まで下げます。
6. コンバインのエンジンを停止し、イグニッションからキーを抜き取ってパーキングブレーキをかけます。

注記：後でヘッダーをコンバインに再取付けできる高さにコーンヘッドを維持します。絶対に低すぎる高さにしないでください。

7. 左右のジャッキスタンド (A) を下ろし、適切な高さに固定します。これを行うには、スプリングピン (B) を引き出して、ジャッキスタンドが適切な高さにあるときに挿入します。
8. ホーンを鳴らしてエンジンを始動し、フック (C) がヘッドの上部ビームの下になるまでフィーダーハウスを下げてコンバインをゆっくりと後退させます。

A: ジャッキスタンド
B: スプリングピン
C: フック (フィーダーハウスに 2 個)



KM00321,0000034 -40-01SEP08-1/2

KM00321,0000034 -40-01SEP08-2/2

シングルポイントラッチ：調整

注記：CONTOUR MASTER フィーダーハウス：調整はマルチカプラーハンドルのケーブルのみで行う必要があります。

平地用フィーダーハウス：ケーブルが下端（ラッチピン位置）の中心にない場合を除き、調整はマルチカプラーハンドルのケーブルのみで行う必要があります。
「平地用フィーダーハウス下端ケーブル：調整」を参照してください。

1. 左フィーダーハウスシールド (A) を開きます。

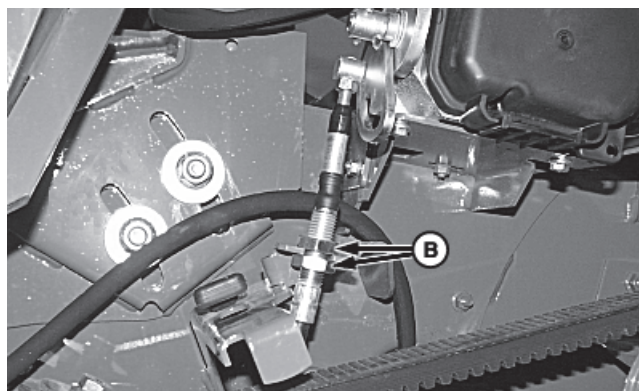
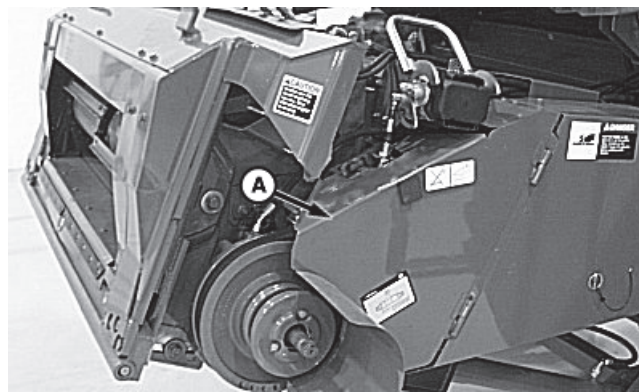
2. ケーブル薄ナット (B) を緩めます。

重要：ハンドルがマルチカプラーのストップに接触していることを確認してください。ハンドルがストップに接触していることを確認しなかった場合、ピン寸法が不適切になり、収穫または輸送中にヘッダーが落下する場合があります。

3. マルチカプラーハンドルをストップ位置にリセットします。

A：シールド

B：薄ナット



JK22594,0000094 -40-27JUL06-1/4

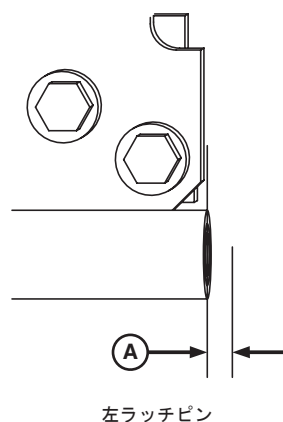
注記：ブラケットのケーブルを「上に」動かすと、ピンはさらに内側に引かれます。

ブラケットのケーブルを「下に」動かすと、ピンはさらに外側に押されます。

4. 必要に応じてブラケットのケーブルを調整してピンを正しく調整します。

- 左ラッチピンは $\pm 2 \text{ mm}$ (A) の範囲で面一である必要があります。

A：寸法



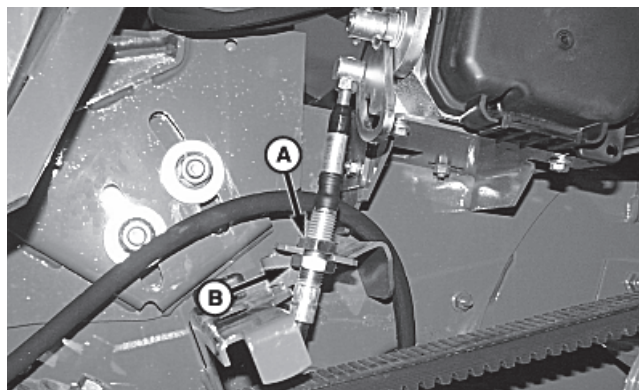
左ラッチピン

次のページへ

JK22594,0000094 -40-27JUL06-2/4

5. 下部ロックナット (B) を保持しながら上部ロックナット (A) を締め付けます。

A: 上部ロックナット
B: 下部ロックナット



JK22594,0000094 -40-27JUL06-3/4

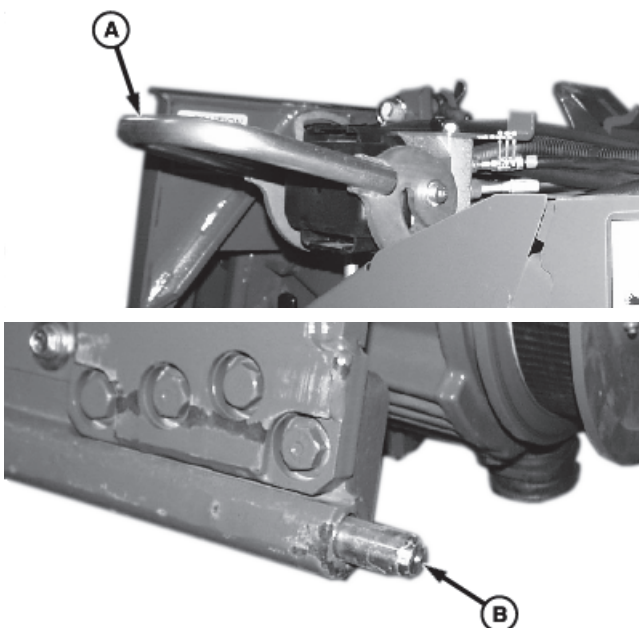
重要: ピンが指定された寸法に設定されていることを確認しなかった場合、収穫または輸送中にヘッダーが落下する可能性があります。

6. マルチカブラーハンドル (A) を完全に下ろしてピン (B) (両側) が仕様のとおりに設定されていることを確認します。そうでない場合は、再調整して仕様の値に設定します。

仕様

フィーダーハウスピン
間隔.....45~52 mm
(1-3/4 in~2 in)

A: マルチカブラーハンドル
B: ピン



JK22594,0000094 -40-27JUL06-4/4

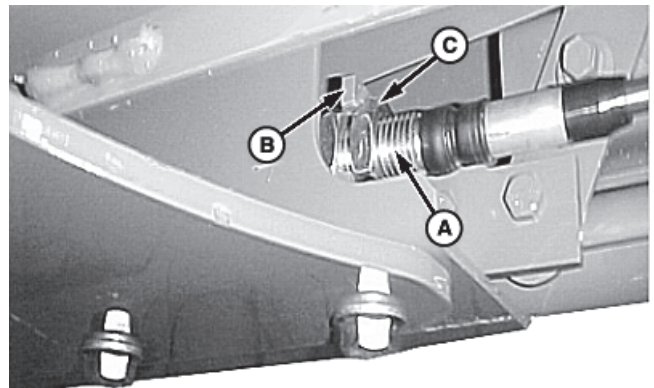
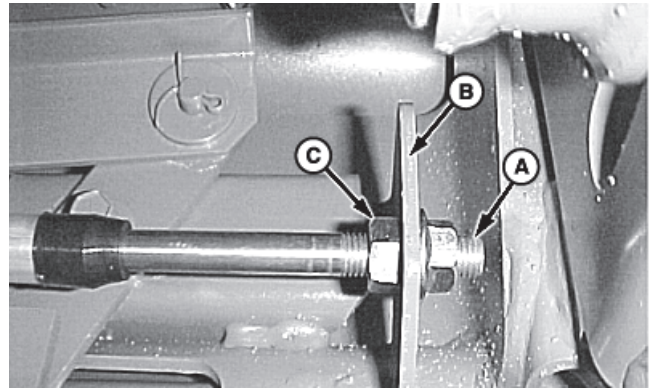
平地用フィーダーハウス下端ケーブル：調整

ねじ山 (A) の中心がブラケット (B) から外れている場合は、ラッチケーブルの下端を調整する必要があります。

薄ナット (C) を緩めて、ねじ山の中心がブラケットの位置になるようにケーブルを調整します。

薄ナットを締め付けます。

- A: ねじ山
- B: ブラケット
- C: 薄ナット



MH81805,0000700 -40-17MAR05-1/1

フィーダーハウ斯拉ッチピン (清掃)

ラッチピンが動かない場合は、ボルト (A) を取り外してピンの周囲を清掃します。これらのボルトにアクセスするには、フィーダーハウスフレームを完全に傾ける必要がある場合があります。

- A: ボルト

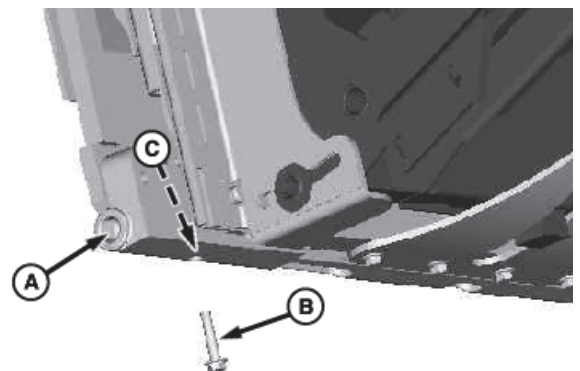


MH81805,0000701 -40-17MAR05-1/1

フィーダーハウスの手動ラッチ解除

せん断ねじが破損した場合にヘッダーを取り外すには、ラッチプレートを通してラッチピン (A) を押し、穴 (C) に M12 ボルト (B) を取り付けます。反対側で繰り返します。

- A: ラッチピン
- B: ボルト
- C: 穴



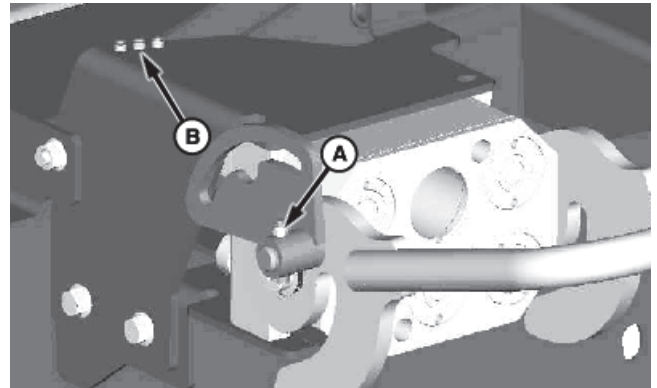
MH81805,0000702 -40-17MAR05-1/1

ラッチケーブルせん断ねじの位置

せん断ねじ (A) が破損した場合は、取り外して予備のせん断ねじ (B) に交換します。予備のせん断ねじ 3 本を付属しています。

A : せん断ねじ

B : 予備のせん断ねじ



MH81805,0000703 -40-17MAR05-1/1

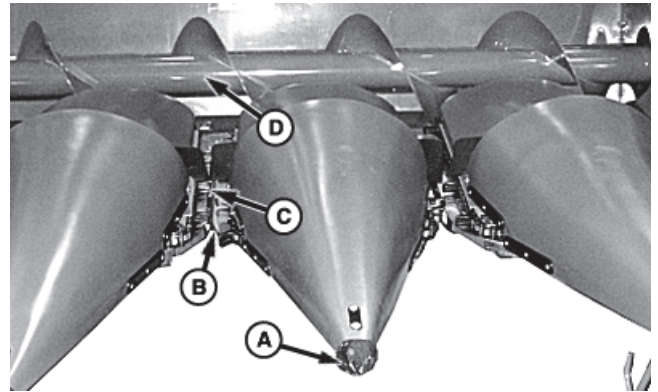
コーンヘッドの操作

一般情報

ギャザラーポイント (A) はトウモロコシの畝の間に配置します。ストークロール (B) がトウモロコシの茎をつかみ、ロールの間にすばやく引き下げます。

トウモロコシの穂がデッキプレートに達すると、穂は開口部が狭いため通過しません。ストークロールは継続して茎を引き込み、穂を茎から分離します。

ギャザラーチェーン (C) は穂を取り込んでオーガ (D) に搬送し、穂はフィーダーコンベアに送出されます。フィーダーコンベアは穂を脱穀シリンダに送出します。



A : ギャザラーポイント
B : ストークロール

C : ギャザラーチェーン
D : オーガ

JK22594,000023F -40-01AUG07-1/1

圃場での開始

コーンヘッドに慣れるまでコンバインを低速ギアで運転します。

数回周回してから、コーンヘッドを停止し、エンジンを停止してキーを抜き取ります。過熱していないかすべてのベアリ

ングを点検します。すべてのボルトがしっかりと締め付けられ、チェーンが正しく調整されている必要があります。

MH81805,0000708 -40-17MAR05-1/1

コーンヘッドの正しい調整

数回周回してから、コーンヘッドとコンバインの調整を点検します。(「調整」を参照してください)。

MH81805,0000709 -40-17MAR05-1/1

慎重な運転と操作

コーンヘッドが畝に追従するように慎重に運転します。絶対にコーンヘッドやコンバインを過負荷ポイントまで無理に操作しないでください。過負荷により故障する可能性があります。低いギアで発進し、操作に適した対地速度を確認できるまで速度を上げます。

クラッチのスリップやその他の異音がないか聴き取ります。コーンヘッドが詰まった場合は、ヘッダーの詰まりが除去さ

れるまでエンジンを運転回転数に維持し、対地速度を下げてコーンヘッドを清掃します。

重要：コンバインの前進の動きはギャザリングチェーンフライトの後進の動きと概略同じである必要があります。そうでない場合、詰まりが発生する可能性があります。

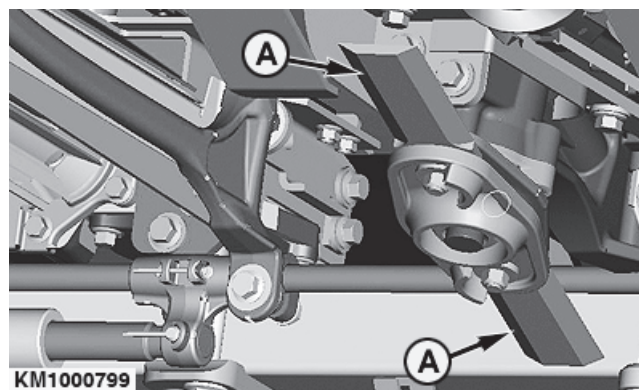
MH81805,000070A -40-17MAR05-1/1

StalkMaster™ チョッパー

⚠ 警戒： StalkMaster 細断ナイフ (A) によって石や異物が弾き飛ばされる可能性があります。

けがや死亡事故を防止するため、必ずコーンヘッドからの必要な安全距離を確保してください。

A：細断ナイフ



StalkMaster は Deere & Company の商標です。

KM00321,0000125 -40-09MAR09-1/1

ひじかけのコントロール

コーンヘッド用のひじかけコントロール：各機能の詳細な情報については、コンバインのオペレータマニュアルを参照してください。

- A：「Header Engage and Feeder House Reverser (ヘッダー接続／フィーダーハウスリバーサ)」スイッチ
- B：「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ
- C：「Cutterbar Pressure Adjust (カッターバー圧力調整)」スイッチ
- D：「Feeder House Rate/Sensitivity Adjust (フィーダーハウスレート／感度調整)」スイッチ
- E：選択ダイヤル (操作調整およびコントロール)
- F：ヘッダー高さ／HydraFlex™ 圧力制御ダイヤル
- G：リール回転数ダイヤル (Dial-A-Speed™)
- H：「Road Transport Disconnect (道路輸送切断)」スイッチ



ひじかけ：MY 2012 以降のコンバイン (CommandCenter™ 装備)



ひじかけ：MY 2011 までのコンバイン (CommandCenter™ 装備)

KM00321,0000513 -40-07OCT11-1/1

コーンヘッドドライブの接続／接続解除

注記：セパレータスイッチおよびヘッダースイッチを接続する前に、オペレータはオペレータシートに座っている必要があります。

コーンヘッドを接続するには、次の手順に従います。

- 道路輸送切断スイッチ (A) を圃場位置に切り替えます。
- セパレータスイッチ (B) を接続します。
- ヘッダースイッチ (C) を接続します。

A：「Road Transport Disconnect (道路輸送切断)」スイッチ
B：「Separator Engage (セパレータ接続)」スイッチ
C：「Header Engage (ヘッダー接続)」スイッチ



MY 2012 以降のコンバイン



MY 2011 までのコンバイン

KM00321,0000514 -40-07OCT11-1/1

コーンヘッドドライブの回転数

コンバインの前進走行はギャザリングチェーンフライトの後退とほとんど同じである必要があります。

対地速度が速すぎると、ギャザリングチェーンが茎を前方に押し、穂が払い落とされます。対地速度が遅すぎると、ギャザリングチェーンが茎をコーンヘッドに戻して茎が削ぎ取られるか穂が払い落とされます。

MH81805,000070C -40-17MAR05-1/1

固定速度フィーダーハウス付きコンバイン

固定速度フィーダーハウスコンバインのヘッダー回転数の変更については、「調整」セクションを参照してください。

JK22594,0000241 -40-20JUL07-1/1

弱った茎や傷んだ茎のトウモロコシの収穫

茎や穂は、病害（茎腐敗病）や昆虫（アワノメイガ）によって弱くなることがあり、コーンヘッドのディバイダーポイントやギャザラーシールドに接触すると、地面近くで折れる可能性があります。この材料はパイルに押し込まれ、パイルによって茎がストークロールに接触しなくなります。これが発生すると、作物が失われて生産性が低下します。

このような問題の解決策を以下に示します。

- コンバインの対地速度を下げます。
- 可変速フィーダーハウスでコーンヘッド速度を増やします。
- 穂をストークロールに接触させないで可能な限り広くデッキプレートを調整します。
- 穂回収装置を取り外します。
- 刃がかなり摩耗している場合はストークロールを交換します。

NS43404,0000046 -40-19MAY08-1/1

ポップコーンの収穫

- デッキプレートを可能な限り近くに調整します。
- 正しい設定については、コンバインのオペレータマニュアルを参照してください。

- 最大径の穂がフライティングとフロアの間を接触しないで通過するようにクロスオーガを上げます。
- ヘッダーバックシャフト回転数を下げます。

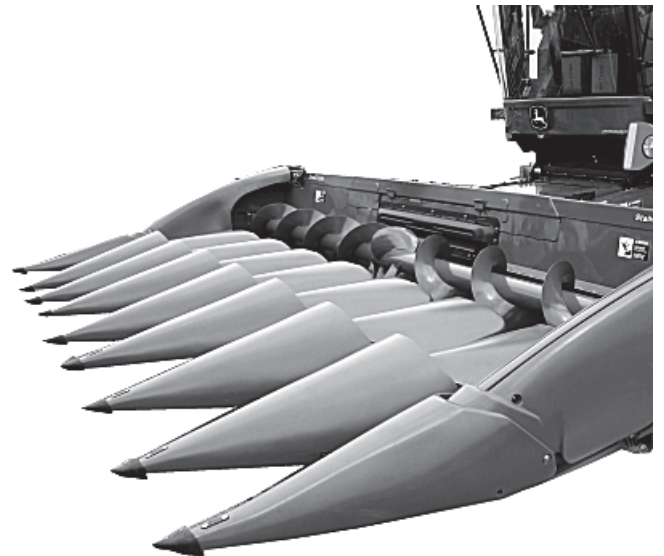
OUO6043,0001C82 -40-03JAN08-1/1

ギャザラー

ほとんどの条件では、ギャザラーポイントの前部を地面に接触させて操作します。

ぬかるんだ条件や雪の中では、物がスロート開口部に取り込まれない程度にヘッダーを高くします。

すべてのポイントレベルを互いに調整します。



JK22594,0000242 -40-13AUG07-1/1

内側ギャザラーポイントとシールドの上昇と取り外し

1. ボルト (A) を取り外します。
2. シールド (C) から離れるまでシールドロック (B) を後方に回転させます。

注記：ロックを取り付けるときは、ボルト (B) を締め付けすぎないでください。

仕様

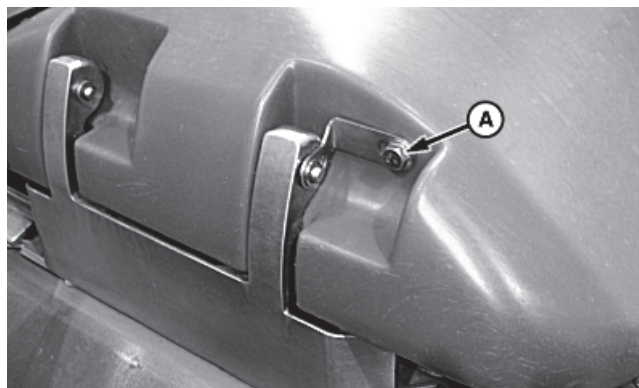
ギャザラーシールドのロックボルト

トルク 20 N・m
(15 lb-ft)

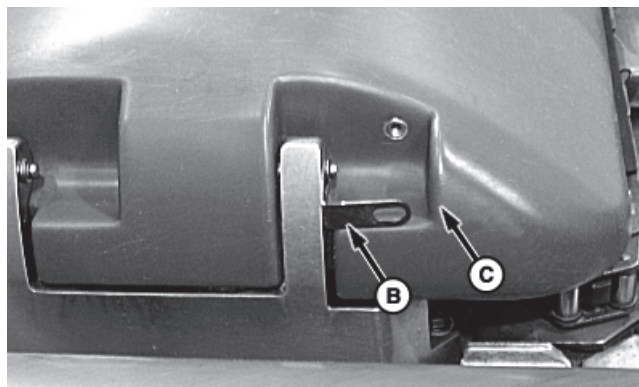
A : ボルト

B : シールドロック

C : シールド



内側シールドの後部



次のページへ

KR43067,00008B3 -40-15JUN11-1/2

3. ピン (A) が所定の位置にロックされるまでポイントを上げます。

⚠ 警戒： ポイントおよびシールドアセンブリの持ち上げと取り外しの際は大けがをしないように注意してください。アセンブリは重いので取り扱いが容易ではありません。

4. ラッチバー (B) を引っ張り、ポイントとシールドアセンブリを一緒に持ち上げます。

5. **装備されている場合：** センサーハーネスコネクタの接続をメインワイヤハーネスから外します。シールドの内側にあるコネクタにアクセスするには、シールドの後部に取り付けられている結束バンドを切断してコネクタを引き出します。

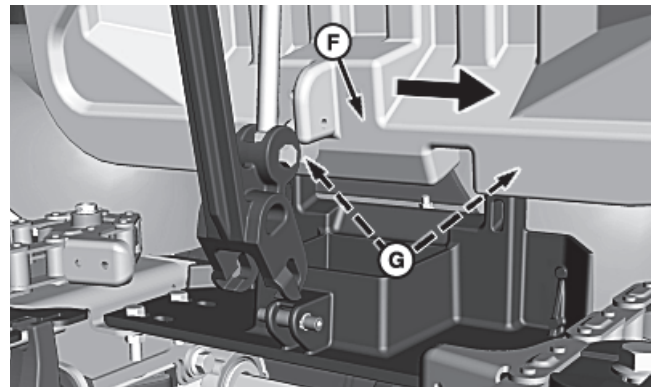
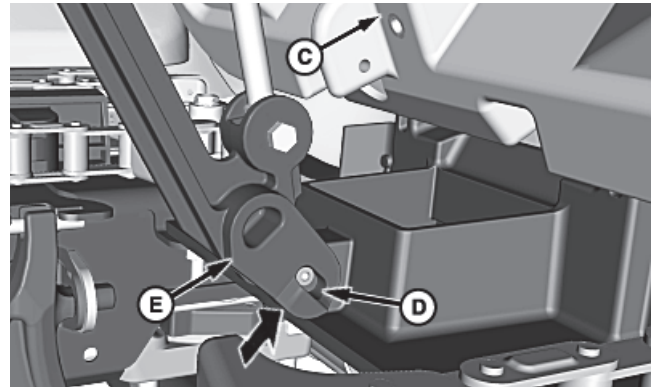
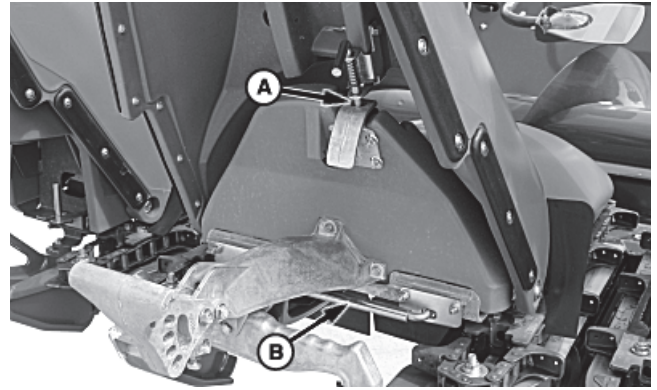
6. リフトシリンダの取り外し

- 固定ピンが長穴 (D) の後部に配置されるまでギャザラーシールド (C) に上向きの圧力をかけます。
- マウントがピンから離れるまでシリンダマウント (E) を持ち上げます。

⚠ 警戒： 持ち上げるときは十分注意してください。アセンブリは重いので取り扱いが容易ではありません。

7. ギャザラーシールド (F) がサポートピン (G) から外れるまでシールドを側方にスライドさせ、シールドアセンブリを持ち上げてマウントから外します。

- A: ピン
B: ラッチバー
C: ギャザラーシールド
D: 長穴の後部
E: リフトシリンダマウント
F: ギャザラーシールド
G: 装置ピン

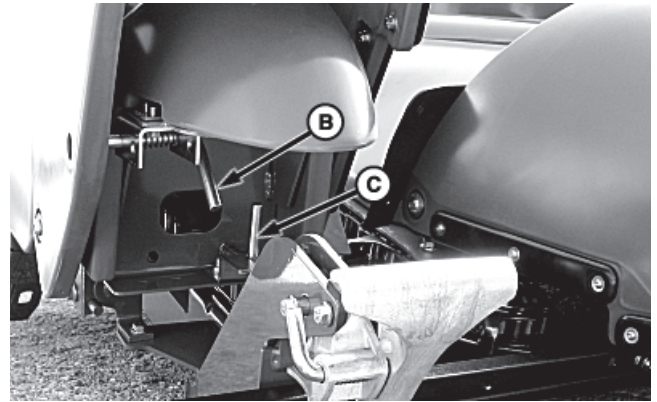
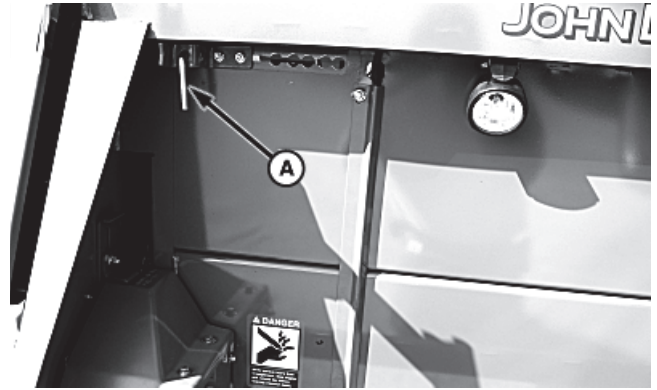


KR43067.00008B3 -40-15JUN11-2/2

外側ギャザラーポイントとシールドの上昇および傾斜

1. ラッチピン (A) を解放してロック位置まで回転させます。
2. ピン (B) が所定の位置にロックされるまで外側のポイントを上げます。
3. ピン (C) を解放して、ギャザラーシールドとポイントを外側に回転させます。

A : ラッチピンの固定
B : ラッチピン
C : ラッチピン



KR43067,000073B -40-19NOV10-1/1

穂回収装置

穂回収装置 (Ear Saver) (A) は、遊離した穂がギャザラーチェーンの上を滑って地面に落下するのを防止します。

垂れたトウモロコシの場合、または茎がギャザラーのスロート開口部に詰まる傾向がある場合は、穂回収装置を取り外します。穂回収装置と金具を保管します。

立っているトウモロコシでは、穂回収装置を取り付けて穂の損失を防止します。

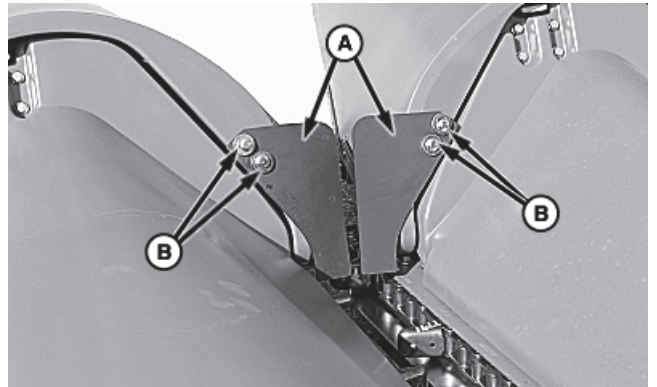
穂回収装置を交換するには、次の手順に従います。

穂回収装置を固定しているボルト (B) を取り外して、穂回収装置を取り外します。

注記：穂回収装置を取付けるときは、ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ボルト	
トルク	20 N・m～25 N・m (15 lb-ft～18 lb-ft)



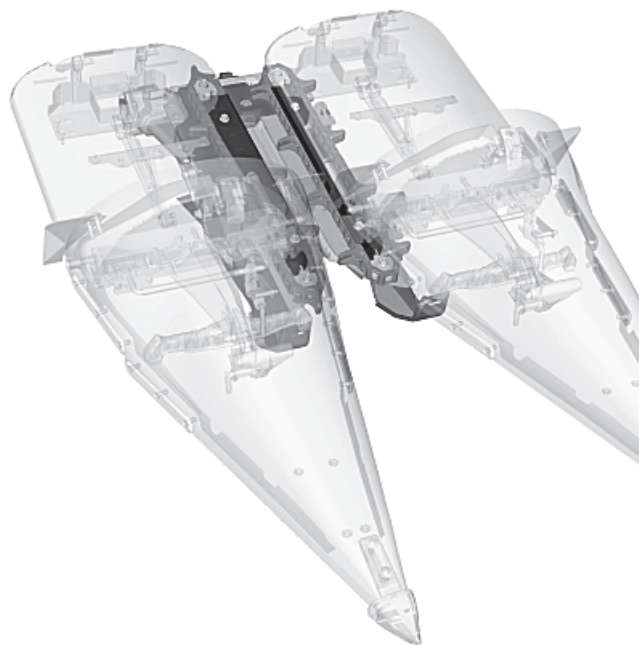
A : 穂回収装置

B : ボルト

JK22594,0000247 -40-10SEP07-1/1

条ユニット

各条ユニットは、一対のトラッシュナイフ、ギャザリングチェーン、デッキプレート、およびストークロールを付属しています。トウモロコシの穂は茎から除去され、条ユニットによりオーガに搬送されます。



KR43067,00005BA-40-01DEZ10-1/1

ストークロール

ストークロールはトウモロコシの茎を引き下ろします。これにより、穂は茎から除去され、デッキプレートの上に落ちます。

606C および 608C コーンヘッドは、収穫性能を向上させて次の利点を発揮するナイフストークロールを備えています。

- 残留物の迅速な破碎。
- 土壌の早期ウォームアップと乾燥。

- 特に高収量トウモロコシ (150 bu/ac 以上) で、耕起および播種装置による残留物の取り扱いの向上。
- 他の装置による茎の破碎、切断、サイズ設定が必要な通過物の低減に最適です。
- ナイフストークロールはすべての条件で十分機能します。
- ナイフロールは湿気の多い困難な条件や高水分条件でうまく機能します。
- また、ナイフロールは重い草、つる、雑草でもうまく機能します。

KM00321,0000039-40-24SEP08-1/1

油圧調整式デッキプレート

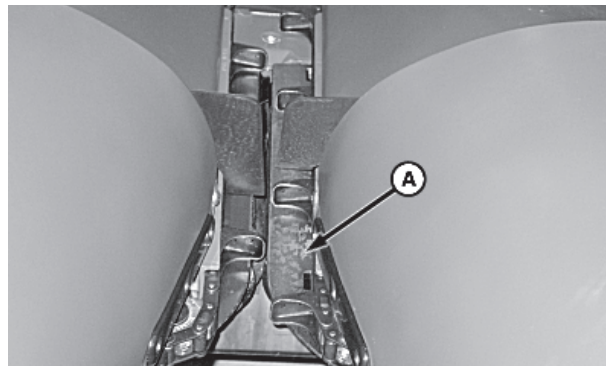
油圧調整式デッキプレート (A) を使用すると、さまざまな茎や穂のサイズに合わせてキャビン内からデッキプレートを調整し、ヘッドからの穀粒ロスをなくすることができます。

デッキプレートは、エンジンを運転中に道路輸送切断スイッチを圃場位置にしている場合のみ動かすことができます。

リールスイッチ (B) の上側を押してデッキプレートを閉じ、リールスイッチ (B) の下側を押してデッキプレートを開きます。

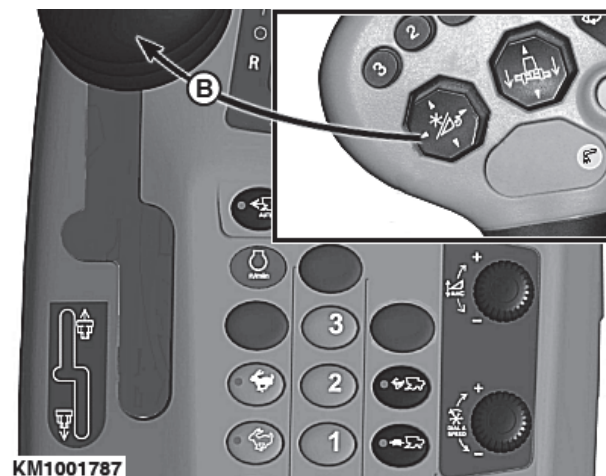
A: デッキプレート

B: 「Reel (リール)」スイッチ



KM1000668

MY 2011 までのコンバイン



KM1001787

MY 2012 以降のコンバイン

KM00321,0000509 -40-27SEP11-1/1

オーガ

オーガ (A) は条ユニットから作物材料を搬送し、フィーダーハウスに供給します。

A : オーガ



OUO6043,0001C88 -40-03JAN08-1/1

外側ギャザラーエクステンション

エクステンション (A) は、高さが低いギャザラーシート側の側面での穂の損失を防止します。

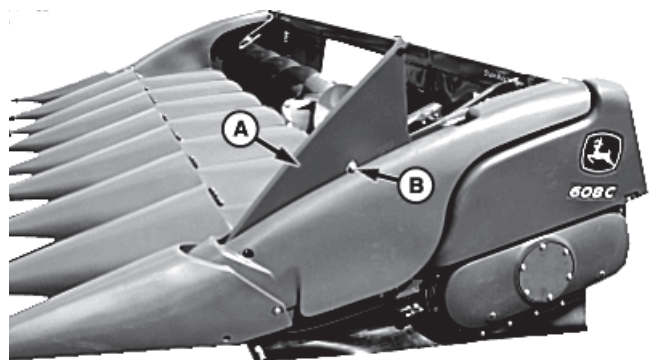
トウモロコシの茎が垂れ下がっている条件で運転しているときは、茎が滑らかに収集されるように外側ギャザラーエクステンションを下げます。

エクステンションはエンドフェンダーに組み込まれており、上昇または下降させることができます。

⚠ 警戒：エクステンション (A) にはスプリングの荷重がかかっています。エクステンションを上昇または下降させるときは、押し潰されないように十分注意してください。

1. ピン (B) がロックするまでエクステンションを上げます。
2. エクステンションを下げるには、ピン (B) を押し込んでエクステンションを下げます。

注記：外側ポイントを上げるには、エクステンションを下げる必要があります。



A : エクステンション

B : ピン

KM00321,000003C -40-01SEP08-1/1

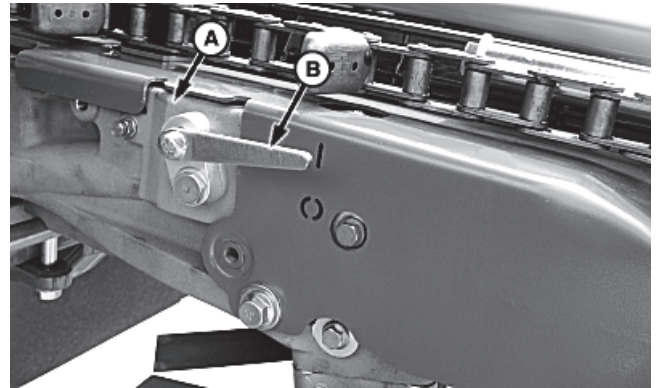
StalkMaster™ 細断ナイフの接続と接続解除

StalkMaster 細断オプションを装備したコーンヘッドは、各細断ギアケースを個別に接続解除することができます。これにより、オペレータは必要に応じて細断コーンヘッドを非細断ヘッドとして使用したり、異なる量の残留物が必要な場合に細断している条ユニットの数を制限したりすることができます。

1. コーンヘッドを完全に地面まで下ろすか、またはフィーダーハウスを完全に上げてフィーダーハウス安全ストップをかみ合わせます。
2. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

⚠ 警戒：大けがや死亡事故を防止してください。エンジン運転中は、この手順を実行しないでください。

3. ギャザラーポイントとシールドを上げます（このセクションの「センターギャザラーシールドおよびポイントの上昇と取り外し」を参照してください）。
4. 接続／接続解除レバーは細断ギアケース (A) の右側に取り付けられています。レバー (B) を上に回転させて細断ブレードを接続し、下に回転させて接続解除します。



A : StalkMaster™ 細断ギアケース B : レバーの接続／接続解除

5. ギャザラーシールドおよびポイントを下げます。
6. 条ユニットごとに手順を繰り返すか、必要に応じて条ユニットで手順を繰り返します。

KR43067,00005AA -40-18MAY10-1/1

装置とオプション

ストークロール

ストークロールはトウモロコシの茎を引き下ろします。これにより、穂は茎から除去され、デッキプレートの上に溜まります。

ニーズに最適なストークロールを決定するには、以下のガイドラインに従ってください。

(A) 対向ナイフストークロール：オプション

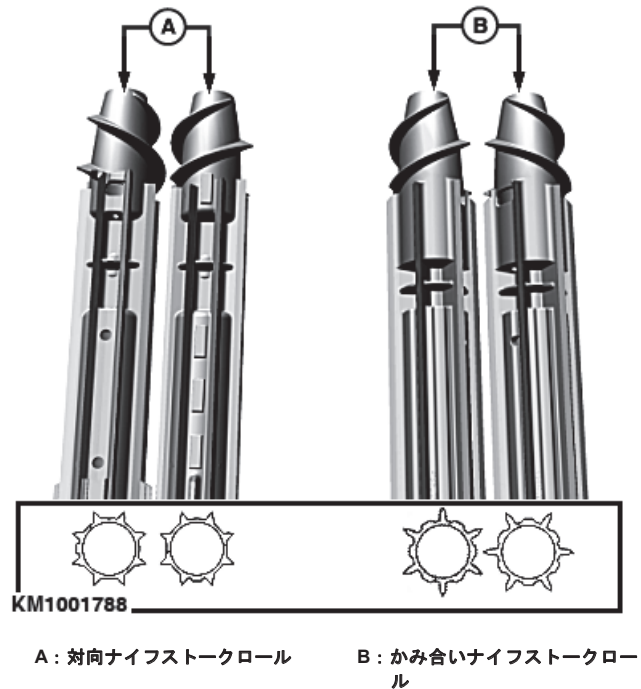
次の場合に推奨します。

- StalkMaster™ 細断コーンヘッドを使用している。
- 収穫中にトウモロコシの茎を長さ 250 mm～400 mm に細断する必要がある場合。
- 残留物の迅速な破碎が必要。
- 土壌の早期ウォームアップと乾燥が必要。
- 特に高収量トウモロコシで、耕起および播種装置による残留物の取り扱いを向上する必要がある場合。
- 他の装置による茎の破碎、切断、サイズ設定が必要な通過物の低減が必要な場合。
- 乾燥条件で良好な性能が必要な場合。
- 重い草、つる、雑草がある状態で収穫している場合。
- 非細断コーンヘッドで動力消費を低減する必要がある場合。

(B) かみ合いナイフストークロール：オプション

次の場合に推奨します。

- 非細断コーンヘッドに最適な材料の取り扱いが必要な場合。
- 過酷な条件や湿潤条件で収穫している場合。
- 残留物の迅速な破碎が必要。



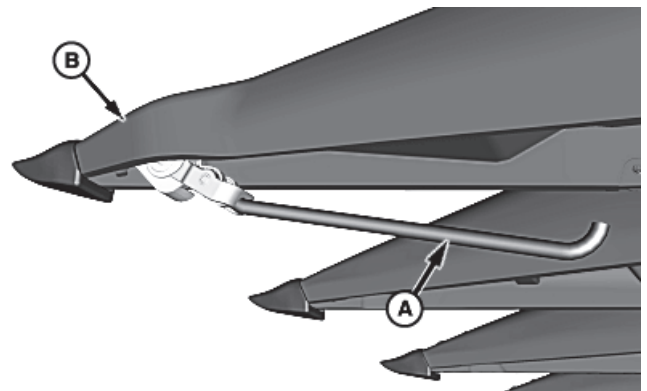
- 土壌の早期ウォームアップと乾燥が必要。
- 特に高収量トウモロコシで、耕起および播種装置による残留物の取り扱いを向上する必要がある場合。
- 他の装置による茎の破碎、切断、サイズ設定が必要な通過物の低減が必要な場合。

KM00321,000050A -40-27SEP11-1/1

アクティブヘッダー制御グラウンドセンサー (オプション)

センサーアーム (A) はコーンヘッドの下にあり、ギャザラーポイント (B) に取り付けられています。センサーアームは地面の凹凸に追従してポテンショメータを作動させます。発生した信号により、コンバインは収穫中に必要な刈り高を維持できます。

- A : センサーアーム
B : ギャザラーポイント



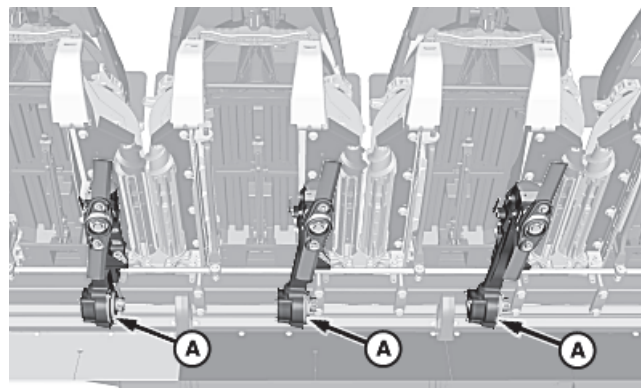
KR43067,00005A3 -40-17MAR11-1/1

StalkMaster™ 細断ギアケース (オプション)

StalkMaster™ 細断ギアケース (A) を使用すると、トウモロコシの茎を特定の長さでワンパスで細断できるので、さらに装置を通過させる必要がなくなります。オペレータは 1 台またはすべてのギアケースの接続を解除するオプションを利用できるので、残留物管理で幅広い柔軟性が得られます。

工場取り付けのコーンストークチョッパーは、モデル 606C-SM および 608C-SM コーンヘッドで利用できます。

重要：整備部品を通じて購入した交換用細断ギアケースは乾燥状態で出荷されます。使用前にギアケースに適切なレベルまでオイルを充填する必要があります (仕様については、「潤滑とメンテナンス」セクションを参照してください)。



A : StalkMaster™ 細断ギアケース

KM00321,000050C -40-27SEP11-1/1

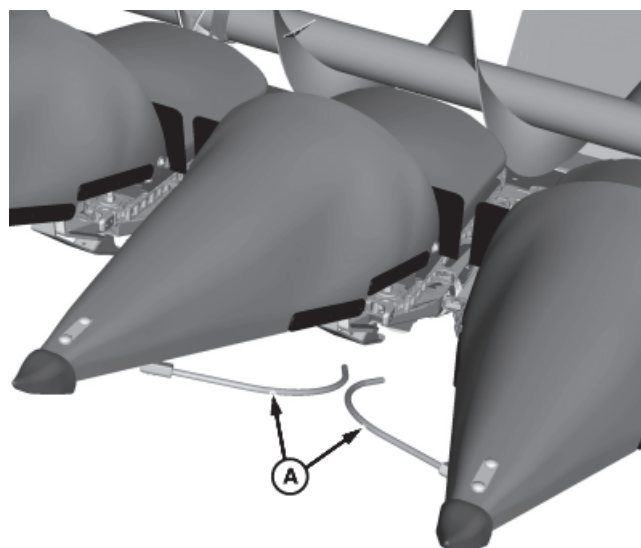
AutoTrac RowSense

AutoTrac RowSense は、コーンヘッドに取り付けられたセンサーからの入力を使用して、収穫中にコンバインの操舵で既存の GPS ナビゲーションを支援します。

トウモロコシの茎がギャザラーポイントを通過すると、取り付けられている一連のセンサーアーム (A) が押されます。これらのセンサーからの信号を使用してトウモロコシの畝の位置を特定し、必要な調整を行ってコンバインを作物に沿って操舵します。

John Deere 取扱店にお問い合わせください。

A : 畝センサー



KR43067,0000565 -40-13MAY10-1/1

調整

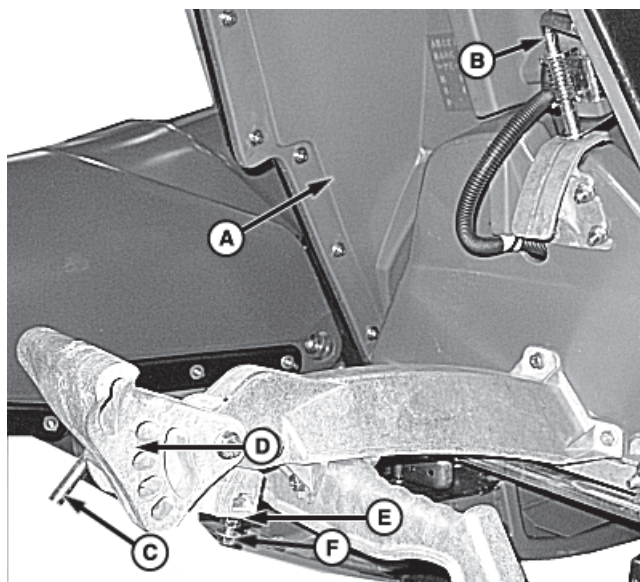
ギャザラーポイントの調整と水平調整

⚠ 警戒： 地面から離れるまでコーンヘッドを上げてエンジンを停止し、キーを抜きます。

1つのギャザラーポイントを適切な高さに設定します。残りのポイントを同じ高さに設定します。

1. ポイント (A) を上げてラッチ (B) をロックします。
2. スプリングロックピン (C) を引っ張り、位置決め穴 (D) を使って高さを調整します。
3. ポイントは、薄ナット (E) を緩めてボルト (F) を上下に調整することにより微調整することができます。

A : ポイント
B : ラッチ
C : ロックピン
D : 位置決め穴
E : 薄ナット
F : ボルト



NS43404,000004D -40-19MAY08-1/1

トラッシュナイフの調整

トラッシュナイフは、雑草やごみによってストックロールの周りが覆われないようにします。

トラッシュナイフは、刃に当てないで可能な限りロールに近づけて設定する必要があります。

1. ボルト 4 本 (B) を緩めます。
2. ナイフとストックロールの刃の間の隙間 (A) が仕様内になるようにトラッシュナイフ (C) を調整します。

仕様

トラッシュナイフとストックロールの

溝の隙間

隙間 1.5 mm
(1/16 in)

3. ボルト (B) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

トラッシュナイフ取り付けボルト

トルク 130 N·m
(96 lb-ft)

4. 回転させたときにストックロールスパイラル (D) (ロールの前側) およびストックロールフィン (E) (ロールの後側) がトラッシュナイフと接触していないことを確認します。
5. 反対側のトラッシュナイフおよび残りの条ユニットで手順を繰り返します。

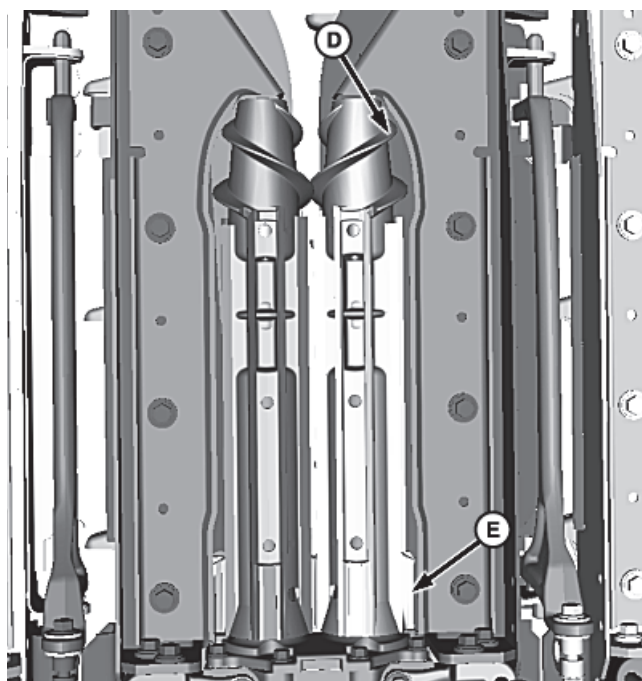
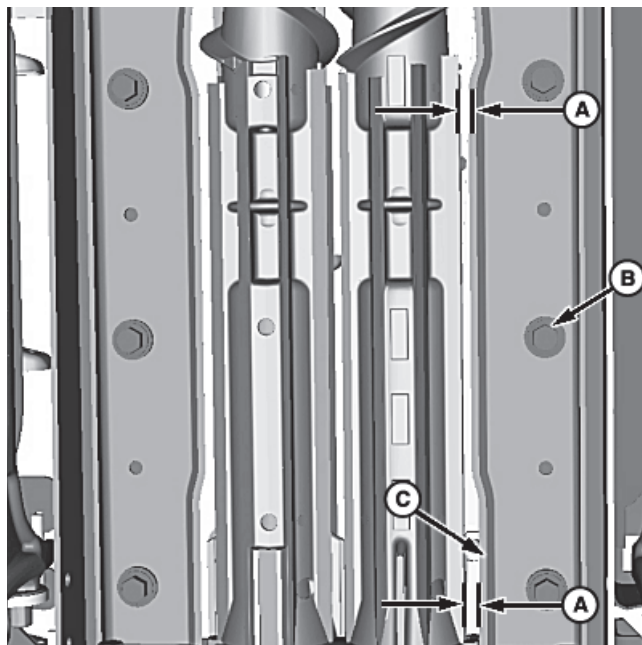
A : 寸法、1.5 mm (1/16 in)

B : ボルト (8 本使用)

C : トラッシュナイフ

D : ストックロールスパイラル

E : ストックロールフィン



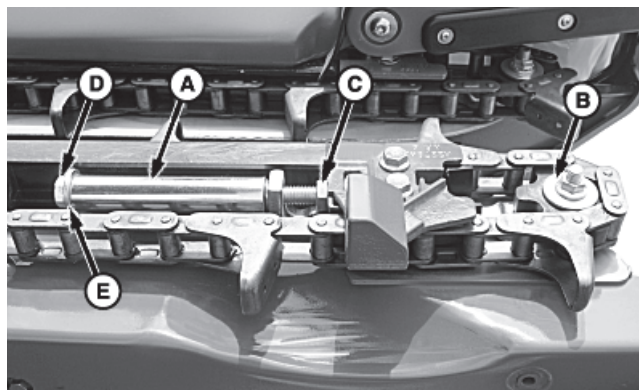
NS43404,000004E -40-19MAY08-1/1

ギャザラーチェーン張力の調整

ギャザラーチェーンの張力はスプリング式の締め具によって維持されます。スプリングはスペーサチューブ (A) によって遮蔽されており、スペーサチューブはアイドルsprocket (B) が引っ込みすぎないようにするためのストップとしても機能します。

- ギャザラーチェーン張力を増やすには、ナット (C) を緩めてボルト (D) を締め付けます。
- チェーンがアイドルsprocketから外れないようにするには、スペーサチューブ (A) と座金 (E) の間の最大間隔を 4.8 mm (3/16 in) に維持します。

A: スペーサチューブ
B: アイドルsprocket
C: ナット
D: ボルト
E: 座金



KR43067,0000734 -40-01DEZ10-1/1

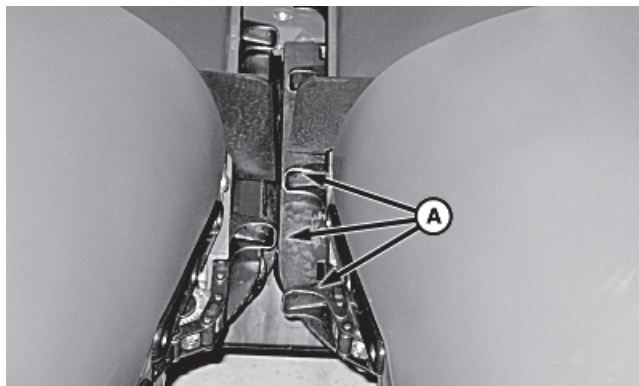
ギャザラーチェーンフライトの調整

ギャザラーチェーンは、チェーンフライト (A) を交互に配置して工場で組み付けられています。

重要: ギャザラーを地面に近づけて運転しているときは、敵の岩やその他の障害物を避けてください。

1. 必要に応じて、ポイントやシールドを開きます。

A: チェーンフライト

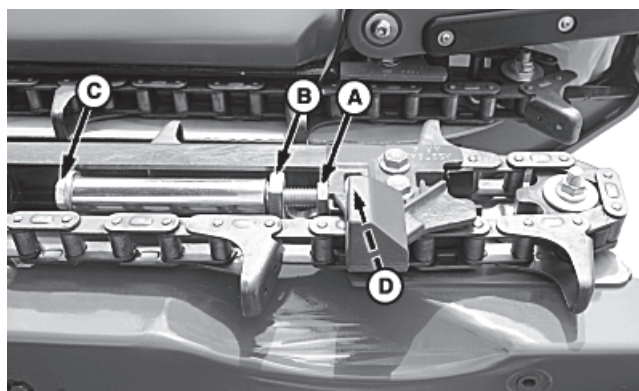


KR43067,0000735 -40-01DEZ10-1/3

2. アイドルサポートストラップ (B) に接触するまでナット (A) を回転させます。

3. ナット (D) が外れるまでボルト (C) を緩めます。

A: ナット
B: ストラップ
C: ボルト
D: ナット

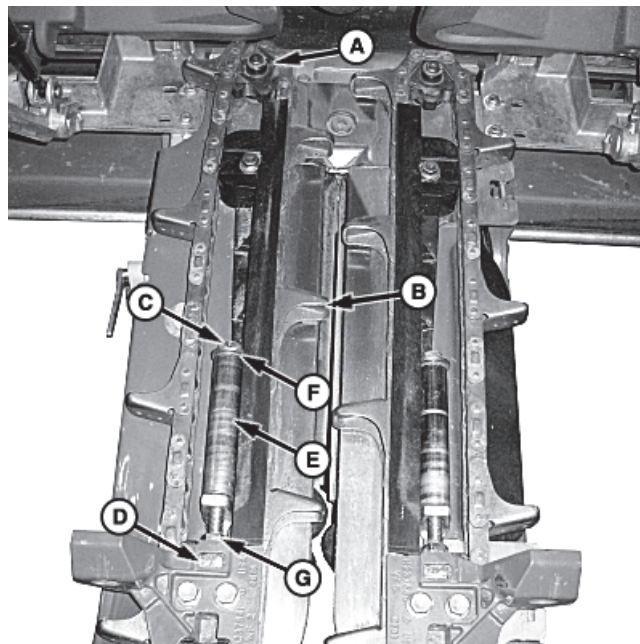


次のページへ

KR43067,0000735 -40-01DEZ10-2/3

4. チェーンを持ち上げてドライブソケット (A) から外し、フライト (B) が均一な間隔で配置されてるまでチェーンを回転させます。チェーンをスプロケットに戻します。
5. スペーサチューブ (E) と座金 (F) の間が最大間隔 4.8 mm (3/16 in) に設定されるまでボルト (C) をナット (D) に締め付けます。
6. ナット (G) をアイドルアセンブリに対して締め付けます。

A: ドライブスプロケット
 B: フライト
 C: ボルト
 D: ナット
 E: スペーサチューブ
 F: 座金
 G: ナット



KR43067,0000735 -40-01DEZ10-3/3

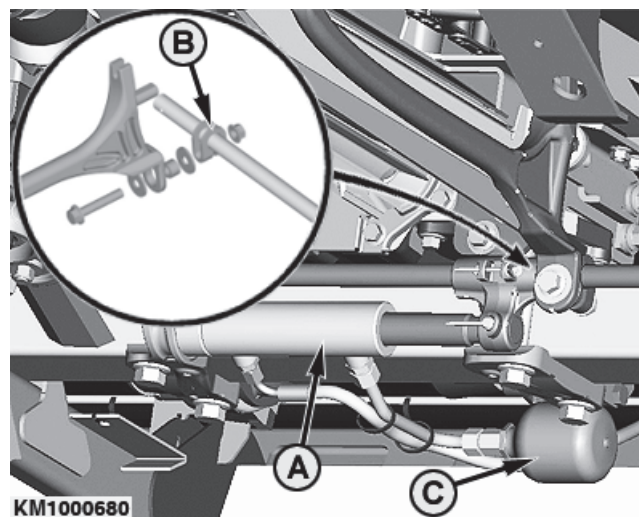
デッキプレートの調整

注記：デッキプレートは工場で設定されています。

1. デッキプレートを閉位置に設定します (シリンダ (A) が完全に伸長します)。左側のデッキプレートが閉位置であることを確認し、必要に応じてクランプをリセットして締め付けます。
2. 金具を締め付けたときにクランプ (B) は閉じてタイバーを押し付けている必要があります。残りの条ユニットにピボットアームを取り付けます。

⚠ 警戒：油圧アクチュエータ (C) の取り外すまたは作動させるのは、油圧の訓練を受けたエンジニアまたは技術者だけが行う必要があります。油圧アクチュエータで溶接、はんだ付け、または機械的作業を行わないでください。

A: シリンダ
 B: クランプ
 C: 油圧アクチュエータ



次のページへ

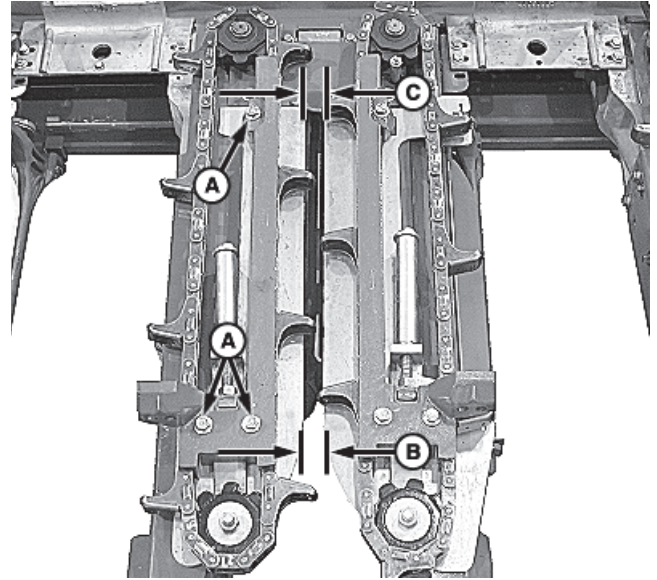
KM00321,000004F -40-03SEP08-1/2

- 右側のデッキプレートを条ユニットのフレームに固定しているボルト (A) を緩めます。
- 前部間隔 (B) を 18 mm (23/32 in) に設定し、後部間隔 (C) を 20 mm (25/32 in) に設定します。
- ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

デッキプレートのボルト
トルク 95 N・m
(70 lb-ft)

A : ボルト
B : 前部間隔
C : 後部間隔



KM00321,000004F -40-03SEP08-2/2

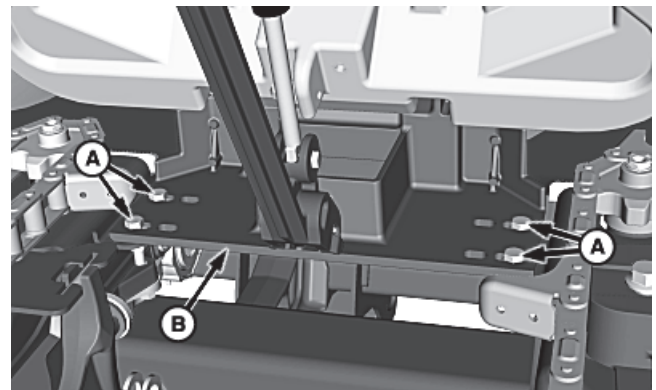
条間隔の調整

条間隔

コーンヘッド	cm	in
606C	70	27.5
606C	76.2	30
608C	70.0	27.5
608C	75.0	29.5
608C	76.2	30

⚠ 警戒：コーンヘッドの下で作業するときは、必ずシリ
ンダ安全ストップ安全位置に配置してコーンヘッドが
下がるのを防止してください。

- 条ユニットのシールドとポイントを取り外します。
- ボルト (A) とマウント (B) を取り外します。



A : ボルト (4 本使用)

B : 条ユニットのシールドマウン
ト

次のページへ

KM00321,000050D -40-05OCT11-1/3

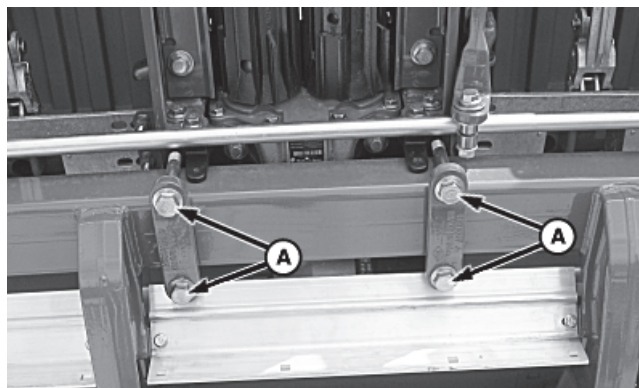
注記：条ユニットを必要な位置にスライドさせるには、適切なリフト装置を使用して条ユニットを支持します。ユニットを必要な位置に慎重にスライドさせます。

- 2つのセンター条ユニットのボルト (A) を緩めます。両方の条ユニットを均等な距離に動かして必要な条間隔を設定します。条ユニットのボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

条ユニットのボルト
トルク 310 N・m
(229 lb-ft)

- 中央から外側に作業して残りの条ユニットを動かします。ボルトを緩めてユニットを必要な条間隔に動かします。すべての条ユニットが正しい間隔になるまで繰り返します。



A : ボルト (4 本使用)

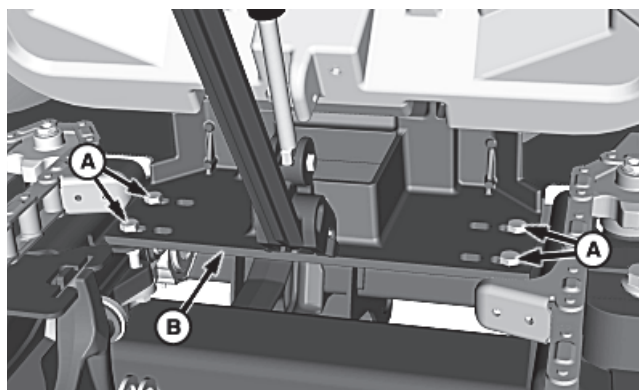
KM00321,000050D -40-05OCT11-2/3

- 条ユニットのシールドマウント (B) を必要な条間隔に配置してボルト (A) を取り付けます。ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

条ユニットのシールドマウントのボルト
トルク 70 N・m
(52 ft-lb)

- 条ユニットドライブシールドおよび金具を取り付けます。
- 条ユニットのシールドとポイントを取り付けます。
- センサーハーネスコネクタを接続し (取り外した場合)、コネクタをデッキカバーの穴に押し込みます。ハーネスの黄色のテープマークにハーネスを保持して、上昇ポイントのための正しいたるみを確保します。



A : ボルト (4 本使用)

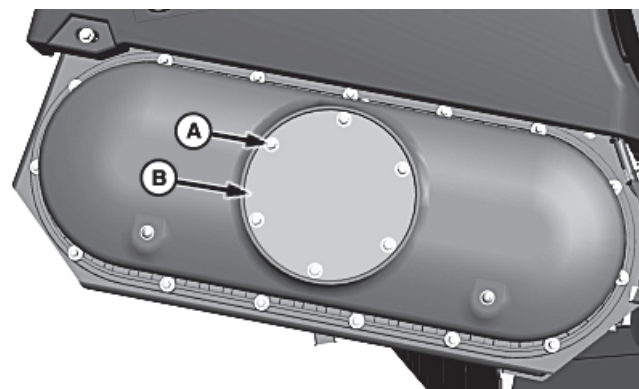
B : 条ユニットのシールドマウント

KM00321,000050D -40-05OCT11-3/3

条ユニットドライブチェーンの調整

- ボルトと座金 (A)、およびカバー (B) を取り外します。

A : ボルトと座金 (6 個使用)
B : カバー



次のページへ

KR43067,000074D -40-30NOV10-1/2

注記：チェーンを締め付けすぎると、チェーンが過度に摩耗します。条ユニットのチェーンはコネクタリンクなしの連続チェーンです。

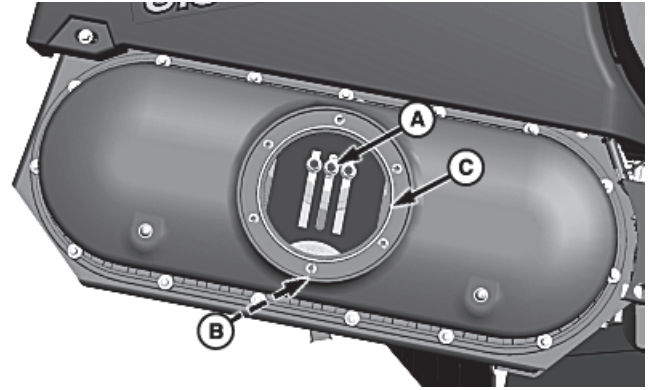
2. テンショナ金具 (A) を緩めます。
3. テンショナを下方に調整してチェーン張力を増やすか、上方に調整して張力を減らします。下部チェーンストランド (B) は 10 mm 上に、および 10 mm 下に動く必要があります。金具を規定のトルクで締め付けます。

仕様

テンショナのボルト
トルク 90 N・m
(66 lb-ft)

重要：カバーを取り付ける前に O リングシール (C) が清浄で損傷していないことを確認してください。必要に応じて交換します。

4. ボルトと座金を使用してカバーを取り付けます。



A : テンショナ金具
B : 下部ドライブチェーン

C : シール

KR43067,000074D -40-30NOV10-2/2

条ユニットドライブソケットの調整 (固定速度フィーダーハウス付きコンバイン)

重要：可変速フィーダーハウスでコーンヘッドスプロケットを変更すると、コーンヘッドの速度超過が発生して機械が損傷する可能性があります。従動シャフトは 715 rpm を絶対に超えないでください。

コーンヘッドは歯数 24 の駆動スプロケットおよび歯数 27 の従動スプロケットで駆動されます。

注記：スプロケットを交換または調整する前に、オイルを抜き取り、パンを取り外します。「整備」セクションの「オイルの抜き取り／充填とパンの取り付け／取り外し」を参照してください。

対地速度を速くして運転している場合は、従動シャフトに小型のスプロケットを取り付けて、駆動シャフトに大型のスプロケットを取り付けます。

チェーンがスプロケットに乗り上げたり、ジャンプしたりしないようにタイトナを調整します。

以下の表は、各スプロケットの組み合わせで使用されるコンバインのおおよその走行速度を示しています。

注記：表の推奨走行速度は平均的な圃場条件に基づいています。ユーザーの圃場条件とは異なっている可能性があります。使用するスプロケットを決定する必要があります。従動シャフトは 715 rpm を絶対に超えないでください。

715 rpm を超える速度でコーンヘッドを運転すると、機械が損傷する可能性があります。

注記：固定速度フィーダーハウス付きコンバイン：スプロケットはすべてのモデルで駆動側歯数 24、従動側歯数 27 に工場でそれぞれ設定されています。可変速フィーダーハウス付きコンバインのスプロケットをこれらのスプロケットに変更しないでください。

収穫速度：	コーンヘッド スプロケット	
	駆動側	従動側
7 km/h まで (4 mph まで)	歯数 24	歯数 27
7 km/h 超 (4 mph)	歯数 27	歯数 24

注記：特定の圃場条件では、条ユニットの駆動速度をさらに速くする必要がある場合があります。この場合、通常の予備部品チャンネルを通じて歯数 20、21、22、23 のスプロケットをさらに購入できます。

コーンヘッドスプロケット		速度の増加
駆動側	従動側	
歯数 27	歯数 23	+4%
歯数 27	歯数 22	+9%
歯数 27	歯数 21	+14%
歯数 21	歯数 20	+20%

KM00321,000050E -40-07OCT11-1/1

オーガ高さの調整

オーガは、オーガフライティングとフロアのクリアランスを確保するために上下に調整できます。

ほとんどの条件で、オーガを下側に調整します。ポップコーンおよび食品用トウモロコシの穂の損傷を防止するには、オーガを上げます。

1. サイドシールドを開いてベアリングキャリア (A) を確認します。
2. 金具 (B) を緩めてオーガ高さを上下に調整します。
3. 長穴 (C) で可能な位置よりも高くオーガを上げる必要がある場合は、次の手順に従います。
 - a. ベアリングキャリアから金具を取り外します。
 - b. キャリアを下側の取り付け穴 (D) から上側の取り付け穴 (E) に動かして金具を再度取り付けます。
4. キャリアの金具を締め付けてサイドシールドを閉めます。

重要：オーガの両側が均等に調整されていることを確認します。

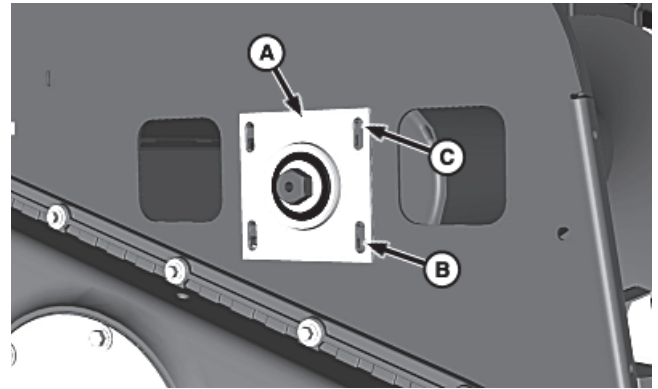
5. コーンヘッドの反対側で高さ調整を繰り返します。

重要：オーガフライティングとフロアの間には 22 mm (7/8 in) 以上のクリアランスが必要であり、オーガとストリップの間には 6 mm (1/4 in) 以上のクリアランスが必要です。

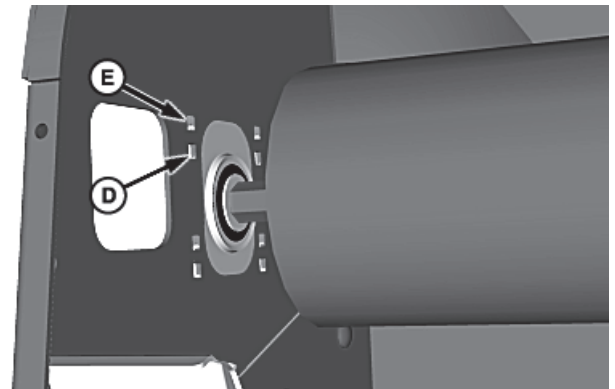
仕様

オーガフライティングとフロア クリアランス	22 mm (7/8 in)
オーガフライティングとストリップ クリアランス	6 mm (1/4 in)

次のページへ



右側



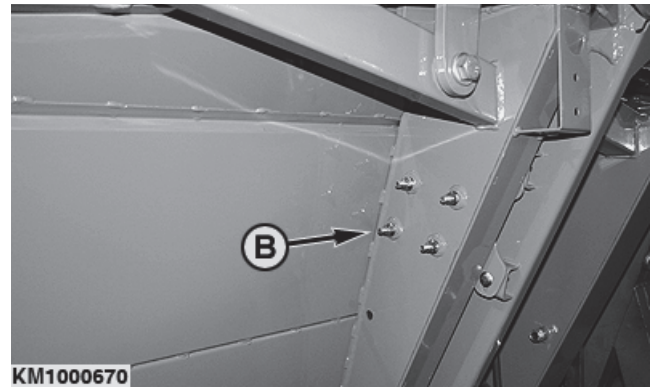
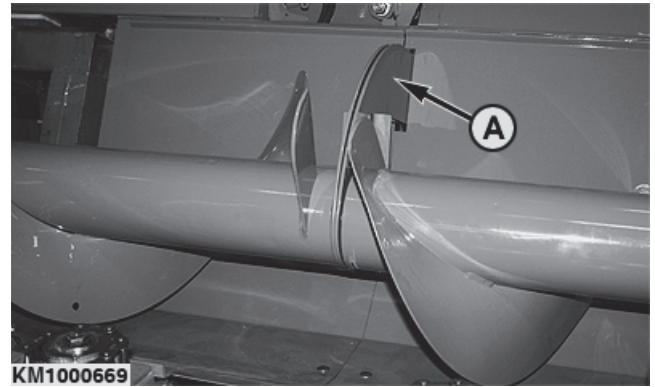
A : ベアリングキャリア
B : 金具 (非表示)
C : 長穴

D : 下側の穴
E : 上側の穴

KM00321,0000515 -40-07OCT11-1/2

6. オーガの中央の部品が外側の部品と整列するように内側の固定ブラケット (A) を調整します。
7. これを行うには、ナット (B) を緩めて内側の固定ブラケット (A) を調整します。
8. ナット (B) を締め付けます。

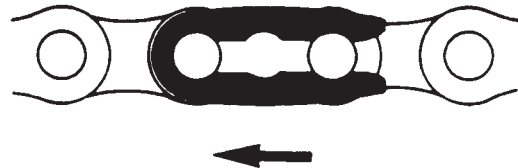
A : 固定ブラケット
B : ナット



KM00321,0000515 -40-07OCT11-2/2

チェーンの連結

チェーンカプラーリンクを固定するときは、スプリングロックの閉じた端部をチェーンの走行方向方向に向ける必要があります。



H41470

KR43067,0000738 -40-18NOV10-1/1

オーガドライブチェーンの調整

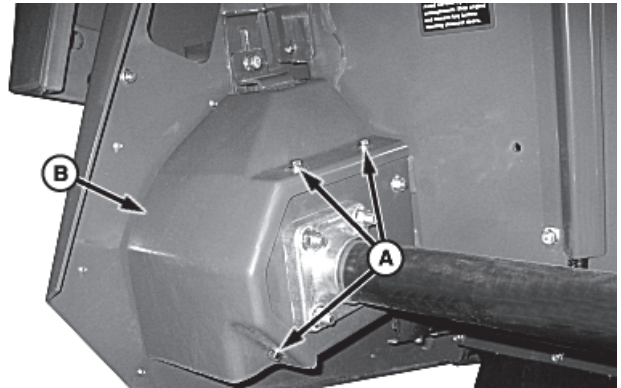
1. ボルト (A) とカバー (B) を取り外します。
2. ロックナット (C) を緩めます。
3. アイドラプレート (D) を下にスライドさせてチェーン張力を増やし、上にスライドさせて張力を減らします。
4. ロックナットを規定のトルクで締め付けます。

仕様

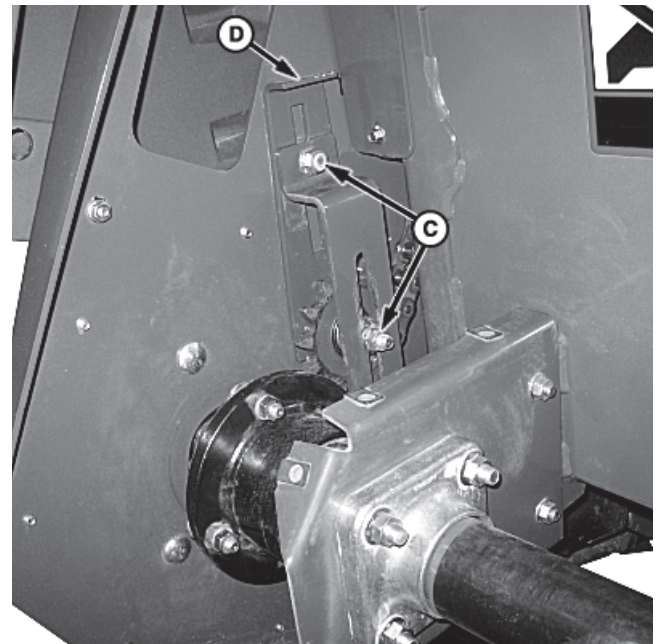
アイドラプレートのナット
トルク 90 N・m
(66 lb-ft)

注記：チェーン張力が過大な場合、チェーンが過度に摩耗します。たるみ側の動きが上に 10 mm (3/8 in)、下に 10 mm (3/8 in) になるようにチェーン張力を設定します。

A：ボルト
B：カバー
C：ロックナット
D：アイドラプレート



左側



KR43067,0000737 -40-18NOV10-1/1

潤滑

コーンヘッドグリース

John Deere Corn Head Grease が推奨されています。

EP (Extreme Pressure) 性能を備え、NLGI グリースちょう度番号 0 に適合する SAE 多用途グリースも使用できます。

DX,CORN -40-11APR11-1/1

グリース

点検間隔中に予期される気温範囲を基にした、NLGI グリースちょう度番号とグリースを使用してください。

以下のグリースを推奨します。

- John Deere SD POLYUREA GREASE (TY6341)

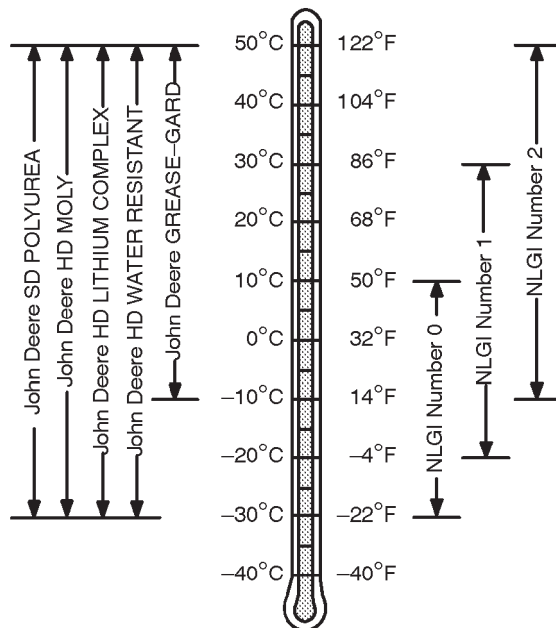
以下の条件に適合する他のグリースも使用できます。

- NLGI 性能分類 GC-LB

重要：一部の種類の増粘されているグリースは他の種類と互換性がありません。

グリースフィッティングがなくなっている場合は、すぐに代わりを付けます。グリースガンを使用する前に、潤滑フィッティングを清掃します。

製品番号	説明
TY6341	多目的、高温極圧グリースは、特に転がり接触用途で効果があります。



AG,OUO1035,1175 -40-20MAY08-1/1

潤滑剤の保管

清浄な潤滑剤を使用した場合のみ、装置は最も効率的に作動します。

すべての潤滑剤の取り扱いには清潔な容器を使用してください。

粉塵、湿気、その他の汚染から保護された場所に潤滑剤と容器を保管してください。水分や埃がたまらないように容器は横向きに保管してください。

すべての容器に適切にマークを付けて、中身を識別できるようにしてください。

すべての古い容器およびその中に残留している潤滑剤は適切に処分してください。

DX,LUBST -40-11APR11-1/1

代替潤滑剤と合成潤滑剤

特定地域の気候条件によっては、このマニュアルに記載されている潤滑剤とは別の潤滑剤が推奨される場合があります。

一部の John Deere 製クーラントや潤滑剤は現地で入手できない可能性があります。

情報や推奨事項については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

このマニュアルに記載された性能要件に適合する場合は、合成潤滑剤を使用できます。

このマニュアルに記載された温度制限と整備間隔は、従来型潤滑剤と合成潤滑剤の両方に適用されます。

再精製された基油製品も、精製後の潤滑性能が要件に適合すれば使用できます。

DX,ALTER -40-11APR11-1/1

潤滑剤の混合

通常、異なるブランドまたは種類のオイルを混合しないでください。オイルメーカーは、一定の基準値や性能要件に適合するように添加剤を配合しています。

異なるオイルを混ぜると、これらの添加剤が適切に機能しなくなり、潤滑性能が低下することがあります。

仕様情報や推奨事項については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DX,LUBMIX -40-18MAR96-1/1

潤滑とメンテナンス

潤滑記号

⚠ 警戒：コンバインのエンジンを運転中は、絶対にコーンヘッドを潤滑または整備しないでください。エンジンを停止してキーを抜き、安全ストップをセットします。



John Deere Multipurpose SD Polyurea Grease 高温／極圧潤滑剤または同等の SAE 多目的高温極圧 (EP) グリース性能を有するもので記号に示された時間に潤滑してください。



記号に示されている時間間隔で John Deere SAE 30 オイルまたは重質のオイルを使用して潤滑します。



記号に示されている時間間隔で John Deere コーンヘッドグリース (タイプ「O」) (ゼロ 極圧) を使用して潤滑します。この潤滑剤は 0.4 kg (14-1/2 oz) チューブ入り (AN102562) を入手できます。点検プラグを取り外す前にグリースとごみをすべて拭き取ってください。潤滑の前にグリースフィッティングを拭いて清掃してください。

重要：推奨点検間隔は平均的な運転条件でのものです。コーンヘッドを悪条件下で運転する場合は、より頻繁に整備してください。

MH81805,0000737 -40-17MAR05-1/1

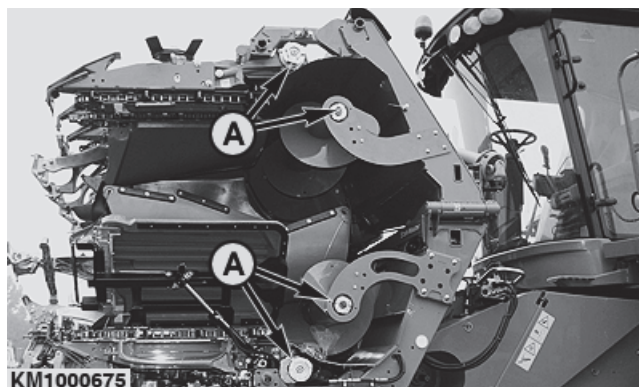
50 運転時間ごと

重要：システムの汚れによる装置の損傷や故障を防止するために、潤滑する前に必ずグリースフィッティングを清掃してください。

グリースフィッティングが損傷しているか、紛失している場合は、すぐに交換してください。

1. すべてのクローカップリング (A) を清掃します。

A: クローカップリング

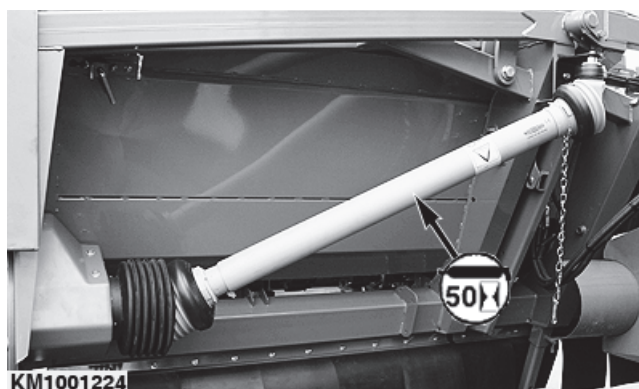


KM1000675 KM00321,000033A -40-08JUL10-1/2

2. ヘッダードライブシャフトにグリースを注入します。

必要に応じて、シールドを回転させてグリースフィッティングにアクセスします。

コーンヘッドでデュアルドライブシャフトを使用している場合は、反対側でも手順を繰り返します。



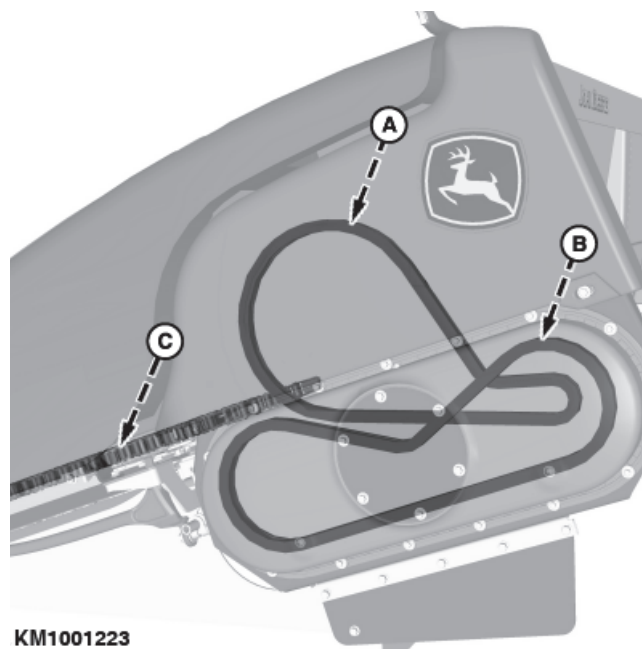
KM1001224 KM00321,000033A -40-08JUL10-2/2

チェーンの点検と調整：200 運転時間ごと

注記：コーンヘッドのモデルが異なると、各チェーンの数も異なります。

1. **オーガチェーン (A)**：チェーンの状態と張力を点検します。必要に応じて調整または交換します（「調整」セクションの「オーガドライブチェーンの調整」を参照してください）。
2. **条ユニットドライブチェーン (B)**：チェーンの状態と張力を点検します。必要に応じて調整または交換します（「調整」セクションの「条ユニットドライブチェーンの調整」を参照してください）。
3. **ギャザラーチェーン (C)**：チェーンの状態と張力を点検します。必要に応じて調整または交換します（「調整」セクションの「ギャザラーチェーン張力の調整」を参照してください）。

A：オーガドライブチェーン
B：条ユニットドライブチェーン
C：ギャザラーチェーン



KM00321,000033C -40-08JUL10-1/1

200 運転時間ごと

重要：システムの汚れによる装置の損傷や故障を防止するために、潤滑の前後に必ずグリースフィッティングを清掃してください。

グリースフィッティングが損傷しているか、紛失している場合は、すぐに交換してください。

重要：オイルレベルを点検するときは、プラグを取り外す前にプラグの周囲を必ず清掃してください。

必ずプラグをしっかりと締め付けてください。

条ユニットドライブチェーンのオイルの交換

重要：仕様に合わせてオイルレベルを維持してチェーンの過度の摩耗を防止してください。

1. コーンヘッドを完全に上昇させてフィーダーハウス安全ストップをかみ合わせます。
2. 抜き取る前にヘッダーを短時間運転してオイルを暖めます。

注記：フルードを清浄な容器に抜き取り、適切に廃棄してください。

3. ドレンプラグ (A) を取り外して安全ストップを外し、ヘッダーを下げてオイルを抜き取ります。
4. ドレンプラグを取り付けます。
5. 点検プラグ (B) とアクセスドア (C) を取り外します。

重要：オイルレベルは、コンバインのコーンヘッドおよび条ユニットのポイントを地面に接触させた状態で点検する必要があります (約 25°)。

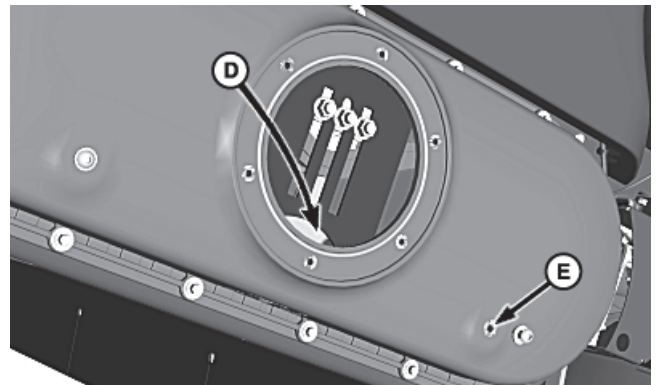
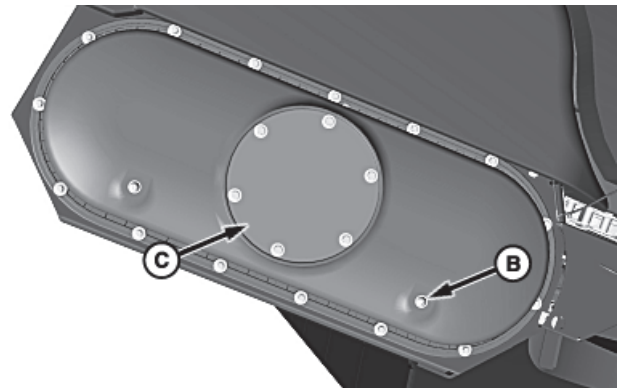
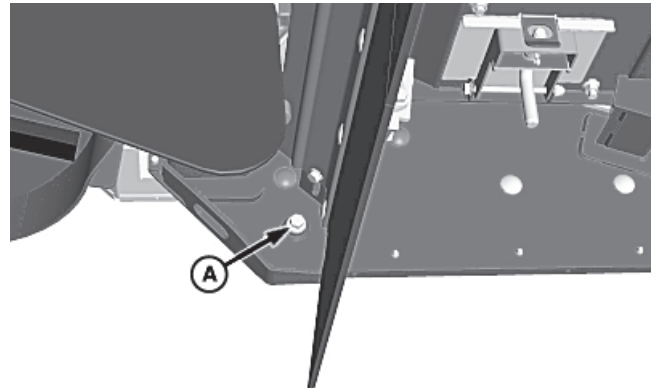
6. 点検プラグ穴 (E) の下部に達するまで、アクセスドア開口部 (D) を通して SAE 80/90 ギアオイルを追加します。容量は約 0.9 L (1 qt) です。

仕様

ドライブチェーンのオイル
容量.....0.9 L
(1 qt)

注記：アクセスドアのシールが清浄で、損傷していないことを確認してください。必要に応じて交換します。

7. アクセスドアと点検プラグを取り付けます。
8. コーンヘッドでデュアルドライブシャフトを使用している場合は、反対側でも手順を繰り返します。



A : ドレンプラグ
B : 点検プラグ
C : カバー

D : 注入位置
E : プラグ穴

次のページへ

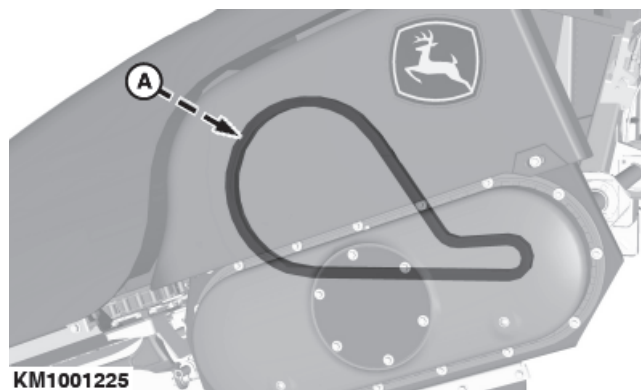
KM00321,000050F -40-05OCT11-1/7

オーガドライブチェーンの潤滑

⚠ 警戒：大けがを防止するため、絶対にエンジン運転中にチェーンを潤滑しないでください。

1. チェーンを潤滑する前に、コーンヘッドを短時間運転します。チェーンが暖まっていると、ピンとブッシング間へのオイルの浸透が増します。
2. SAE 30 またはそれよりも重質のオイルでチェーンを潤滑します。John Deere TY6240 チェーン潤滑油はエアゾール缶で入手できます。
3. コーンヘッドでデュアルドライブシャフトを使用している場合は、反対側でも手順を繰り返します。

A：オーガドライブチェーン



KM00321,000050F -40-05OCT11-2/7

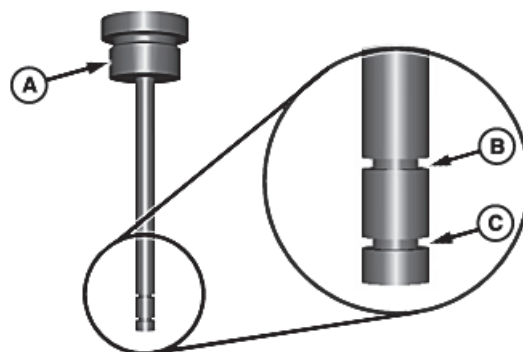
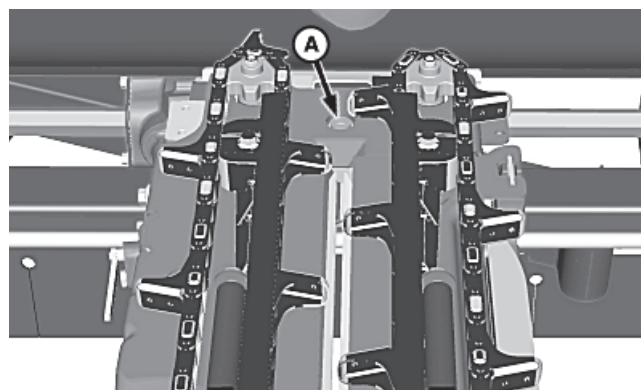
条ユニットギアケースオイルの点検

注記：ディップスティックで正確にレベルを確認するには、条ユニットギアケースのオイルが暖まっていますコーンヘッドを上げている必要があります。

1. コーンヘッドを短時間運転してギアケースオイルを暖めます。
2. コーンヘッドを完全に上昇させてフィーダーハウス安全ストップをかみ合わせます。
3. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。
4. ごみや屑がギアケースに入らないように点検プラグ／ディップスティック (A) の周囲を清掃します。
5. ディップスティックを引き抜き、拭き取って清掃します。
6. ディップスティックをギアケースに完全にねじ込み、取り外してシャフトのオイルレベルを点検します。
7. レベルがフルレベルマーク (B) 未満の場合は、オイルレベルがフルレベルマークに達するまでディップスティックのポートから TY6296 80W 90 GL-5 ギアオイルを追加します。

重要：ギアケースにオイルを入れすぎないでください。最低レベルマーク (C) からフルレベルマーク (B) までギアケースに充填するには、0.42 L の潤滑油が必要です。他のレベルまで追加するためのオイルの量はこの量に比例します。

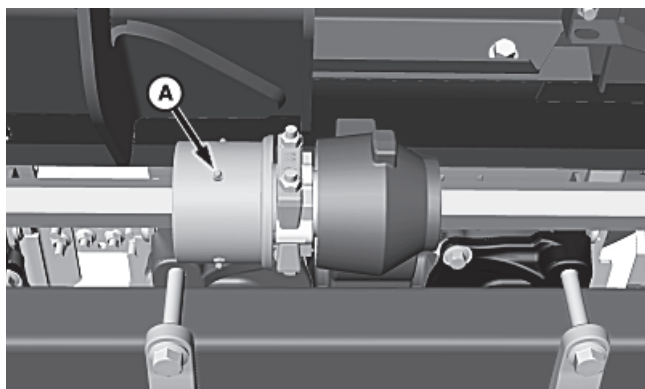
A：点検プラグ／ディップスティック
B：フルレベルマーク
C：最低レベルマーク



次のページへ

KM00321,000050F -40-05OCT11-3/7

条ユニットスリップクラッチの潤滑：

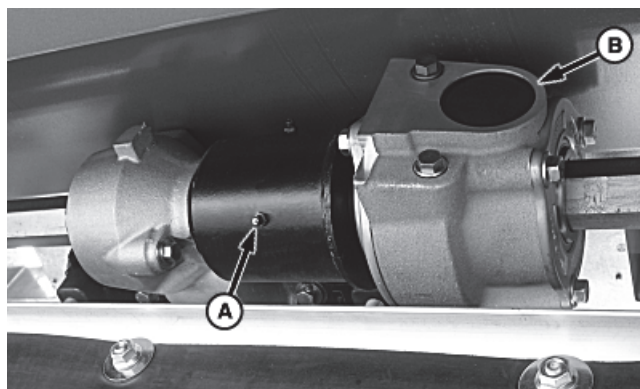


非細断モデル

A：条ユニットスリップクラッチのグリースフィッティング B：細断ギアケース

重要：各スリップクラッチには、アクセスしやすいように複数のグリースフィッティングがあります。クラッチあたり1つのフィッティングのみにグリースを注入する必要があります。

1. コーンヘッドを完全に上昇させてフィーダーハウス安全ストップをかみ合わせます。
2. **非細断コーンヘッドのみ**
 - a. コーンヘッドの下にある条ユニットスリップクラッチを確認します。スリップクラッチはギアケースの左側に取り付けられています。



細断モデル

- b. スリップクラッチの1つのグリースフィッティング(A)にグリースを10回ポンピングして注入します。
 - c. 残りの条ユニットで潤滑を繰り返します。
3. **細断コーンヘッドのみ**
 - a. コーンヘッドの下にある条ユニットスリップクラッチを確認します。スリップクラッチはギアケースと細断ギアケース(B)の間に取り付けられています。
 - b. スリップクラッチの1つのグリースフィッティング(A)にグリースを10回ポンピングして注入します。
 - c. 残りの条ユニットで潤滑を繰り返します。

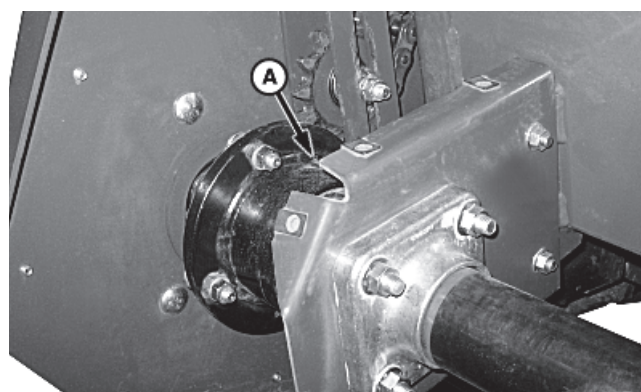
KM00321,000050F -40-05OCT11-4/7

オーガドライブスリップクラッチの潤滑：

重要：各スリップクラッチには、アクセスしやすいように複数のグリースフィッティングがあります。クラッチあたり1つのフィッティングのみにグリースを注入する必要があります。

1. スリップクラッチの1つのグリースフィッティング(A)にグリースを10回ポンピングして注入します。
2. コーンヘッドでデュアルドライブシャフトを使用している場合は、反対側でも手順を繰り返します。

A：オーガドライブスリップクラッチのグリースフィッティング

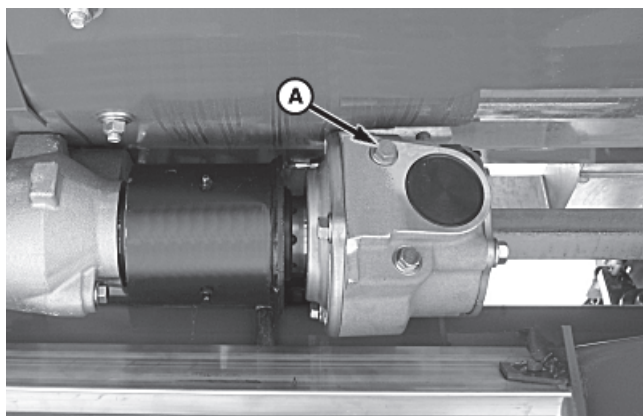


左側

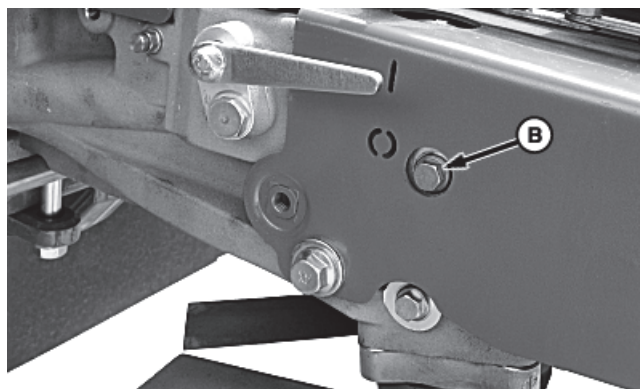
次のページへ

KM00321,000050F -40-05OCT11-5/7

StalkMaster™ ギアケースオイルの点検 (装備されている場合)



リアリザーバー



フロントリザーバー

A: プラグの点検/補充

B: 点検/注入プラグ

注記: 正確なオイルレベルを確認するには、細断ギアケースのオイルが暖まっていてコーンヘッドを上げている必要があります。

1. コーンヘッドを短時間運転してギアケースオイルを暖めます。
2. コーンヘッドを完全に上昇させてフィーダーハウス安全ストップをかみ合わせます。
3. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

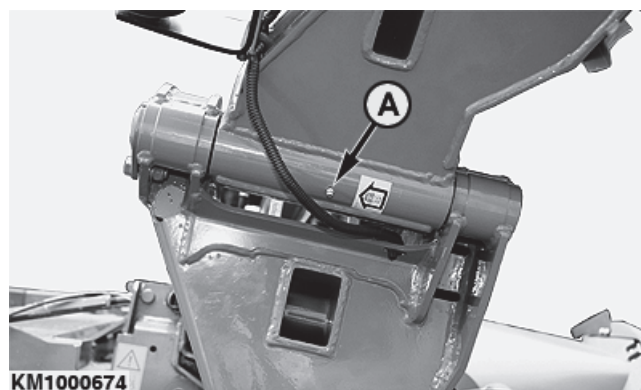
4. ギアケースの後部の点検/注入プラグ (A) を取り外します。オイルレベルは点検/注入プラグ穴の底部にある必要があります。必要に応じて正しいレベルまで TY6296 80W 90 GL-5 ギアオイルを追加します。点検/注入プラグを取り付けます。
5. ギアケースの前部の点検/注入プラグ (B) を取り外します。オイルレベルは点検/注入プラグ穴の底部にある必要があります。必要に応じて正しいレベルまで TY6296 80W 90 GL-5 ギアオイルを追加します。点検/注入プラグを取り付けます。
6. 残りの細断ギアケースで手順を繰り返します。

KM00321,000050F -40-05OCT11-6/7

ヒンジの潤滑

両側のヒンジのフィッティング (A) にグリースを注入します。

A: グリースフィッティング

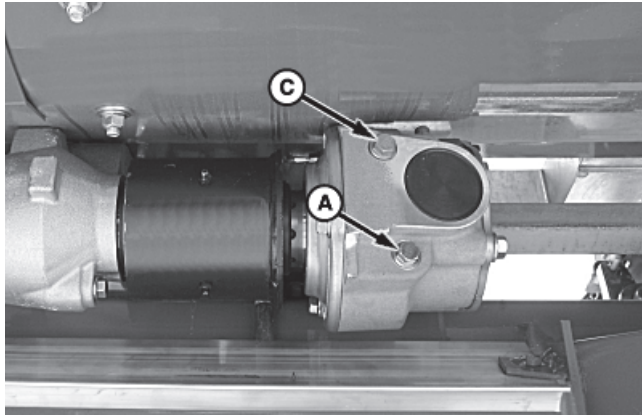


KM00321,000050F -40-05OCT11-7/7

1000 運転時間ごと

重要：システムの汚れによる装置の損傷や故障を防止するために、潤滑の前後に必ずグリースフィッティングを清掃してください。

グリースフィッティングが損傷しているか、紛失している場合は、すぐに交換してください。



リアリザーバー

A：リアドレンプラグ

B：フロントドレンプラグ

注記：オイルを抜き取って充填するには、細断ギアケースが暖まっていてヘッダーを上昇させている必要があります。フロントリザーバーオイルを暖めるには、細断ブレードがギアケースレバーにかみ合っていることを確認してください。

1. 細断ギアケースのオイルの交換

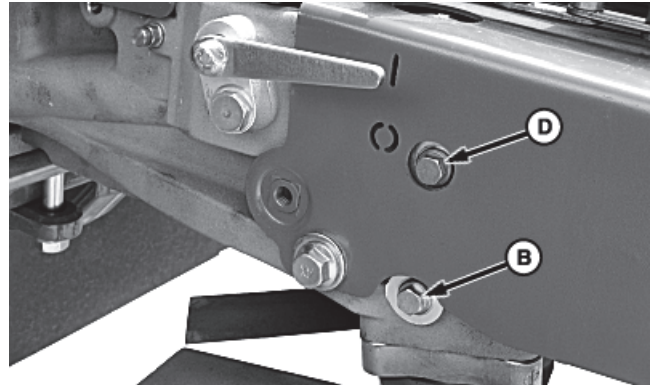
- ヘッダーを運転して細断ギアケースオイルを暖めます。
- ヘッダーを完全に上昇させてフィーダーハウス安全ストップをかみ合わせます。
- エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。

注記：オイルを清浄な容器に抜き取り、適切に廃棄してください。

- フロントとリアのドレンプラグ (A、B) を取り外して、オイルを抜き取ります。

重要：オイルレベルを点検するときは、プラグを取り外す前にプラグの周囲を必ず清掃してください。

必ずプラグをしっかりと締め付けてください。



フロントリザーバー

C：リア点検／注入プラグ

D：フロント点検／注入プラグ

- プラグを取り付けます。
- フロントとリアの点検／注入プラグ (C、D) を取り外します。
- 点検／注入プラグ穴の底部に達するまで、TY6296 80W 90 GL-5 ギアオイルをフロントとリアのリザーバーに追加します。

仕様

リアリザーバー	
容量.....	325 mL (11 oz)
フロントリザーバー	
容量.....	500 mL (16.9 oz)

- 点検／注入プラグを取り付けます。

- 残りの細断ギアケースで手順を繰り返します。

KR43067,00005A8 -40-01DEZ10-1/1

トラブルシューティング

コーンヘッド

コーンヘッドのほとんどの運転上の問題は不適切な調整が原因です。以下のトラブルシューティング表には考えられる原因と推奨される解決策が示されており、問題が発生したとき

に役立ちます。問題を解決しようとするときは、問題が存在する場所以外に原因がないことを確認してください。

兆候	問題	解決方法
圃場でのトウモロコシの穂の損失	ポイントの先端の設定が高すぎる。	条ユニットのスキッドプレートが地面から 1 inch 上のときに先端が軽く地面に接触するようにポイントを調整します。 低く垂れ下がっている穂を収集しているときは、ギャザラーポイントの前端を上げ、スキッドを地面に近づけてコーンヘッドを運転します。
	対地速度が速すぎるか遅すぎる。	圃場と地面の条件合った速度で運転します。対地速度が高すぎると、茎が前方に曲がって穂がギャザラーチェーンの先に落下する可能性があります。対地速度を遅くすると、ギャザラーチェーンによって茎が引っ張られて穂が折れて取れ、穂がヘッダーから滑り落ちる可能性があります。
	播種機条が収集していない。	ギャザラーチェーンによって茎がストークロールにガイドされやすい速度で運転します。 播種された畝に追従して穂の損失を最小限に抑えます。
	条ユニットが畝の中心に配置されていない。	圃場のトウモロコシの畝間隔に合わせてコーンヘッドの条間隔を調整します。
	穂がギャザリングチェーンから滑って外れる。	摩耗した穂回収装置を交換するか、穂回収装置を取り付けます。
ストークロールで穂の殻が取れる	ギャザラーチェーンの速度が速すぎるまたは遅すぎる。	可変速フィーダーハウスの速度を変えるか、コンバインの対地速度を調整します。
	デッキプレートが正しく調整されていない。	デッキプレートを調整します。デッキプレート間の隙間を減らします。
コンバインの後部から殻の取れたトウモロコシが出てくる	機械を高すぎる位置で運転している。	ポイントの先端を上げ、ヘッドを下げて運転します。
	コーンヘッドからのごみの吸入が多すぎる。	可変ドライブ速度または固定ドライブコンバインの速度を速くします。 コーンヘッドのデッキプレートの間隔を広げます。
	スロートから穂が滑り出る	穂回収装置が摩耗している。 穂回収装置を交換します。

次のページへ

KR43067,0000758 -40-01DEZ10-1/2

トラブルシューティング

兆候	問題	解決方法
トウモロコシの茎が引っ張り上げられる	デッキプレートの互いの設定が近すぎる。	茎がロールに自由に供給されるようにデッキプレートを徐々に開きます。
	ギャザラーチェーン速度に対して走行速度が速すぎる。	作物条件に合わせて速度を下げるか、条ユニットのドライブ速度を上げます。
	ギャザラーチェーンのフライトがトウモロコシの茎の根の部分掘り下げる。	ポイントの先端を下げ、ヘッドを上げて運転します。
	トウモロコシが乾燥しすぎるまたは下がりすぎる。	穂回収装置を取り外します。
	ストークロールが摩耗している。	ストークロールを交換します。
詰まり	茎がストークロールまたはデッキプレートで破碎される。	デッキプレートの開口部を調整します。デッキプレートが均一に設定されていること、およびロールの中心に心出しされていることも確認してください。
	ストークロールの周期にごみが巻き付く。	トラッシュナイフをストークロールに近づけて設定します。
	ギャザリングチェーンの緩み。	ギャザリングチェーンのスプロケットが摩耗していないか点検します。ギャザラーチェーン張力を調整します。
	播種機条が収集していない。	畝に追従して穂の損失を最小限度に抑えます。
	対地速度が速すぎるために材料がコーンヘッドを通過している。	圃場と地面の条件合った速度で運転します。速度が速すぎると詰まりが発生します。
	オーガによって材料が流れていない。	オーガハウジングの障害物と粗さを点検します。オーガフライトとフロア間のクリアランスが 22 mm (7/8 in) であるかオーガを点検します。オーガフライティングとストリッパー間のクリアランスが 6 mm (1/4 in) であるかオーガを点検します。
	トウモロコシの茎がギャザラーのスロート開口部に詰まる。	穂回収装置を取り外します。
	ストークロールが摩耗している。	摩耗しているストークロールを交換します。
	弱った茎または破損した茎からのトウモロコシの穂の損実。問題の原因は病害 (茎腐敗病) や昆虫 (アワノメイガ)	穂と穂回収装置との接触。 穂回収装置を取り外します。
	対地速度が速すぎる。	対地速度を下げます。
弱った茎または破損した茎からのトウモロコシの穂の損実。問題の原因は病害 (茎腐敗病) や昆虫 (アワノメイガ)	フィーダーハウス速度が正しくない。	異なるフィーダーハウス速度を試して条件に適した速度を見つけてください。
	ストークロールが摩耗している。	ストークロールを交換します。

KR43067,0000758 -40-01DEZ10-2/2

アクティブヘッダー制御 (AHC)

兆候	問題	解決方法
アクティブヘッダー制御 (AHC) が作動しない	手動による上昇または下降が機能しない。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	アクティブヘッダー制御が有効になっていない。	必要なアクティブヘッダー制御モードを有効にします。
	フィーダーハウスとヘッダーのコネクタが接続されていないか緩んでいる。	正しく接続します。
	ヘッダーセンサーが正しく接続されていないか損傷している。	センサーを接続するか、修理します。
アクティブヘッダー制御 (AHC) が下降するが上昇しない	アクティブヘッダー制御リレーまたはアクティブヘッダー制御カードが故障している。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
アクティブヘッダー制御 (AHC) が上昇するが下降しない	アクティブヘッダー制御リレーまたはアクティブヘッダー制御カードが故障している。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。
	コントロールシャフトが詰まっている。	詰まりを確認します。
	自動下降速度バルブが閉まっている。	インラインバルブを調整します。
システムが周期運動するまたは不規則に動く	降下速度の調整が正しくない。	インラインバルブを調整します。
	アキュムレータの設定が正しくない。	コンバインのオペレータマニュアルを参照してください。
障害物の上にヘッダーを手動で上げた後、システムがすぐに止まる	システムが無効化されている。	システムを再度有効にするには、マルチファンクションコントロールハンドルの起動ボタンを押します。
ヘッダーの上昇または下降が遅すぎるまたは速すぎる	降下速度の調整が正しくない。	バルブスタック下降速度を調整します。
	インラインバルブの問題。	John Deere 取扱店にお問い合わせください。

KR43067,0000759 -40-01DEZ10-1/1

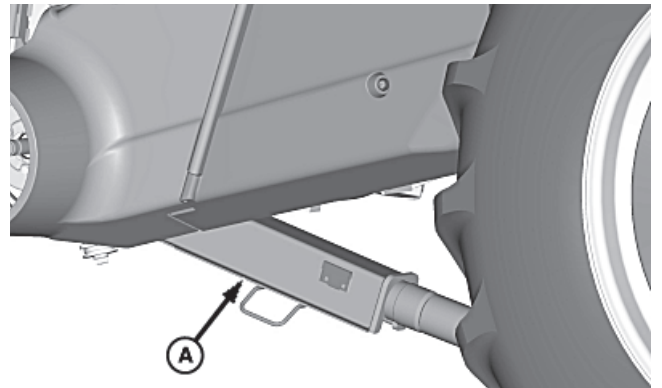
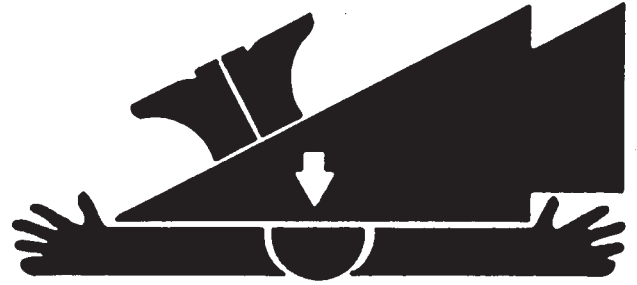
フィーダーハウス安全ストップ

⚠ 警戒：フィーダーハウスが予期せず降下してオペレータや他の人の死亡事故が発生することがあります。ヘッダーを機械に取り付けた状態で作業を実施するときは、フィーダーハウスを完全に上げて安全ストップがかかっていることを確認してください。

油圧ライン継手に亀裂が入るとフィーダーハウスが下がり、フィーダーハウスとヘッダーが瞬時に落下します。けがを防止するために、フィーダーハウスを完全に上昇させ、安全ストップ (A) を油圧シリンダロッドの上に下ろします。

1. フィーダーハウスを完全に上げます。
2. エンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜きます。
3. 安全ストップ (A) を油圧シリンダロッドまで下げます。

A: フィーダーハウス安全ストップ



KR43067,0000560 -40-25MAR10-1/1

ストークロールの取り外しと取り付け

⚠ 警戒：作業を実施する前に、コーンヘッドを完全に上昇させてフィーダーハウス安全ストップをかみ合わせます。

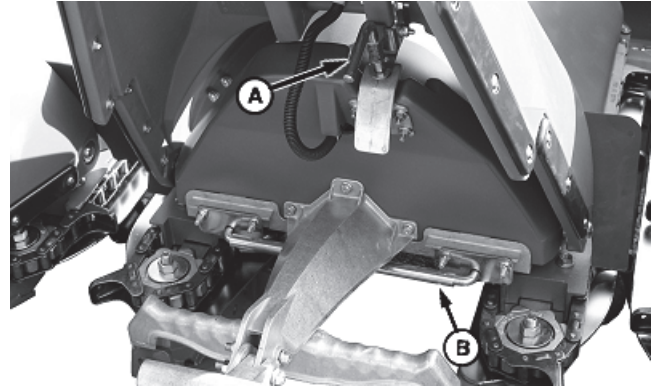
1. ピン (A) が所定の位置に掛かるまでギャザラーポイントを上げます。

重要：ポイントによりコンバインのウインドシールドが損傷する可能性があります。シールドをフレームの背後に押さないでください。

2. ラッチバー (B) を引っ張り、ギャザラーシールドを持ち上げます。
3. 条ユニットにアクセスできるように必要に応じて繰り返します。

A: ピン

B: ラッチバー

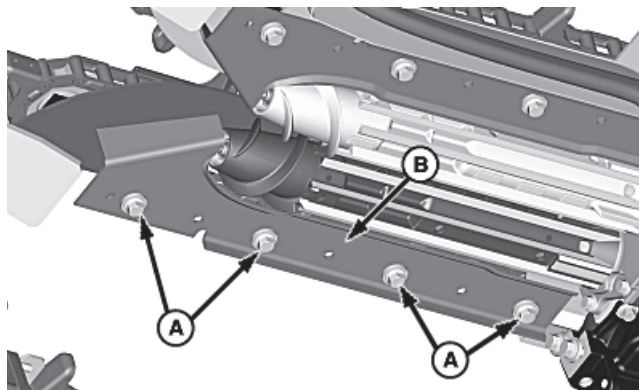


次のページへ

KR43067,00008B4 -40-15JUN11-1/7

4. ボルトと座金 (A) とトラッシュナイフ (B) を条ユニットフレームの下側から取り外します。

A : ボルトと座金 (8 個使用)
B : トラッシュナイフ (2 個使用)



KR43067,00008B4 -40-15JUN11-2/7

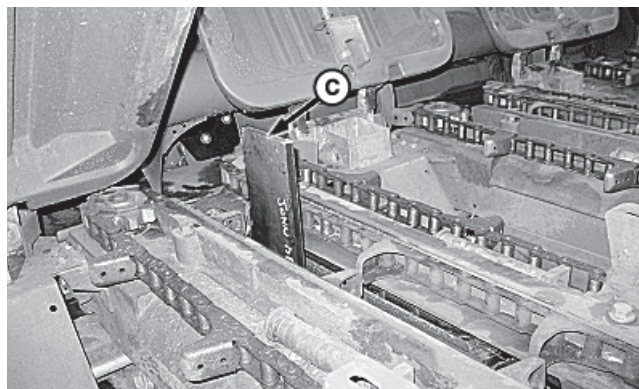
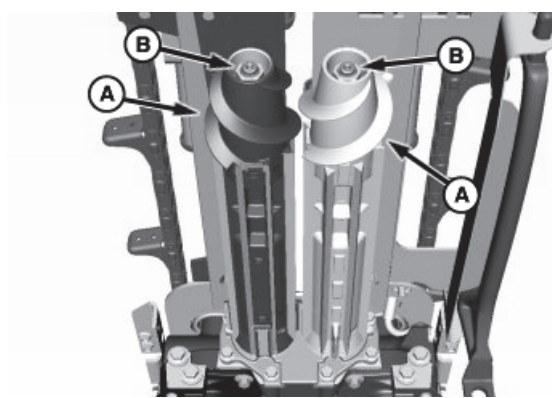
注記 : ストックロールの後部の間に 13 mm (1/2 in) のスチールプレート (C) を使用してストックロールの回転を防止します。

左側の固定ナットを取り外すときは、上部からプレート

右側の固定ナットを取り外すときは、下部からプレート

5. 固定ナット (B) を取り外して廃棄します。
6. ナットの背後の球面座金を取り外して保管します。座金に腐食や他の損傷がないか点検します。必要に応じて交換します。

A : ストックロール
B : 固定ナットと球面座金
C : スチールプレート



左側の固定ナットの取り外し

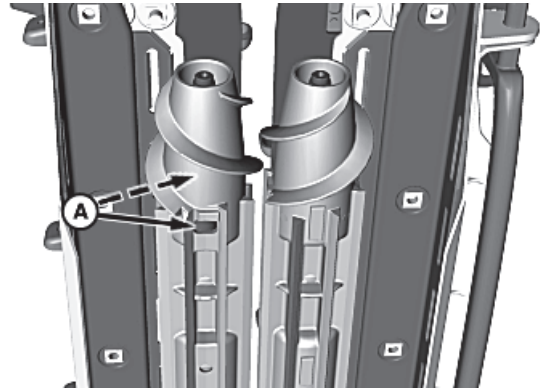
次のページへ

KR43067,00008B4 -40-15JUN11-3/7

重要： 取り外しの前にストークロールの面とシャフトに位置合わせマークを付けます。ストークロールは取り外したときと同じ位置に取り付ける必要があります。

7. ストークロールのスパイラルの背後にある 2 つのポート (A) を確認します。ギアプーラー (2 アーム式) をポートに取り付けてシャフトからストークロールを取り外します。
8. シャフトのテーパ部、スプライン、およびねじ山からごみや腐食を完全に除去します。ストークロールに摩耗や損傷がないか点検します。必要に応じて交換します。

A : ストークロールの取り外しポート



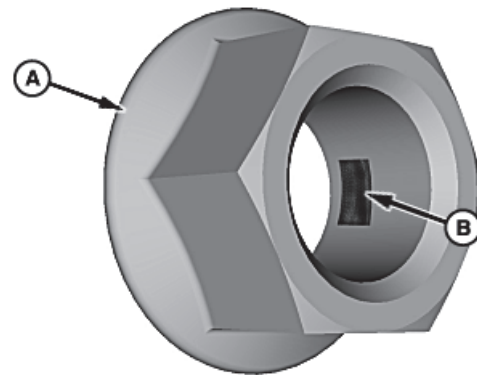
KR43067,00008B4 -40-15JUN11-4/7

重要： 新品のナットを John Deere Service Parts 部門から購入する必要があります。

9. ストークロール固定ナット (A) はあらかじめねじゆるみ止めパッチ (B) が用意されており、再使用できません。

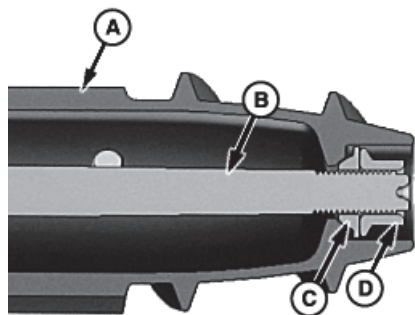
A : 固定ナット

B : ねじゆるみ止めパッチ

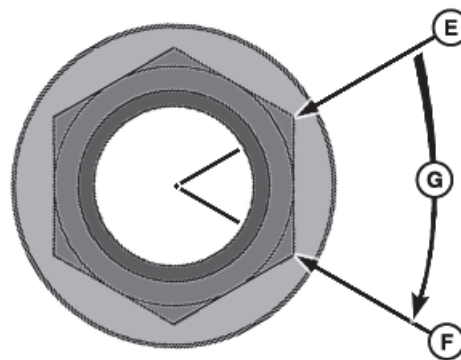


次のページへ

KR43067,00008B4 -40-15JUN11-5/7



ストックロールの断面



10. ストックロールのシャフトに付けた位置合わせマークを使用して両方のストックロール (A) をシャフト (B) に取り付けます。

重要：座金の平面側をストックロールから離して取り付ける必要があります。

11. 前の手順で取り外した球面座金 (C) と**新品**の固定ナット (D) を取り付けます。

重要：ストックロールが緩まないようにしてください。トルクと回転の手順に正確に従ってください。

注記：ストックロールの後部の間に 13 mm (1/2 in) のスチールプレートを使用してストックロールの回転を防止します。

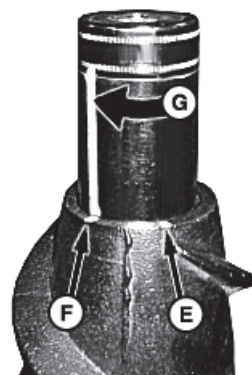
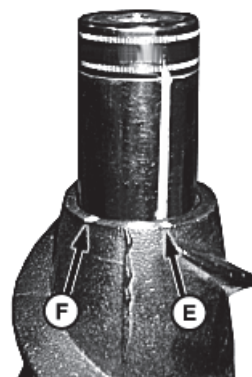
12. 固定ナットを規定のトルクで締め付けます。

仕様

ストックロールの固定ナット

トルク 163 N・m + 60° 回転
(120 lb-ft + 60° 回転)

- 較正済みのトルクレンチを使用してナットを規定のトルクで締め付けます。
- 六角ナットの 1 箇所の隅 (E) にストックロールのマークを付けます。
- ナットの時計回りの次の隅 (F) にストックロールのマークを付けます。
- 固定ナットにソケットを取り付けて、最初のマーク (E) をソケットの側面に延ばします。
- ソケットのマークがストックロールの 2 番目のマーク (F) に達するまでナット (G) を締め付けます。
- 残りのストックロールで手順を繰り返します。



A : ストックロール
B : シャフト
C : 球面座金
D : 固定ナット

E : 六角ナットの隅にマークを付ける
F : 六角ナットの次の隅にマークを付ける (時計回り)
G : 60° 回転

次のページへ

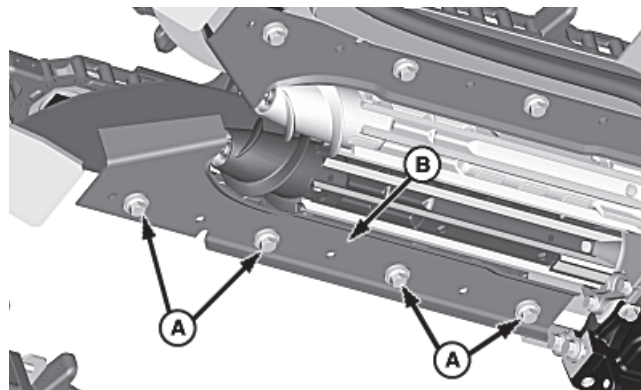
KR43067,00008B4 -40-15JUN11-6/7

13. ボルトと座金 (A) を使用してトラッシュナイフ (B) を取り付けます。

14. トラッシュナイフを調整します (「調整」セクションの「トラッシュナイフの調整」を参照してください)。

A : ボルトと座金 (8 個使用)

B : トラッシュナイフ (2 個使用)



KR43067,00008B4 -40-15JUN11-7/7

反対側を摩耗させるためにギャザラーチェーンとスプロケットを反転させる

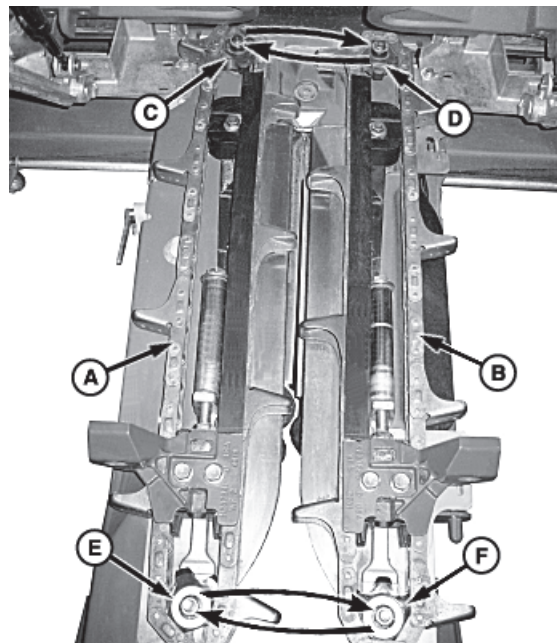
ギャザラーチェーンとスプロケットは反対側を摩耗させるために反転できます。これはすべての条ユニットで同時に行う必要があります。

1. ギャザラーチェーンとスプロケットを反転させるには、次の手順に従います。

注記：組み立て中に正しく配置できるように、各チェーンとスプロケットに取り外した側のマークを付けます。

- a. ギャザラーチェーン (A、B) を取り外します (このセクションの「ギャザラーチェーンの取り外しと取り付け」を参照してください)。
- b. ドライブスプロケット (C、D) を取り外します。
- c. 取り外したシャフトとは反対側のシャフトにドライブスプロケットを取り付けます。
- d. スプロケット (E、F) を取り外します。
- e. 取り外したシャフトとは反対側のシャフトにスプロケットを取り付けます。
- f. 各ギャザラーチェーンを反転させ、取り外した側とは反対側に取り付けます。

2. 残りの条ユニットで手順を繰り返します。



A : ギャザラーチェーン
B : ギャザラーチェーン
C : ドライブスプロケット

D : ドライブスプロケット
E : スプロケット
F : スプロケット

KR43067,0000739 -40-18NOV10-1/1

ギャザラーチェーンの取り外しと取り付け

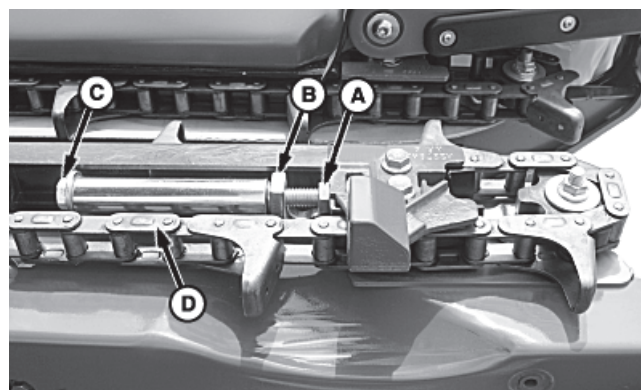
⚠ 警戒：ヘッダーの下で作業をする前に、コーンヘッドを完全に上げてエンジンを停止し、パーキングブレーキをかけてキーを抜き取り、フィーダーハウス安全ストップを下げます。

ギャザラーチェーンが機能しなくなったり、ひどく摩耗した場合は、新品のチェーンに交換してください。

ギャザラーチェーンは、条ユニットの部品を整備するためにチェーンを切り離さないで取り外すことができます。

⚠ 警戒：ナット (A) をアイドラサポートストラップ (B) のレグに対して締め付けるまで、絶対にチェーンドライブアセンブリの部品の整備を行わないでください。

1. アイドラサポートストラップ (B) のレグに当たるまでナット (A) を回してギャザラーチェーンの張力を解放します。
2. 必要に応じて、ボルト (C) を緩めてチェーンの残りの張力を解放します。



A : ナット
B : ストラップのレグ

C : ボルト
D : ギャザラーチェーン

3. ギャザラーチェーン (D) を取り外します。
4. 取り外しとは逆の順にギャザラーチェーンを取り付けます。

KR43067,000073A -40-16MAR11-1/1

オイルパンの取り外しと取り付け

1. コーンヘッドを完全に上昇させてフィーダーハウス安全ストップをかみ合わせます。
2. ヘッダーを短時間運転してオイルを暖めます。

注記：フルードを清浄な容器に抜き取り、適切に廃棄してください。

3. ドレンプラグ (A) を取り外して安全ストップを外し、コーンヘッドを下げてオイルを抜き取ります。

重要：パンの再使用可能なシールを傷めないように注意してください。パンとコーンヘッドフレームの間をこじるために鋭利な物を使用しないでください。

4. ボルトと座金 (B)、およびオイルパン (C) を取り外します。
5. フレーム (D) のオイルパンが取り付けられていた面からごみやオイルを完全に除去します。
6. オイルパン (E) のシールが清浄で傷んでないことを確認します。必要に応じて交換します。

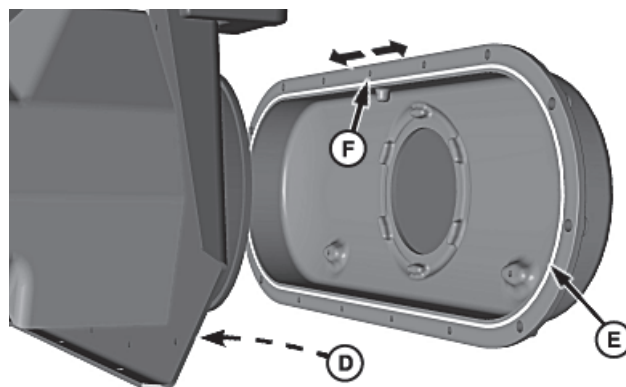
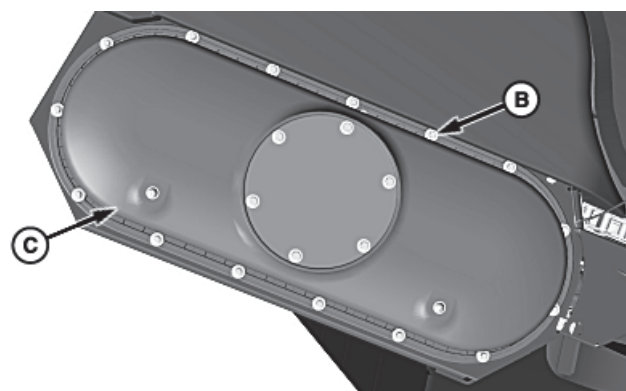
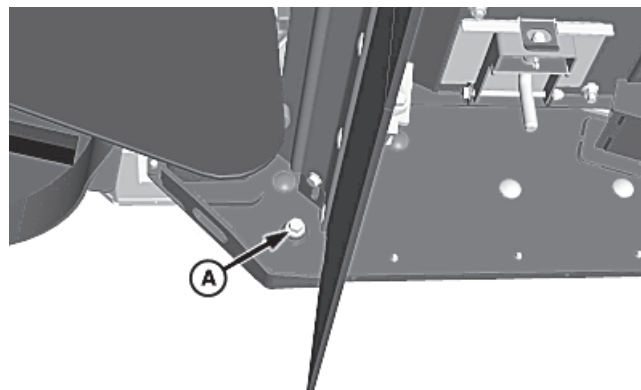
注記：オイルパンを取り付けるときは、中央 (F) から始めて外側に金具を取り付けます。

7. ボルトと座金を使用してオイルパンを取り付けます。規定のトルクで締め付けます。

仕様

オイルパンボルト	
トルク	10 N・m (89 lb-in)

- A：ドレンプラグ
B：ボルトと座金 (15 個使用)
C：オイルパン
D：フレームの面
E：シール
F：中央穴



次のページへ

KR43067,0000750 -40-19APR11-1/2

8. ドレンプラグ (A) を取り付けます。

9. 点検プラグ (B) とアクセスドア (C) を取り外します。

重要：オイルレベルは、コンバインのコーンヘッドおよびギヤザラーポイントを地面に接触させた状態で点検する必要があります (約 25°)。

10. 点検プラグ穴 (E) の下部に達するまで、アクセスドア開口部 (D) を通して SAE 80/90 ギアオイルを追加します。

仕様

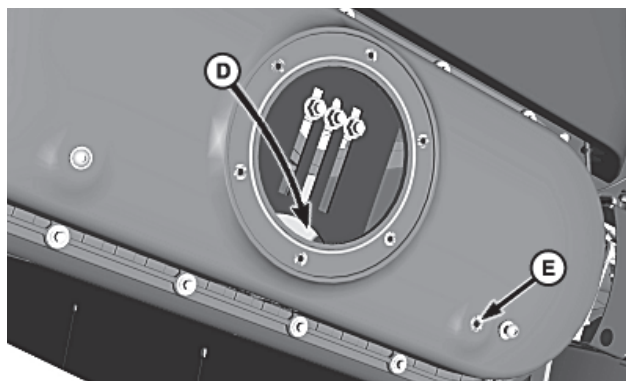
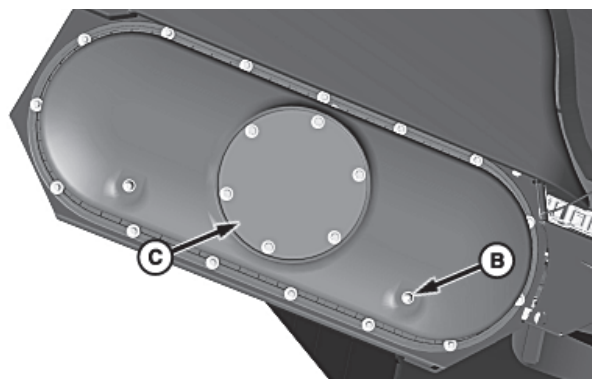
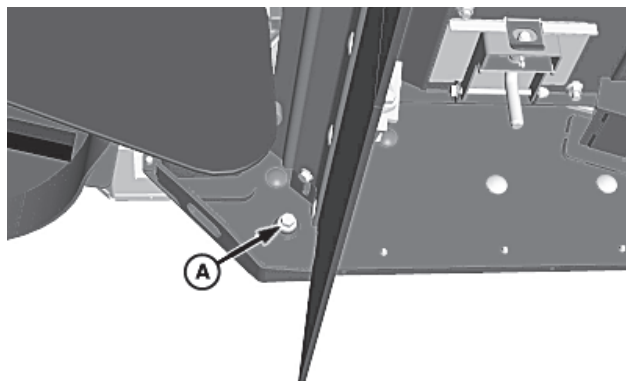
オイルパン

容量 0.9 L
(1 qt)

注記：アクセスドアのシールが清浄で、損傷していないことを確認してください。必要に応じて交換します。

11. アクセスドアと点検プラグを取り付けます。

- A：ドレンプラグ
- B：点検プラグ
- C：アクセスドア
- D：注入位置
- E：ドレンプラグ穴



KR43067,0000750 -40-19APR11-2/2

摩耗ストリップの取り外しと取り付け

1. ナットと座金 (A) を取り外します。

2. ボルトと座金 (B) を取り外します。

3. 摩耗ストリップ (C) を取り外します。

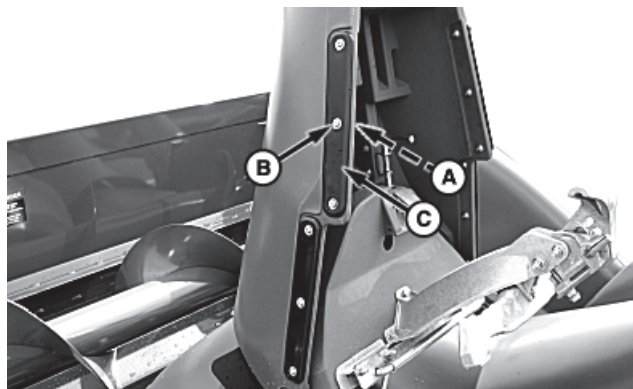
4. 取り外しとは逆の順序で新品の摩耗ストリップを取り付けます。

仕様

摩耗ストリップのナット

トルク 10 N・m
(7.38 lb-ft)

- A：ナットと座金
- B：ボルトと座金
- C：摩耗ストリップ



KR43067,000026C -40-24APR09-1/1

StalkMaster™ 細断ナイフブレードの取り外しと取り付け

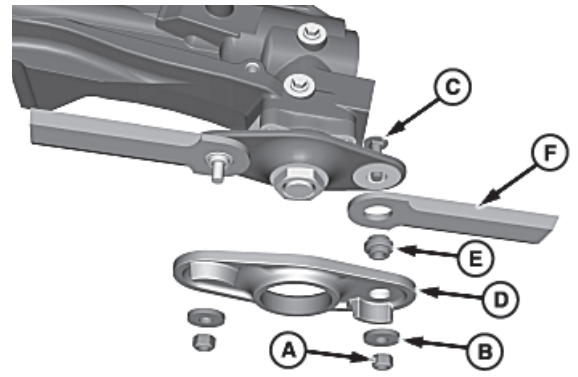
⚠ 警戒： ナイフには2つの刃先があり、大けがをする危険があります。ナイフを扱う際には手袋を着用してください。

重要： StalkMaster™ 細断ナイフブレードは、各細断ギアケースでペアで交換する必要があります。

注記： StalkMaster™ 細断ナイフは摩耗品です。ナイフを反転させてさらに摩耗寿命を延ばすことができます。必要に応じてナイフを反転させるか交換して、許容される茎細断能力を維持してください。

摩耗している、鈍っている、または破損しているナイフは、コーンヘッドの動力消費と茎細断品質に影響を与える要因であり、これらは収穫速度を制限する可能性があります。細断ナイフの想定寿命は、収穫条件やナイフにかかる応力によって変わります。

1. ロックナット (A)、座金 (B)、根角ボルト (C) を取り外して、取り付けプレート (D)、ブッシング (E)、細断ブレード (F) を下げます。
2. ブレードを反転させるか、交換します。
3. すべての金具およびブッシングに過度の摩耗または損傷がないか点検し、必要に応じて交換します。ブレードを反転する場合は、ロックナットを再使用できます。ナイ



A : ロックナット (2 個使用)
B : 座金 (2 個使用)
C : 根角ボルト (2 本使用)

D : 下部取り付けプレート
E : ブッシング (2 個使用)
F : 細断ブレード (2 個使用)

フを交換するときは、ロックナットを交換する必要があります。

4. 取り外しと逆順に部品を取り付けます。規定のトルクで締め付けます。

仕様	
細断ブレードのボルト トルク	85 N・m (63 lb-ft)

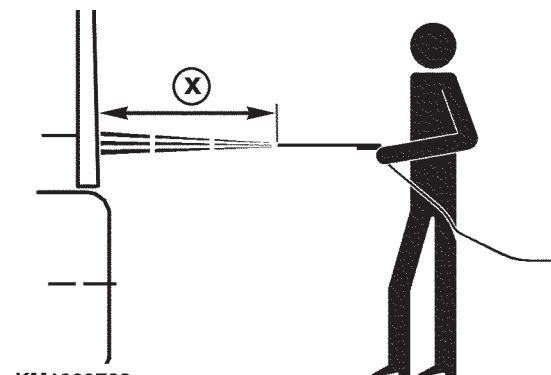
KM00321,0000510 -40-06OCT11-1/1

コーンヘッドの清掃

圧縮空気やハンドブラシを使って、付着している作物を除去します。

高圧/スチームクリーナを使用する場合は、250 mm (9.84 in) の最小距離 (X) を維持してください。最高温度と最大圧力については、仕様を参照してください。

仕様	
高圧/スチームクリーナ 最高温度	50°C (122°F)
高圧/スチームクリーナ 最高圧力	8000 kPa (80 bar、1160 psi)



X : 250 mm (9.84 in)

KM00321,0000126 -40-09MAR09-1/1

保管

シーズンの終わりの整備

1. コーンヘッドをフィーダーハウス安全ストップ、ウッドブロック、または地面に下ろします。
 2. エンドフェンダー、ギャザラーポイント、デッキカバーを開けます (手順については、「コーンヘッドの操作」セクションを参照してください)。
- 重要：高圧の洗浄スプレーをベアリングや水で損傷する可能性があるその他の部分に直接使用しないでください。高圧の水はほとんどのシールを通過して損傷を発生させる可能性があります。これらの部分を乾燥させ、潤滑して機械を運転してください。**
3. コーンヘッドを十分清掃します。穀殻やごみが水分を吸い取り、錆を発生させます。
 4. すべてのギアボックスとチェーンドライブのフルードレベルを点検します。

5. このマニュアルの「潤滑とメンテナンス」セクションの説明に従ってコーンヘッドを潤滑します。調整ボルトのねじ山を潤滑します。
6. 塗料が摩耗しているか、欠けている場合はすべての部品を塗装します。
7. ギャザラーポイント、デッキカバー、およびエンドフェンダーにポリマー保護剤を使用します。
8. すべてのシールドを閉めます。
9. 可能な場合は、コーンヘッドを乾燥した場所に保管します。
10. 次のシーズン用に必要な修理部品を注文します。

KR43067,0000563 -40-25MAR10-1/1

シーズン初めの整備

1. エンドフェンダー、条ユニットポイント、シールドを開きます (「コーンヘッドの操作」セクションを参照してください)。
- 重要：高圧の洗浄スプレーをベアリングや水で損傷する可能性があるその他の部分に直接使用しないでください。高圧の水はほとんどのシールを通過して損傷を発生させる可能性があります。これらの部分を乾燥させ、潤滑して機械を運転してください。**
2. 保管中に溜まったごみや屑を機械から洗い流します。
 3. 条ユニット、オーガドライブ、条ユニットチェーンを正しい張力に調整します (「調整」セクションを参照してください)。
 4. すべてのギアボックスとチェーンドライブのオイルレベルを点検します。

5. このマニュアルの「潤滑とメンテナンス」セクションの説明に従ってコーンヘッドを潤滑します。調整ボルトのねじ山を潤滑します。
6. すべての金具が規定のトルクで締め付けられていることおよびすべてのコッタピンが広がっていることを確認します。
7. シールド、フェンダー、ポイントを閉めます。
8. コーンヘッドを半分の速度で数分間運転します。ベアリングの過熱、ギアボックスの漏れ、またはチェーンの緩みがないか点検します。
9. オペレータマニュアルを確認します。

KM00321,0000511 -40-06OCT11-1/1

仕様

仕様

このマニュアルに記載されている仕様は整備のみを目的としており、通常の向上製造時の公差を含んでいません。

条ユニットポイント		ロープロファイルフローティングタイプピンジ式、条ユニットチェーン上
条ユニットチェーン		ヘビーデューティ 620 エンドレススチールローラーチェーン、クロムメッキ仕上げのピン付き (マスター接続リンクなし)
条ユニットチェーンと地面の間の最小クリアランス		32 mm (1-1/4 in)
条ユニットドライブ		ギアをオイルに浸漬した密閉ギアボックス、入力六角シャフトにより駆動
条ユニットチェーンの調整		バネ式、自動調整
ストークロール		スパイラルポイント刃タイプ (条ユニットあたり 2)
デッキプレートの調整		油圧調整
スリップクラッチ		条ユニット + オーガドライブあたり 1
トラッシュナイフ		全長一体形熱処理スチール
概寸全幅：		
モデル	条間隔	幅 mm (in)
606C	70 cm (27.5 in)	4375 mm (14 ft 4.2 in)
606C	75 cm (29.5 in)、76.2 cm (30 in)	4575 mm (15 ft 0.1 in)
608C	70 cm (27.5 in)	5675 mm (18 ft 7.4 in)
608C	75 cm (29.5 in)、76.2 cm (30 in)	6075 mm (19 ft 11.9 in)
概寸輸送幅：		
モデル	条間隔	幅 mm (in)
606C、608C	70 cm (27.5 in)	3100 mm (10 ft 2 in)
606C、608C	75 cm (29.5 in)、76.2 cm (30 in)	3300 mm (10 ft 9.9 in)
概寸全長：		
606C、608C		3200 mm (10 ft 5.9 in)
概寸輸送高さ：		
606C、608C		2275 mm (7 ft 5.6 in)
概寸運転高さ：		
606C、608C		1300 mm (4 ft 3.2 in)
概寸重量：		
モデル	条間隔	重量 kg (lb)
細断コーンヘッド StalkMaster™：		
606C-SM	70 cm (27.5 in)	2385 kg (5258 lb)
606C-SM	75 cm (29.5 in)、76.2 cm (30 in)	2420 kg (5335 lb)
608C-SM	70 cm (27.5 in)	2910 kg (6415 lb)
608C-SM	75 cm (29.5 in)、76.2 cm (30 in)	2950 kg (6504 lb)
非細断コーンヘッド：		
606C	70 cm (27.5 in)	2185 kg (4817 lb)
606C	75 cm (29.5 in)、76.2 cm (30 in)	2220 kg (4894 lb)
608C	70 cm (27.5 in)	2650 kg (5842 lb)
608C	75 cm (29.5 in)、76.2 cm (30 in)	2690 kg (5930 lb)

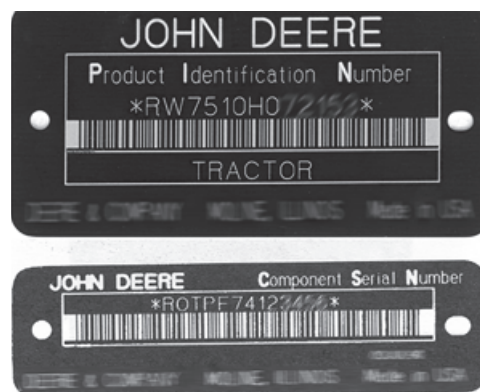
注記：仕様および設計は予告なしに変更される場合があります。

StalkMaster は Deere & Company の商標です。

KM00321,0000512 -40-06OCT11-1/1

所有権証明の保管

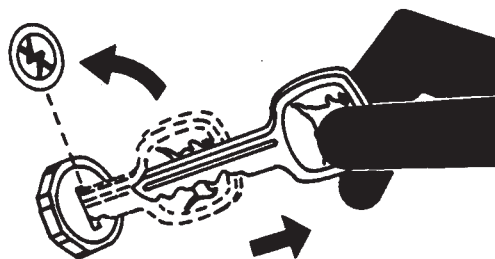
1. すべての製品と部品の最新のシリアル番号目録を安全な場所に保管します。
2. 識別プレートが取り外されていないことを定期的を確認します。何らかの改ざんの形跡があれば法執行機関に報告し、同一のプレートを発注してください。
3. 実行可能なその他の手順：
 - 独自の番号システムで機械に印を付けます。
 - いくつかのアンクルから各機械のカラー写真を撮ります。



DX, SECURE1 -40-28NOV12-1/1

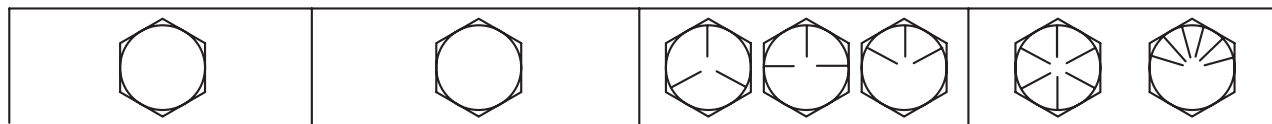
機械の安全な保管

1. 破壊防止装置を取り付けます。
2. 機械の保管中の注意事項：
 - 装置を地面に降ろします。
 - 車輪幅を最大位置にして積み込みにくくします。
 - すべてのキーとバッテリーを取り外します。
3. 屋内に駐車する場合は、大型装置を出入口の前に置いて保管庫を施錠します。
4. 屋外に駐車する場合は、明るくフェンスで囲まれた場所に保管します。
5. 不審な行為は記録して、盗難があれば直ちに法執行機関に報告します。
6. 損害があれば John Deere 取扱店にご連絡ください。



DX, SECURE2 -40-28NOV12-1/1

ユニファイボルトとネジの締め付けトルク値



ボルト／ネジの サイズ	SAE 等級 1				SAE 等級 2 ^a				SAE 等級 5、5.1、5.2				SAE 等級 8、8.2			
	ウェット ^b		ドライ ^b		ウェット ^b		ドライ ^b		ウェット ^b		ドライ ^b		ウェット ^b		ドライ ^b	
	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in
1/4	3.7	33	4.7	42	6	53	7.5	66	9.5	84	12	106	13.5	120	17	150
													N・m	lb-ft	N・m	lb-ft
5/16	7.7	68	9.8	86	12	106	15.5	137	19.5	172	25	221	28	20.5	35	26
									N・m	lb-ft	N・m	lb-ft				
3/8	13.5	120	17.5	155	22	194	27	240	35	26	44	32.5	49	36	63	46
			N・m	lb-ft	N・m	lb-ft	N・m	lb-ft								
7/16	22	194	28	20.5	35	26	44	32.5	56	41	70	52	80	59	100	74
	N・m	lb-ft														
1/2	34	25	42	31	53	39	67	49	85	63	110	80	120	88	155	115
9/16	48	35.5	60	45	76	56	95	70	125	92	155	115	175	130	220	165
5/8	67	49	85	63	105	77	135	100	170	125	215	160	240	175	305	225
3/4	120	88	150	110	190	140	240	175	300	220	380	280	425	315	540	400
7/8	190	140	240	175	190	140	240	175	490	360	615	455	690	510	870	640
1	285	210	360	265	285	210	360	265	730	540	920	680	1030	760	1300	960
1-1/8	400	300	510	375	400	300	510	375	910	670	1150	850	1450	1075	1850	1350
1-1/4	570	420	725	535	570	420	725	535	1280	945	1630	1200	2050	1500	2600	1920
1-3/8	750	550	950	700	750	550	950	700	1700	1250	2140	1580	2700	2000	3400	2500
1-1/2	990	730	1250	930	990	730	1250	930	2250	1650	2850	2100	3600	2650	4550	3350

記載されているトルク値は、ボルトやネジの強度に基づく一般的な使用のための値です。特定のエンジン装置・用途のために異なる締め付けトルクや締め付け手順が示されている場合は、この値を使用しないでください。プラスチックインサートまたは圧着鋼タイプのロックナット、ステンレス鋼留め具、U 字形ボルトのナットに関しては、特定のエンジン装置・用途に対する締め付け要領を参照してください。せん断ボルトは、既定の負荷において破断するように設計されています。せん断ボルトは、常に同一の等級のものと交換してください。

留め具を同一、またはそれ以上の等級のものと交換してください。より高い等級の留め具を使用する場合は、元の強度に締め付けてください。留め具のねじ山が清潔で、ねじ山を正しくかみ合わせることができるかどうか確認してください。特定のエンジン装置・用途のための異なる指示が与えられている場合を除いて、可能であれば、平型留め具または亜鉛メッキ留め具を潤滑してください（ロックナット、ホイールボルト、ホイールナットを除く）。

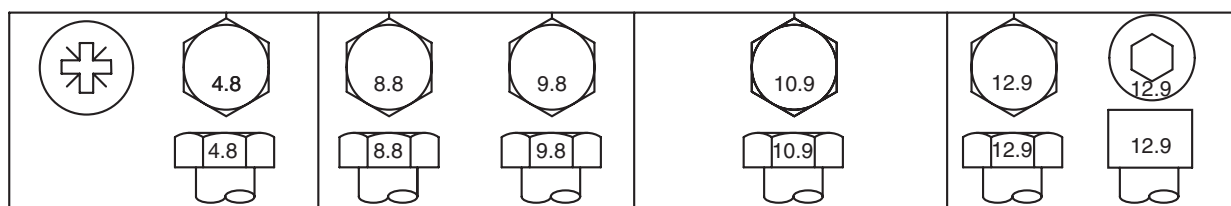
^a 等級 2 は長さ 6 in (152 mm) 以下の六角穴付きボルトに適用されます。等級 1 は、6 in (152 mm) より長い六角穴付きボルト、および他のすべての長さのボルト、ネジに適用されます。

^b 「ウェット」とは、エンジンオイルのような潤滑剤による被覆、リン酸塩と油で被覆された留め具、または JDM F13C、F13F、F13J 亜鉛フレーク被覆の 7/8 in 以上の留め具を意味します。

^c 「ドライ」とは、潤滑剤の施されていない平型留め具や亜鉛メッキ留め具、または JDM F13B、F13E、F13H 亜鉛フレーク被覆された 1/4～3/4 in の留め具を意味します。

DX,TORQ1 -40-27NOV12-1/1

メートルボルトとネジの締め付けトルク値



ボルト／ネジの サイズ	等級 4.8				等級 8.8 または 9.8				等級 10.9				等級 12.9			
	ウェット ^a		ドライ ^b		ウェット ^a		ドライ ^b		ウェット ^a		ドライ ^b		ウェット ^a		ドライ ^b	
	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in	N・m	lb-in
M6	4.7	42	6	53	8.9	79	11.3	100	13	115	16.5	146	15.5	137	19.5	172
M8	11.5	102							N・m	lb-ft	N・m	lb-ft	N・m	lb-ft	N・m	lb-ft
			N・m	lb-ft	N・m	lb-ft	N・m	lb-ft								
M10	23	204	29	21	43	32	55	40	63	46	80	59	75	55	95	70
M12	40	29.5														
			N・m	lb-ft	N・m	lb-ft	N・m	lb-ft								
M14	63	46	80	59	120	88	150	110	175	130	220	165	205	150	260	190
M16	100	74	125	92	190	140	240	175	275	200	350	255	320	235	400	300
M18	135	100	170	125	265	195	330	245	375	275	475	350	440	325	560	410
M20	190	140	245	180	375	275	475	350	530	390	675	500	625	460	790	580
M22	265	195	330	245	510	375	650	480	725	535	920	680	850	625	1080	800
M24	330	245	425	315	650	480	820	600	920	680	1150	850	1080	800	1350	1000
M27	490	360	625	460	950	700	1200	885	1350	1000	1700	1250	1580	1160	2000	1475
M30	660	490	850	625	1290	950	1630	1200	1850	1350	2300	1700	2140	1580	2700	2000
M33	900	665	1150	850	1750	1300	2200	1625	2500	1850	3150	2325	2900	2150	3700	2730
M36	1150	850	1450	1075	2250	1650	2850	2100	3200	2350	4050	3000	3750	2770	4750	3500

記載されているトルク値は、ボルトやネジの強度に基づく一般的な使用のための値です。特定のエンジン装置・用途のために異なる締め付けトルクや締め付け手順が示されている場合は、この値を使用しないでください。ステンレス鋼留め具、またはUボルトのナットに関しては、特定のエンジン装置・用途に対する締め付け要領を参照してください。特定のエンジン装置・用途のための異なる指示がない限り、プラスチックインサート、または圧着鋼タイプのロックナットを締め付けるには、表に記載されたトルク値（ドライ）までナットを回転させてください。

せん断ボルトは、既定の負荷において破断するように設計されています。せん断ボルトは、常に同一の等級のものと交換してください。留め具は、同一またはそれ以上の等級のものと交換してください。より高い等級の留め具を使用する場合は、元の強度に締め付けてください。留め具のねじ山が清潔で、ねじ山を正しくかみ合わせることができるかどうか確認してください。特定のエンジン装置・用途のための異なる指示が与えられている場合を除いて、可能であれば、平型留め具または亜鉛メッキ留め具を潤滑してください（ロックナット、ホイールボルト、ホイールナットを除く）。

^a 「ウェット」とは、エンジンオイルのような潤滑剤による被覆、リン酸塩と油で被覆された留め具、または JDM F13C、F13F、F13J 亜鉛フレーク被覆の M20 以上の留め具を意味します。

^b 「ドライ」とは、潤滑剤の施されていない平型留め具や亜鉛メッキ留め具、または JDM F13B、F13E、F13H 亜鉛フレーク被覆された M6～M18 の留め具を意味します。

EC 適合宣言

Deere & Company
Moline, Illinois U.S.A.

下記に記名した人間が以下を宣言します。

機械の種類：コーンヘッド

モデル：606C、608C

この機械は以下の指令と関係するあらゆる規定および基本要件にすべて適合しています。

指令	番号	認定方法
機械指令	2006/42/EC	自己認定
農業用機械の一般安全要件	DIN EN ISO 4254-1	自己認定
機械安全	DIN EN ISO 12100	自己認定
フォーレージハーベスターとコンバインの安全	DIN EN 632	自己認定
パワーテイクオフ (PTO) ドライブシャフトとそのガードの安全	DIN EN 12965	自己認定

技術構成ファイルの編集を許可したコミュニティに属する人物の氏名および住所

Henning Oppermann
Deere & Company European Office
John Deere Strasse 70
Mannheim, Germany D-68163
EUConformity@JohnDeere.com

宣言場所：48703 Stadtlahn, Germany

宣言日：2009 年 10 月 1 日

製造部門：Kemper Stadtlahn

氏名：Norbert A. Weiland

役職：代表取締役



シリアル番号

コーンヘッド型式プレート

- A: 種類
- B: モデル型名
- C: 製品識別番号
- D: 重量
- E: 製造年
- F: モデル年

The diagram shows a rectangular plate with the following fields and labels:

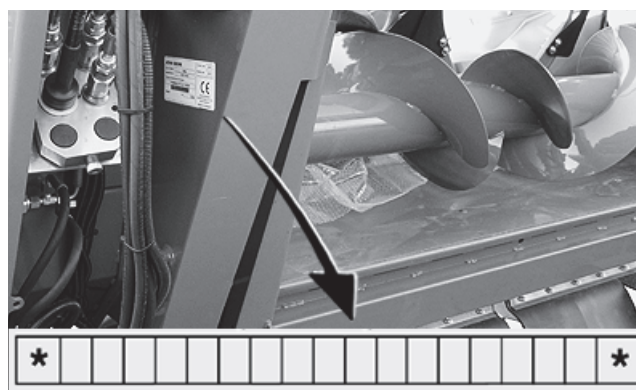
- A:** Points to the "John Deere" logo.
- B:** Points to the "Type / Model" field.
- C:** Points to the "Product Identification Number" field.
- D:** Points to the "Weight" field, which includes sub-fields for "KG" and "LBS".
- E:** Points to the "Constr. year" field.
- F:** Points to the "Model year" field.

Below the plate, the text "KM1001015" is displayed.

KM00321,0000343 -40-09JUL10-1/1

シリアル番号

部品を注文するときは、必ずコーンヘッドのシリアル番号を伝えてください。シリアル番号はフレームの左側のプレートに記載されています。用意されている空欄に番号を記録してください。



KM00321,0000344 -40-09JUL10-1/1

索引

	ページ		ページ
1		お	
1000 運転時間ごと		オイルの抜き取り	70-7
潤滑	60-7	オイルパン	
細断ギアケースのオイル	60-7	取り外しと取り付け	70-7
2		オイルパンの取り外しと取り付け	70-7
200 運転時間ごと		オーガ	40-11
潤滑	60-3	高さの調整	50-8
StalkMaster ギアケースのオイルレベル	60-6	オーガドライブスリップクラッチの潤滑	60-5
オーガドライブスリップクラッチ	60-5	オーガドライブチェーンの潤滑	60-4
オーガドライブチェーン	60-4	オーガドライブチェーンの調整	50-10
スリップクラッチ	60-5	か	
条ユニットギアケースのオイルレベル	60-4	型式プレート	85-1
条ユニットドライブチェーンのオイル	60-3	金具の締め付けトルク値	
点検		メートル法	80-4
チェーン	60-2	ユニファイインチ	80-3
A		き	
AutoTrac RowSense	45-2	ギャザラー	40-5
G		ギャザラーチェーンフライトの調整	50-3
GPS 誘導		ギャザラーチェーン張力の調整	50-3
AutoTrac RowSense	45-2	外側ギャザラーシールドの傾斜	40-8
R		外側ギャザラーシールドの上昇	40-8
RowSense 誘導	45-2	内側ギャザラーシールドの取り外し	40-6
S		内側ギャザラーシールドの上昇	40-6
StalkMaster		ギャザラー、ギャザラーポイントの水平調整	50-1
ギアケースオイルレベルの点検	60-6	ギャザラー、ギャザラーポイントの調整	50-1
スリップクラッチの潤滑	60-5	ギャザラー、穂回収装置の取り外し	40-8
細断ブレードの取り外しと取り付け	70-9	ギャザラーチェーン張力の調整	50-3
細断ブレードの反転	70-9	ギャザラーチェーンの取り外しと取り付け	70-6
StalkMaster 細断オプション	45-2	ギャザラーチェーンフライトの調整	50-3
あ		キャビン	
アクティブヘッダー制御 (AHC)		スイッチ	
トラブルシューティング	65-3	Road Transport Disconnect (道路輸送切断)	
アクティブヘッダー制御グラウンドセンサー	45-1	(黒)	10-4
安全		く	
フィーダーハウス安全ストップ	70-1	グリース	
絵入りの安全標示ラベル	15-1	極圧および多目的	55-1
う		こ	
内側ギャザラーシールドの取り外しと取り付け	40-6	コーンヘッド	
内側ギャザラーポイントの取り外しと取り付け	40-6	ドライブシャフト	35-1
運搬		ドライブの接続／接続解除	40-4
コーンヘッドの運搬の準備	20-1	トラブルシューティング	65-1
		ひじかけのコントロール	40-3
		ラッチ	35-1
		取り付け	35-1
		接続／接続解除	40-4
		コーンヘッドグリース	
		グリース、コーンヘッド	55-1

次のページへ

	ページ
コーンヘッドドライブの回転数	40-4
コーンヘッドドライブの接続	40-4
コーンヘッドドライブの接続解除	40-4
コーンヘッドの折りたたみ／展開	30-1
コーンヘッドの準備	
輸送パレットの取り外し	25-1
コーンヘッドの清掃	70-9
コーンヘッドの操作	
StalkMaster チョッパー	40-2
コーンヘッドの正しい調整	40-1
ポップコーンの収穫	40-5
一般情報	40-1
弱った茎や傷んだ茎のトウモロコシの収穫	40-5
慎重な運転と操作	40-1
圃場での開始	40-1
固定速度チェーンドライブフィーダーハウス付き	
コンバイン	40-4

さ

細断ギアケース	
StalkMaster	45-2
オイルの交換	60-7
オイルレベルの点検	60-6
スリックラッチの潤滑	60-5
ナイフブレードの取り外しと取り付け	70-9

し

シーズンの終わりの整備	75-1
シーズンの初めの整備	75-1
識別図	00-1
潤滑	
1000 時間ごと	60-7
細断ギアケースのオイル	60-7
200 時間ごと	60-3
StalkMaster ギアケースのオイルレベル	60-6
オーガドライブスリックラッチ	60-5
オーガドライブチェーン	60-4
スリックラッチ	60-5
条ユニットギアケースのオイルレベル	60-4
条ユニットドライブチェーンのオイル	60-3
潤滑間隔	
50 時間ごと	60-1
潤滑記号	60-1
潤滑剤	
混合	55-2
潤滑剤、安全	
安全、潤滑剤	55-1
潤滑剤の混合	55-2
潤滑剤の保管	
保管、潤滑剤	55-1
仕様	80-1
条ユニット	40-9
ストークロール	45-1
ドライブチェーンのオイル	60-3

ページ

ギャザラーチェーンの交換	70-6
ギャザラーチェーンフライトの調整	50-3
ギャザラーチェーン張力の調整	50-3
チェーンとスプロケットの反転	70-5
チェーンの連結	50-9
条ユニットドライブチェーンの調整	50-6
条ユニット、固定速度フィーダーハウス	50-7
条ユニット、条間隔の調整	50-5
条ユニット、条ユニットドライブの調整	
固定速度フィーダーハウス付きスプロケット	50-7
条ユニット、デッキプレートの調整	50-4
条ユニットギアケースのオイルレベル	60-4
条ユニットドライブチェーンの調整	50-6
シリアル番号	85-1
シングルポイントラッチの調整	35-5
シングルポイントラッチピンの調整	35-7

す

スイッチ	
Road Transport Disconnect (道路輸送切断) (黒)	10-4
ストークロール	40-9, 45-1
取り外しと取り付け	70-1
かみ合いナイフ	45-1
対向ナイフ	45-1
ストークロールの取り外しと取り付け	70-1
スリックラッチ	
潤滑	60-5
オーガドライブ	60-5

せ

整備	
50 運転時間ごと	60-1
オイルパンの取り外しと取り付け	70-7
ストークロールの取り外しと取り付け	70-1
チェーンとスプロケットの反転	70-5
フィーダーハウス安全ストップ	70-1
外側ギャザラーシールドの上昇と傾斜	40-8
潤滑	
1000 時間ごと	60-7
細断ギアケースのオイル	60-7
200 時間ごと	
チェーンの点検と調整	60-2
200 時間ごと	60-3
StalkMaster ギアケースのオイルレベル	60-6
オーガドライブスリックラッチ	60-5
オーガドライブチェーン	60-4
スリックラッチ	60-5
条ユニットギアケースのオイルレベル	60-4
条ユニットドライブチェーンのオイル	60-3
内側ギャザラーシールドの取り外しと取り付け	40-6
内側ギャザラーポイントの取り外しと取り付け	40-6
摩耗ストリップの取り外しと取り付け	70-8

次のページへ

	ページ		ページ
接続	35-1	ひ	
センサー		ひじかけ	
アクティブヘッダー制御	45-1	コントロール	40-3
せん断ねじマルチカブラー	35-8	スイッチ	
		Road Transport Disconnect (道路輸送切断)	
		(黒)	10-4
そ		ふ	
速度	40-4	フィーダーハウス安全ストップ	70-1
外側ギャザラーエクステンション	40-11	フィーダーハウスからのヘッダーの取り外し	35-4, 8
外側ギャザラーシールドの上昇と傾斜	40-8	フィーダーハウスの手動ラッチ解除	35-7, 11
		フィーダーハウ斯拉ッチ	35-7
ち		フィーダーハウ斯拉ッチピン (清掃)	35-7
チェーン		へ	
オーガチェーンの整備	60-2	ヘッダー	
オーガドライブチェーンの調整	50-10	シングルポイントラッチピンの調整	35-7
ギャザラーチェーンの交換	70-6	シングルポイント調整	35-5
ギャザラーチェーンの整備	60-2		
ギャザラーチェーンフライトの調整	50-3	ほ	
ギャザラーチェーン張力の調整	50-3	穂回収装置	40-8
チェーンとスプロケットの反転	70-5	保管	75-1
チェーンの連結	50-9	圃場での始動	40-1
条ユニットドライブチェーンの整備	60-2	ボルトとネジの締め付けトルク値	
条ユニットドライブチェーンの調整	50-6	メートル	80-4
チェーンの点検	60-2	ユニファイインチ	80-3
チェーンの連結	50-9		
調整式デッキプレート	40-10	ま	
て		摩耗ストリップ	
デッキプレートの調整		取り外しと取り付け	70-8
油圧アキュムレータ	50-4	摩耗ストリップの取り付け	70-8
		摩耗ストリップの取り外しと取り付け	70-8
と		マルチカブラーの調整	35-5
トラッシュナイフ		マルチカブラー調整フィーダーハウスピン	35-7
調整	50-2	マルチファンクションレバー、	
トラブルシューティング		調整式デッキプレート	40-10
アクティブヘッダー制御 (AHC)	65-3		
コーンヘッド	65-1	め	
取り付け	35-1	メートルボルトとネジの締め付けトルク値	80-4
取り外しと取り付け			
StalkMaster 細断ブレード	70-9	ゆ	
トルク表		油圧アキュムレータ	50-4
メートル	80-4	輸送	
ユニファイインチ	80-3	コーンヘッドの折りたたみ／展開	30-1
		コーンヘッドを取り付けたコンバインの輸送	10-5
な		外側ギャザラーエクステンションを下ろす	30-1
ナイフストークロール	40-9	公道での運転	30-1
		事故の防止	30-2
は		ユニファイボルトとネジの締め付けトルク値	80-3
反対側を摩耗させるためにギャザラーチェーンと			
スプロケットを反転させる	70-5		

John Deere サービスがお客様の現場を守ります

John Deere 製部品

当社は、正規の John Deere 製部品を迅速にお届けして、ダウンタイムを最小限に抑えます。

豊富で充実した在庫を常に維持し、お客様のニーズを先取りしてお応えいたします。



DX,IBC,A -40-28NOV12-1/1

適切な工具

お客様の時間と経費を無駄にしないように、当社のサービス部門は、精密工具と検査機器を使用して迅速に故障を特定し、修理を行います。



DX,IBC,B -40-28NOV12-1/1

十分な訓練を受けた技術員

John Deere 整備士にとって学習期間が終了することはありません。

お客様の機器およびそのメンテナンス方法を担当者に習得させるため、訓練教育は定期的に行われています。

その結果が、お客様に信頼していただける知識です。



DX,IBC,C -40-28NOV12-1/1

迅速なサービス

当社の目標は、お客様の望む時に、お客様の望む場所で、迅速で効率的なケアを提供することです。

お客様の所在地、または当社にて、それぞれの状況に応じた修理を行うことができます。何でもご安心してご相談ください。

卓越した JOHN DEERE のサービス：いつでも必要な時に応えいたします。



DX,IBC,D -40-28NOV12-1/1

